

Ⅳ 令和2年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施状況並びに
令和3年度同事業実施計画

国立障害者リハビリテーションセンター

●令和2年度事業実施状況

(1) 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

① 高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会

第1回：6月24日（水） Web開催 参加者158名

第2回：2月26日（金） Web開催 参加者198名

② 支援コーディネーター全国会議

第1回：7月17日（金） Web開催 参加者161名

第2回：2月26日（金） Web開催 参加者188名

③ ウェブサイト更新状況及びアクセス状況

更新回数65回（前年度58回、比率112.1%）

アクセス件数 429,523件（前年度493,116件、比率87.1%）

④ 主な問い合わせ内容

○支援拠点機関から

- ・休職中に就労継続支援を利用した場合の傷病手当金の給付
- ・アルバイト中の就労移行支援の利用可否
- ・障害福祉サービス等事業所における新型コロナウイルス感染症への対応等に関する通知（就労移行支援の利用期間の延長）
- ・機能訓練修了者が職場でうまくいかない。（制度上サービスを繰り返して利用できないため）他の社会資源
- ・訪問リハで外出訓練をしている人の外出可否（万が一事故等があった場合に事業所に責任が問われるか）
- ・医療専門職の復職事例
- ・保健室登校または家庭学習で単位履修が認められた事例
- ・自立支援医療（精神通院医療）訪問看護指示書の記載医師の診療科
- ・高齢の障害者への支援

○行政機関等から

- ・国土交通省：自動車事故の被害者のうち高次脳機能障害を呈した方への支援
- ・宮内庁：職場における高次脳機能障害の理解促進のためのツール（動画・資料等）
- ・ 〃 ：障害特性に配慮した仕事の割当て
- ・高齢・障害・求職者雇用支援機構：記憶障害向けのカリキュラム作成にあたり参考となる記憶の改善関係のプログラム等

これらの問い合わせについては、関連機関に解釈・詳細を確認した上で質問者に回答するとともに、支援コーディネーター会議で報告し、ウェブサイトに掲載した。

(2) 高次脳機能障害の調査・研究

- ① 科学研究基盤C「高次脳機能障害の症状を呈する子どもに対する急性期からの生活支援」：当事者家族会および支援拠点機関等にヒアリング調査を行い、急性期から復学までに必要な支援を明らかにした。
- ② 厚生労働科学研究「高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究」：基礎編研修カリキュラム、テキスト案を作成し、自治体の協力を得て研修会において試用した。

●令和3年度事業実施計画

(1) 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

① 会議の開催予定等

- ・ 4月23日（金）14時～15時30分 高次脳機能障害情報・支援センター運営委員会
(Web会議)
- ・ 6月23日（水）10時～12時 第1回全国連絡協議会 (Web会議)
- ・ 〃 13時～16時30分 第1回支援コーディネーター全国会議
(Web会議)
- ・ 2月25日（金）10時～12時 第2回全国連絡協議会 (Web会議)
- ・ 〃 13時～16時30分 第2回支援コーディネーター全国会議
・ シンポジウム (Web会議)
- ・ (開催日未定) 高次脳機能障害等の受け入れ促進研修会 ※詳細については調整中
※コロナ禍の影響により、変更が生じる場合がございます。

② ウェブサイト更新計画

高次脳機能障害に関する簡易的な説明動画の掲載

(2) 高次脳機能障害の調査・研究

- ① 科学研究基盤 C「高次脳機能障害の症状を呈する子どもに対する急性期からの生活支援」：医療機関から退院する際に、当事者家族や関係者向けに高次脳機能障害と相談機関について説明するリーフレットを作成する。
- ② 厚生労働科学研究「高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究」：令和 2 年度に作成した基礎編研修カリキュラム、テキストを用いて地方・全国レベルでモデル研修会（オンライン・ハイブリッド）を実施する。モデル研修会は、研究分担者、研究協力者の協力のもとに実施する。また応用編カリキュラムを厚労省関係部局と調整し、応用編テキストに修正を加え完成版とする。
- ③ 厚生労働科学研究「高次脳機能障害の診断方法と診断基準に資する研究」：同研究の一環として、高次脳機能障害支援拠点機関を対象に「高次脳機能障害の診断がつかず対応に苦慮した症例」「現行の高次脳機能障害診断基準ガイドラインの問題点」等を中心にアンケート調査を実施する。

令和2年度高次脳機能障がい者支援事業実施報告

北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課

北海道ブロックでは高次脳機能障がいに対し、リハビリ支援コーディネート事業として支援拠点医療機関を委託するとともに、リハビリ提供・地域生活支援事業として、就労（準備）就学（準備）支援事業、授産事業所利用支援事業、在宅生活支援事業を委託し実施した。

また、道内各地の道立保健所（26か所）において、ネットワーク会議、講演会、研修会、事例検討会、実態調査、パンフレット作成、相談、訪問指導、家族の集い等が例年行われるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とする保健所が多く見られた。

本庁業務においても新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から例年11月に実施している「高次脳機能障がい者支援連絡会議」の開催を延期し、集合研修での実施は困難と判断し、書面で開催した（以下、内容）。

<令和2年度 高次脳機能障がい者支援連絡会議>

開催日：令和3年3月3日（書面開催）

- 議 題：1 北海道ブロックの支援状況について
 2 各委託事業者の令和元年度実績及び令和2年度の実施計画について
 3 各委託事業者からの連絡事項について
 4 各保健所と各委託事業者による Q&A

事業については引き続き、令和3年度も実施する予定ではあるが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施方法等検討し、研修等を開催する必要がある。

【資料】

○道委託事業

- 別紙1 北海道ブロック リハビリ支援コーディネート事業【北海道大学病院】
 別紙2 北海道ブロック 就労（準備）就学（準備）支援事業【コロポックルさっぽろ】
 別紙3 北海道ブロック 授産事業所利用支援事業【NPO 法人 Re~らぶ】
 別紙4 北海道ブロック 在宅生活支援事業【北海道精神保健推進協会】

○道立保健所 事業取組状況

- 別紙5 令和2年度高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業「普及啓発相談支援事業」実績

北海道ブロック【北海道大学病院】
 【リハビリ支援コーディネート事業】

別紙 1

【令和 2 年度（4～3 月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	418	電話	648
来院／来所	265	来院／来所	63
メール／書簡	8	メール／書簡	40
その他	3	その他	20
計	694	計	771

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

- ① 研修名 令和 2 年度第 1 回高次脳機能障害支援者研修会（オンデマンド研修会）
 開催日 2020 年 10 月 1 日～10 月 7 日配信 参加者（事前登録者）406 名
- ② 研修名 令和 2 年度第 2 回高次脳機能障害支援者研修会（オンデマンド研修会）
 開催日 2021 年 2 月 22 日～3 月 7 日配信 参加者（事前登録者）188 名

イ 事例検討会等

- (ア) ネットワーク育成事業：会議名
 なし（コロナのため）
- (イ) 事例検討会等
 なし（コロナのため）

○普及啓発

- ①研修名 開催日 参加者 名
 なし（コロナのため）

○その他（今年度特に力を入れたことなど）

- ①北海道 MSW 協会からの依頼で、道内の MSW の初任者研修の講義（高次脳の事例を用いたソーシャルワークの定義について講義）と北海道医療大学の医療ソーシャルワーク実践論の講義（高次脳機能障害のソーシャルワーク実践をテーマに）を行った

○今後の課題等

①当事者や家族、支援者を対象にした高次脳の事例集・解説集の書籍の制作を検討（北海道出版会に相談中）

○COVID-19感染拡大の事業計画への影響と対応

①通常高次脳機能障害の患者が評価入院を行う病棟がコロナ対応となり、他病棟の共通床で対応することとなった。結果、普段高次脳に慣れていない病棟、看護師が対応するため障害特性などの理解が得られにくくトラブルが生じている。

②例年4回程度行っていた研修会や事例検討会について対面での開催が見通し立たない状態（病院の規定上集団で集まる研修などの主催が制限されている状況）

③上記からオンラインでの研修を検討、10月に1回目実施、全道各地からの申し込みあり事前申し込みとしては過去最多件数となった（406名）

【令和3年度事業実施計画】

- ◆相談支援は引き続き継続
- ◆コロナの状況みて研修会を対面式かオンライン式かで検討
- ◆書籍の制作

北海道ブロック 就労(準備)就学(準備)支援事業【NPO 法人コロポックルさっぽろ】

【令和2年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	1468	電話	80
来院/来所	810	来院/来所	12
メール/書簡	364	メール/書簡	18
その他	614	その他	1
計	3256	計	111

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

①高次脳機能障害講演会・事例検討会（Webにて開催）

開催日 10月17日 参加者 16名

②通所者・家族を対象に研修会開催（場所：コロポックル レディース）

i 「働くってどんなこと？ひとりで暮らすってどんなこと？」

開催日 8月28日 参加者 12名

ii 「グループホームのお話」

開催日 9月29日 参加者 16名

イ 事例検討会等

(ア) ネットワーク育成事業

室蘭にて「当事者家族交流会」開催 10月29日

参加者 当事者4人、家族8人、支援者2人

(イ) 交流会（場所：クラブハウス コロポックル）

①学齢期の子どもをもつ親の会

開催日 7月25日（参加者 家族8名、当事者1名 支援機関2名）

②学齢期の子どもをもつ親の会&ジュニアの会

開催日 10月10日（親の会：参加者6名、支援機関1名 ジュニアの会：参加者4名、支援者2名）

③学齢期の子どもをもつ親の会&ジュニアの会

11月14日開催予定だったが、コロナ感染拡大のため延期

○普及啓発

①北翔大学講義 12月17日講義予定だったが、コロナ感染拡大のため延期

②東月寒連合町内会講演

4月17日町内会総会にて「もし家族が高次脳機能障害になったら」をテーマに講演予定だったが、コロナ感染拡大のため延期

○その他（今年度特に力を入れたことなど）

①中高生の子どもの高次脳機能障害当事者同士が交流する機会を設けた

「ジュニアの会」隔月開催を目指していたが、11月以降コロナ感染拡大のため延期となっている。

*家族会開催の「キッズネットワーク宿泊研修 in 札幌」9月21日～22日も予定していたが、コロナ感染拡大のため延期された

②事業所通所者（就労者も含む）への余暇活動の場を提供した

就労準備を目指す当事者には、日常生活の安定のため、既に就労した当事者には、ストレス発散など離職防止のため、4月から月1回程度土曜日に行った。（緊急事態宣言中は中止した）

③2名の就労支援（復職支援）を行った

そのうち1名は（国家）公務員で、社会資源が少ない中他機関と連携し、リハビリ出勤を経て復職した。

④2名の企業実習を行った

就労に向けて本人の希望する職種に近いものを選択し企業実習を行った。

○今後の課題等

①子どもの高次脳機能障害者が、小児科で「治療終了」と言われ、後遺症に悩む家族からの相談が年1～2件寄せられている。高次脳機能障害の子どもが受診する病院へ、高次脳機能障害の支援パンフレットを配布するなど働きかけていきたい。

②企業実習先の開拓

施設外での実習は、就労を目指す当事者に、就労イメージを持ち、障害特性の気づきにつながる機会となる。より多く実習の経験が得られるよう、近隣で1週間程度実習できる企業を開拓する。

③余暇支援のため、継続して月1回程度土曜日に開所し、当事者主体のサークル活動（アートクラブ、フラワーアレンジメント、プラモデル、ラジコン、男の料理教室など）を行う。

④当事者交流会

継続して実施していた移行支援事業所との交流会が、今年度はコロナの影響でできなかった。次年度はリモートにて、他県の当事者との交流を図るなど当事者主体の活動の

場を充実させたい。

⑤医療機関との連携

地域の医療機関と連携し、高次脳機能障害者の退院後の生活、福祉事業所の利用など勉強会や家族相談会を実施したい。

○COVID-19 感染拡大の事業計画への影響と対応

①例年開催してきた「高次脳機能障害講演会・事例検討会」の対面での開催が困難となり Web にて少人数で実施した。

*Web 開催だったので、対面で大人数なら参加が難しいといわれた医療機関の方が参加しやすかった。

②新たに高次脳機能障害のジュニアの会を作る試みを実施していた（大変好評で、隔月の開催を予定）が、感染拡大のため延期となった。

- ・調理（パンケーキ作り）を通して交流を図る。
- ・進学、進路のときの経験や気を付けたいことなど共有する。
- ・別室で親の交流、学習会を開催。初めて他の家族に出会える機会となった家族もいた。

③事業所（就労継続支援 B 型、地域活動支援センター）は、感染状況をみながら、i 感染対策を徹底する、ii 一部在宅支援に切り替えるなど通所者数を制限する、iii 開所時間を短縮する、iv 一時的に法人車両による送迎を実施するなど工夫を重ね継続して開所している。様々な対応で職員の負担が増大した。

【令和 3 年度事業実施計画】

基本的には本年度同様の事業を予定している。等
上記の課題、力を入れたことを継続して取り組む。

北海道ブロック 授産事業所利用支援事業【NPO 法人 Re~らぶ】

【令和2年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	76	電話	24
来院／来所	128	来院／来所	7
メール／書簡	15	メール／書簡	264
その他	26	その他	2
計	245	計	297

○研修、会議等の開催状況

今年度は COVID-19 の感染拡大に対する予防策として、研修・会議（内部は除く）等の活動は全て中止・延期している。

○その他（今年度特に力を入れたことなど）

- ①就労支援事業所等で高次脳機能障害者受入について、理事・職員を対象に理解と知識等専門性を育てるため施設内勉強会を開催（令和2年7月より、月2回実施）。
- ②地域在住の高次脳機能障害者及び家族からの施設利用紹介や相談を受け、利用に結び付けるほか、関係機関と連携し課題解決に向けた提案等を実施。ケース内容によっては定期的なフォローアップを実施中。
- ③新規利用者受け入れ、在籍者の環境変化における今後の対応についてのカンファレンスを開催、参画。関係機関との日頃からメールや電話で情報の共有を図っている。
- ④今年度、3名の高次脳機能障害当事者を新規利用受入実施。このうち1名は、記憶障害に加え易怒性が強く、他者への暴言が目立つ事例である。施設内での人と仕事場の環境調整を図ると共に、相談支援事業所をはじめとした障がい福祉関係機関と常に情報交換し、支援の共有化を図っている。
- ⑤障がい者に対する出張型保健室を設け、看護コンサルタント事業所と契約を結び、週2回慢性疾患専門看護師による看護相談を実施。
施設利用者の看護相談と施設内の COVID-19 感染予防を目的に、利用者の健康維持・増進が図られ、利用者が必要とする場合は医療機関との橋渡しの他、受診同行し、医療からの説明を利用者へわかりやすく解説されています。
施設内の COVID-19 感染予防対策については、所内職員研修の実施、利用者の健康チェックや注意喚起等を随時実施した。
- ⑥障がい当事者夫婦で生活している高次脳機能障害利用者の妻が、脳出血で緊急入院する事となった。1か月半の入院中、利用者が一人で生活を送る事になったが、家事を

じめとする生活への不安があった。このため、週1回程自宅訪問を行い、生活実態の把握と課題解決に向け、介護保険の担当ケアマネージャーと常に連絡を取り合いながら、利用者が生活で困らないよう支援を行った。

○今後の課題等

- ①高次脳機能障害者の高齢化に伴い、障がい福祉サービスから介護保険への円滑な制度利用に向け、介護保険事業所等の関係機関との連携強化。

○COVID-19感染拡大の事業計画への影響と対応

- ①感染拡大予防措置のため、活動提供時間の短縮を実施。
(10:00～16:00 までの提供予定のところ、12:00 までとしている)
9月以降より施設利用者が他者へ暴言を吐く、攻撃的な口調が目立つといった事例が増えてきている。外出自粛等の影響による心身のストレスが当事者にかかっているものと思われる。
- ②“①”の影響と、外販の中止、企業からの委託作業停止等により施設利用者への授産工賃額が減少。(4～3月における工賃平均支給額 対前年比 約79%)
- ③施設利用者全体への活動提供が困難になり、特に全体学習会(ミーティング等)やレクリエーション提供等、地域交流イベント等の中止により、利用者の余暇活動機会が失われ、施設利用者の精神的ストレスの緩和が困難となっている。
- ④令和2年11月より北海道は「集中対策期間」が始まり、高齢者住宅に入居中の高次脳機能障害者が外出自粛となった。長期にわたり、外出自粛となった利用者が出かけられないストレスから、他の利用者とお互いに執拗な電話やメール連絡を取り合ったり、無断外出や訪問等、高齢者住宅の規則を破った事が度々あった。このため、ケアマネージャー、高齢者住宅、家族と情報交換を図りながら、必要に応じて定期的に住宅を訪問し、当事者との面談を行った。

【令和3年度事業実施計画】

基本的には本年度同様の事業を予定している。

具体的な事業計画

- ・高次脳機能障害者を地域の福祉施設等で受け入れやすくなるため、事例を通して「支援の見える化」をまとめ、冊子発刊やホームページ等で誰でも照会できるような方法を検討中。

北海道ブロック 在宅生活支援事業【北海道精神保健推進協会】

【令和2年度（4月～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	26	電話	47
来院／来所	14	来院／来所	8
メール／書簡	26	メール／書簡	26
その他	12	その他	2
計	78	計	83

- ・精神科デイケア登録者 13名（内：新規登録者1名、終了者4名）
- ・多機能型事業所通所者 B型2名 移行支援1名
- ・外来利用者 5名

○研修、会議等の開催状況

- ・北海道高次脳機能障害リハビリテーション講習会（事務局として運営）
日時：11月7日（土）13:00～15:00 オンライン配信形式
参加者：224名（当事者、家族、医療・福祉関係者等）
テーマ：あなただけの物語がある～生きづらさと希望の会話からみえるヒント～
第1部 講演「あなただけの物語がある～生きづらさと希望の会話からみえるヒント～」
社会学の観点から物語（ナラティブ）について考える
講師：富山大学 教授 伊藤智樹 先生
第1部 Q&A コーナー
- ・その他
所内ケース検討、会議等 38件
他事業所とのケース会議等 9件

○普及啓発

- 対象：医療福祉系養成校学生、医療福祉専門職
- 講師：当法人 多機能型事業所ここリカ・プロダクション 当事者2名
- 内容：当事者の体験談発表、質疑応答
- 実施回数：16回

○その他（今年度特に力を入れたことなど）

- ①B型事業所、相談室など他機関を併用利用中の方の支援について、ケース会議や日頃の情報共有を定期的に行った。
- ②外来利用者について、生活基盤を整えるための年金等の診断書作成、裁判書類の作成。

○今後の課題等

- ①送迎サービスがないため、公共交通機関を使えない人への支援。
- ②利用者の高齢化のため、介護関係の支援機関との連携強化。
- ③退院後に他の支援機関や制度を利用できていない方からの相談を適切な支援につなぐこと。

○COVID-19感染拡大の事業計画への影響と対応

- ①コロナ感染への不安や、内部疾患の既往がある方で、デイケアの利用を控える利用者が数名いる。その方へは電話連絡を定期的に行い、近況を把握している。
- ②多機能型事業所では、リモートワークへの切り替え、自宅訪問など個別対応をしている。
- ③外部機関とのケース検討や見学調整などが滞ることがあった。
- ④リハビリテーション講習会の企画、運営について、例年通り会場の予約をしていたが状況を考え、オンライン配信へと切り替えた。それにあたり、実行委員会もオンライン会議とし、配信に向けた調整、検討を行った。

【令和3年度事業実施計画】

支援拠点機関、関係機関等と連携し、地域における高次脳機能障がい者へのリハビリテーション及び地域生活支援を引き続き提供するとともに、ニーズを把握し生活環境を整えるため、関係機関との連携を図り、在宅生活支援を実施することにより、在宅生活支援ネットワークの構築を図ります。

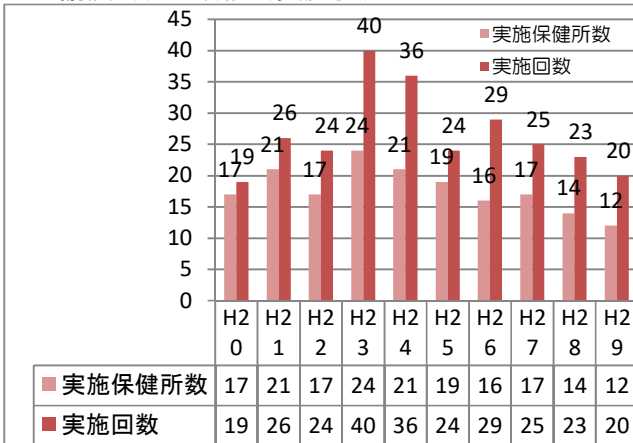
別紙5 令和2年度高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業「普及啓発相談支援事業」実績

保健所別	普及啓発 実施日	参加 人数	関係職員研修 実施日	参加 人数	連携会議 実施日	参加 人数	事例検討 実施日	参加 人数	相談 件数	新規 件数	専門相談		集回指導		訪問指導 延人数	その他		
											実施回数	相談 件数	実施回数	延参加 人数			実施回数	延参加 人数
江別	-	-	-	-	-	-	-	4	21	1	0	0	-	-	0	0		
千歳	-	-	-	-	-	-	-	2	5	1	0	0	-	-	0	0		
渡島	3/1~5※	-	-	-	-	-	-	1	3	1	0	0	-	-	1	1	※振興局1階道民ホールでリーフレットを設置 ・渡島保健所における高次脳機能障がい者支援に係る取り組みについて打合せ ・相談会に係る後援。	
八雲	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	2	0	-	-	0	0		
江差	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	0	0	-	-	0	0		
倶知安	通年※	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	-	-	1	2	※ホームページ、精神保健福祉に関するイベント時にリーフレット掲示	
岩内	-	-	-	-	6/10 12/21	7 5	1	4	0	0	0	0	-	-	0	0		
岩見沢	-	-	-	-	-	-	-	1	4	0	0	0	-	-	0	0		
滝川	9/25~ 10/21※	-	-	-	-	-	-	3	3	1	0	0	-	1	5	0	※一般住民を対象としたリーフレットや関連図書等の展示による普及啓発。	
深川	4月※	-	-	-	-	-	-	1	15	1	0	0	-	-	1	1	※管内市町広報へ掲載	
上川	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	-	-	0	0		
名寄	-	-	-	-	-	-	-	3	4	2	0	0	-	-	1	2	・支援関係機関及びケア会議2回	
富良野	中止	-	中止	-	-	-	-	2	11	1	0	0	-	-	2	2		
留萌	-	-	-	-	-	-	-	3	6	1	0	0	1	7	0	0		
稚内	-	-	-	-	-	8/19	17	0	0	0	0	0	-	-	0	0		
室蘭	-	-	-	-	-	-	-	7	11	1	0	0	-	-	3	3	・脳損傷友の会コロナボックル交流会の空間に保健師が参加し、交流会について周知 ・平成19年度に作成した高次脳機能障がいの普及啓発用リーフレットについて、各構成機関から意見をとりまとめ、改訂版を作成した。新型コロナウイルス感染症対策による影響により印刷・配布は次年度。	
苫小牧	-	-	-	-	-	11/6	4	8	24	6	0	0	-	-	2	3	・当所ホームページに、高次脳機能障がいの概要、相談窓口を掲載 ・啓発用リーフレットの改訂	
浦河	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	-	-	1	4		
静内	-	-	-	-	-	2/12 3/9 3/19	8 7 7	3	4	2	0	0	-	-	1	1		
網走	-	-	-	-	-	-	-	2	5	2	0	0	-	-	1	1	※当所作成のリーフレット(高次脳機能障がいの特性や利用可能なサービス、相談支援機関等を記)を相談対応時に活用するともに、ホームページに掲載。また、一般住民向けの健康に関する普及啓発の場や関係機関への配布。	
北見	-	-	-	-	-	-	-	3	6	2	0	0	-	-	1	2		
紋別	通年※	-	-	-	-	-	-	3	10	2	0	0	-	-	1	1	※ホームページへの掲載	
帯広	通年※	-	-	-	-	-	-	6	22	2	0	0	-	-	3	4	・脳外橋リハビリテーション講習会への実行委員としての参加。	
釧路	1/23	40	-	-	-	-	-	6	23	4	0	0	-	-	0	0		
根室	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0	0	0	-	-	1	3		
中標津	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	-	-	0	0		
概要	7保健所で、延9回実施。一般住民や支援関係者に対し、普及啓発の講演や研修を実施している。							相談は20保健所で延61人延183人、専門相談は1保健所のみの実施となっている。										当事者や家族に対しては、それぞれ1保健所が実施。訪問指導は14保健所で実施。

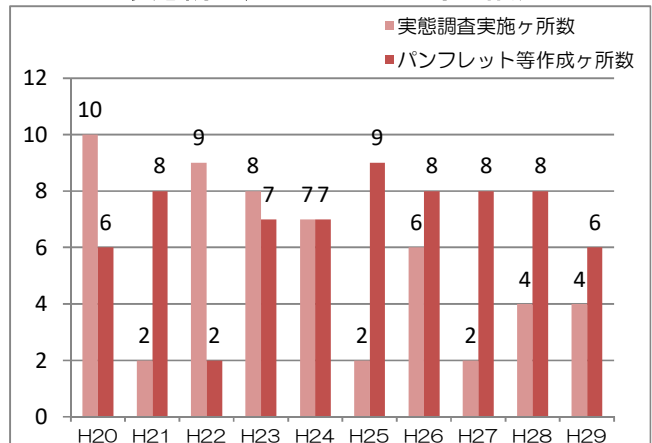
図 高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業【北海道ブロック】 「普及啓発相談支援事業」の実績推移（H20年度～H29年度）

平成20年度から平成29年度の10年間の道立保健所における「普及啓発相談支援事業」の実施状況を下図に整理した。

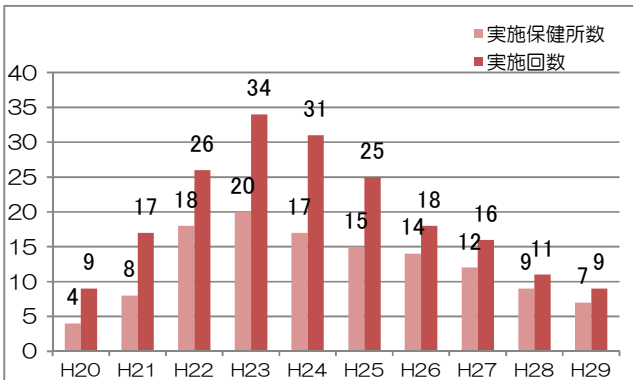
1 講演会及び研修会実施状況



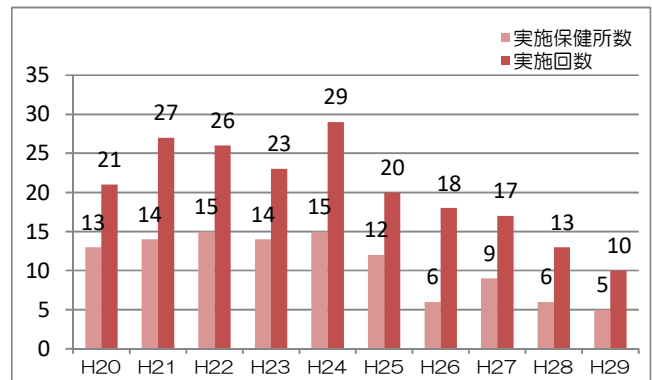
2 実態調査、パンフレット等の作成



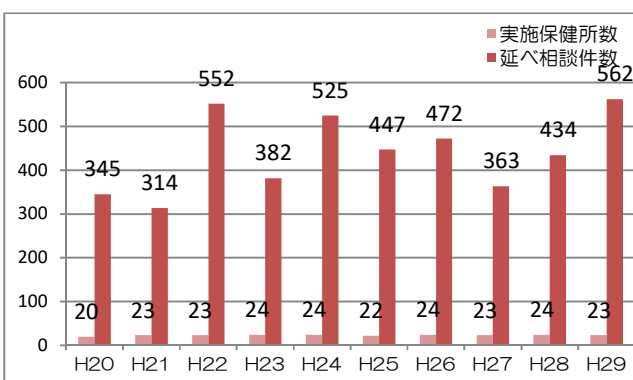
3 ネットワーク会議の実施状況



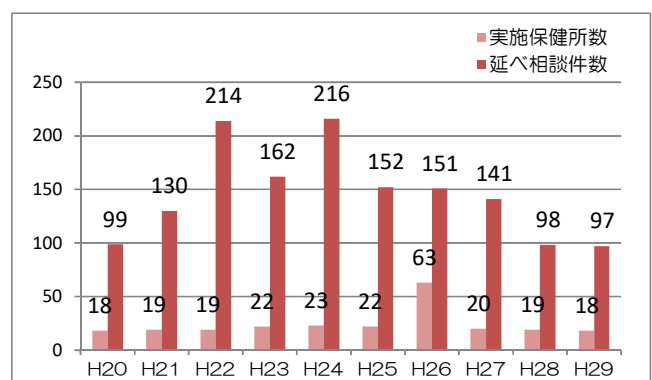
4 事例検討会の実施状況



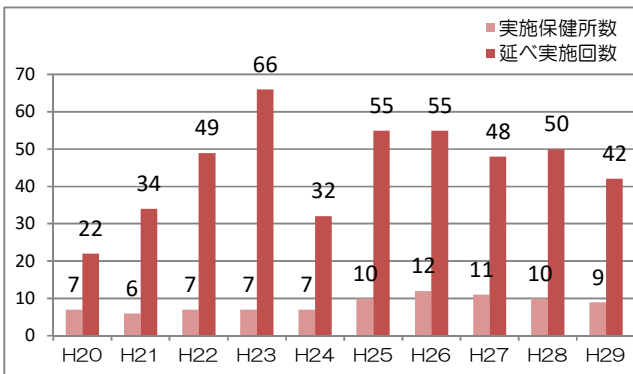
5 相談実施状況



6 訪問指導実施状況



7 「集い」等の開催状況



※ 研修や会議等、複数保健所による合同開催の場合は、実施回数は各保健所の実施回数として合算し計上

高次脳機能障害者支援事業【青森県】

【令和2年度 実施状況】※（ ）内は令和元年度の件数

○ 相談件数

・直接相談延べ件数		・間接相談延べ件数	
電話	33件（61）	電話	71件（62）
来院・来所	516件（311）	来院・来所	2件（6）
メール・書簡	9件（2）	メール・書簡	1件（0）
その他	3件（0）	その他	7件（2）
合計	561件（374）	合計	81件（70）

○ 事業の実施状況等

【弘前脳卒中・リハビリテーションセンター】

《主催会議等》

- ・青森県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業検討委員会（紙上会議）
- ・拠点機関院内スタッフ会議（毎月第1水曜）ケース検討含む
- ・当事者の職場訪問（R2.6.16）
- ・支援拠点機関実務者会議（R3.3.19 リモート会議）

《普及・啓発》

- ・新リーフレット制作
- ・動画制作

《研修》

- ・高次脳機能障害に関する院内研修（R3.1.23 参加者5名，3.5 参加者8名）

《調査（ネットワーク構築）》

- ・圏域包括支援センター地域ケア会議（R2年度2回）

【メディカルコート八戸西病院】

《主催会議等》

- ・拠点機関院内スタッフ会議（毎月第4月曜）ケース検討含む

《研修》

- ・高次脳機能障害に関する講演会（R2.10.24 参加者47名）

○ 特に力を入れたこと

【弘前脳卒中・リハビリテーションセンター】

- ・対面での事業が難しい状況を受け、非対面で実施可能なリーフレット・動画制作による普及啓発に努めた。

【メディカルコート八戸西病院】

- ・支援ネットワーク作りの為の障害福祉サービス事業所（相談支援事業所）等への協力要請・働きかけを行った。

○ 今後の課題

【弘前脳卒中・リハビリテーションセンター】

- ・家族会の活動が停止状態になっているため、時期をみながら再開の支援が必要。

【メディカルコート八戸西病院】

- ・圏域での高次脳機能障害の理解が進んでいないため、関係機関等への働きかけ・普及啓発が重要。
- ・相談支援状況に地域格差があり、患者の掘り起こしが不十分な地域へのアプローチが必要。

○ COVID-19 感染拡大の事業計画への影響と対応

【弘前脳卒中・リハビリテーションセンター】

- ・計画が実行できず、計画変更の苦慮や徒労に終わる業務に疲弊感が否めない。

【メディカルコート八戸西病院】

- ・密を避けるため、研修はリモート開催も視野に入れながら人数を制限して開催した。

【令和3年度 実施計画】（新規事業があれば詳しく教えてください。）

【弘前脳卒中・リハビリテーションセンター】

- ・ホームページの拡充をはかり、普及啓発を推し進めるとともに、メール相談など新たな相談支援方法も積極的に取り組んでいく。

【メディカルコート八戸西病院】

- ・普及啓発活動及び研修事業は前年度同様の計画としている。

高次脳機能障害者支援事業【秋田県】

【令和2年度 実施状況】※（ ）内は令和元年度の件数

○相談件数

・直接相談延べ件数		・間接相談延べ件数	
電話	32件 (55)	電話	156件 (162)
来院・来所	8件 (4)	来院・来所	1件 (2)
メール・書簡	1件 (0)	メール・書簡	136件 (133)
その他	0件 (0)	その他	0件 (0)
計	41件 (59)	計	293件 (297)

○事業の実施状況等

(1) 県実施

- ・高次脳機能障害支援普及事業支援担当者研修会 中止
- ・高次脳機能障害者支援普及事業相談支援ネットワーク委員会 1回開催

(2) 支援拠点機関（秋田県立リハビリテーション・精神医療センター）実施

- ・高次脳機能障害講演会 中止
- ・あきた認知症・高次脳機能障害ネットワーク勉強会 中止
- ・ケース会議 87回実施 696名参加
- ・家族会・当事者会への支援活動 0回実施

(その他)

- ・障害者雇用支援連絡協議会（秋田県障害者職業センター） 1回開催

○特に力を入れたこと

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、計画していた研修事業等は中止となった。リモートでの研修や相談の必要性を検討したが、実行できなかった。

○今後の課題

- ・感染対策を行ったうえでの研修会の開催又はリモート等での研修事業や相談、会議を行う体制を整える。
- ・ホームページの積極的な活用を行う。

○COVID-19感染拡大の事業計画への影響と対応

- ・令和2年度は新型コロナウイルスの収束が予測できず、いったん延期を繰り返し結果的に中止した事業がほとんどであった。次年度は最初からコロナ禍でも実行可能な方法での事業企画が必要である。

【令和3年度 実施計画】

(1) 相談支援事業

- ・ 支援対象者の相談（電話・来院等）に対する支援
- ・ 支援対象者への就労、福祉サービス利用、地域生活に関する支援

(2) 普及・啓発事業

- ・ ウェブサイト、パンフレット等による情報発信、PR 活動
- ・ 関係機関等による各種講演会、勉強会での情報発信、PR 活動

(3) 研修事業

関係機関の支援担当職員を対象とした研修会の開催

- ・ 開催場所等：秋田市内で1回開催
- ・ 内容：高次脳機能障害の基礎的内容、リハビリ、支援拠点及び事業等

(4) 相談支援ネットワーク委員会

- ・ 支援対象者に対する効果的な支援方法等に関する検討

(5) その他

- ・ 全国協議会等各種会議への参加

高次脳機能障害者支援事業【岩手県】

【令和2年度 実施状況】※（ ）内は令和元年度の件数

○ 相談件数

・直接相談延べ件数		・間接相談延べ件数	
電話	181件（119件）	電話	169件（142件）
来院・来所	724件（810件）	来院・来所	22件（3件）
メール・書簡	25件（28件）	メール・書簡	33件（65件）
その他	7件（17件）	その他	2件（11件）
合計	937件（974件）	合計	226件（221件）

○ 事業の実施状況等

- 1 連絡協議会：第1回 令和2年9月2日に開催し、18名出席（Web開催）
第2回 令和3年3月31日に開催し、25名出席（Web開催）
- 2 高次脳機能障害者支援担当者会議：10回
- 3 高次脳機能障害者カンファレンス：10回
- 4 相談支援コーディネーター会議：9回
- 5 研修会・講習会：例年開催しているいわてリハビリテーションセンター主催の研修会等は実施しなかった。脳損傷リハビリテーション講習会の実行委員として、オンライン研修の運営を行うなど、関係機関が行う研修会等への協力を行った。

○ 令和2年度特に力を入れたこと

- ・ 会議や研修はWebでの対応とし、感染対策を行いながら、可能な限りの支援普及活動を行った。令和2年度から新たに、YouTubeで高次脳機能障害の基本的知識に関する動画や自宅でできるトレーニングの動画の配信を行った。
- ・ 前年度に作成した高次脳機能障害カルタの広報、貸出し等により、普及啓発活動を行った。

○ 今後の課題

- ・ 感染対策を行ったうえでの支援普及活動の実施、新たな方法の考案
- ・ 地域での支援ネットワークの構築及びシステムの継続性の担保
- ・ より多くの人に高次脳機能障害を知ってもらうための活動の工夫

○ COVID-19感染拡大の事業計画への影響と対応

- ・ 相談支援に関しては大きく影響を受けなかったが、サービス提供事業所が利用を制限

しているなどの例があり、地域への移行がスムーズにできない例も見られた。

- ・ 集合研修の開催は見送ることとなり、Web 対応の整備を進めた。
- ・ 感染拡大に伴い、地域での連絡会や各種イベントは中止となり、顔を合わせての交流が難しくなった。連絡会が中止となった場合は、書面報告等の対応を取った。

【令和3年度 実施計画】

- (1) 高次脳機能障がい者支援普及事業
 - ① 相談支援の実施
 - ② 普及啓発活動及び研修（Web、動画配信を含む）の実施
 - ③ 連絡協議会の設置・運営
 - ④ 各種全国会議等への参加
- (2) 高次脳機能障がい者地域支援体制整備事業
 - ① 地域の支援拠点等への訪問指導
 - ② 地域の支援拠点等の支援者育成研修の実施

高次脳機能障害者支援事業【宮城県】

【令和2年度 実施状況】※（ ）内は令和元年度の件数

○ 相談件数

・直接相談延べ件数		・間接相談延べ件数	
電話	70件（46）	電話	60件（116）
来院・来所	15件（56）	来院・来所	5件（11）
メール・書簡	3件（3）	メール・書簡	15件（12）
その他	0件（11）	その他	1件（7）
合計	88件（116）	合計	81件（146）

○事業の実施状況等

<医療機関>

- ・相談件数は減少。
- ・新型コロナウイルス感染症により、家族支援や講演活動等が実施困難。
- ・研修会はオンライン配信に変更して実施。

<行政機関>

- ・相談事業（電話・来所・巡回相談・家族学習会）
- ・各圏域における高次脳機能障害者家族交流会の実施
- ・パンフレット等による事業の普及啓発及び相談窓口の周知

※新型コロナウイルス感染症により、参集型の研修会・家族会は中止・規模縮小となったものが多い。研修会は、オンライン開催で対応したものもある。

○特に力を入れたこと

<医療機関>

- ・増加する学齢期の高次脳機能障害例への理解を深めるため、研修会や日常生活での支援体制構築のためのケアカンファレンスを開催。
- ・自動車運転再開の評価を継続実施。

<行政機関>

- ・研修会・家族会等の事業の周知及び啓発
- ・相談窓口等が記載されたリーフレット作成
- ・家族会参加者に対する個別連絡での現状把握と相談機関の周知
- ・家族会でのピアサポート機能の体制整備
- ・新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での事業実施

○今後の課題

<医療機関>

- ・サービスにつながっていない地域で生活する慢性期の症例の把握・支援。
- ・急性期に対応する医師への高次脳機能障害の啓発。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の中での事業実施方法の検討。

<行政機関>

- ・高次脳機能障害の普及・啓発（当事者・家族・医師・支援者・地域住民）
- ・当事者、家族及び支援者等の支援ニーズの把握
- ・小児・学童期受傷児の進路を含めた相談体制の強化
- ・地域支援拠点病院の未整備地域の解消
- ・医師への普及啓発
- ・個別事例対応への支援（対応方法の研修，個別事例検討会等）
- ・家族交流会の自助グループ化への支援

○COVID-19 感染拡大の事業計画への影響と対応

<医療機関>

- ・講演会・研修会が中止又はウェブでの開催に変更している。ウェブ開催の場合，利点を活かし，研修事業を広報して県外からの参加も促す等も検討している。また，ブロック各県の講演会情報を共有できる仕組み等，情報を入手しやすい体制づくりも必要。
- ・障害福祉サービス事業所等の院外の支援者とのカンファレンスが十分に行えていない。人員やカンファレンス開催のタイミングの調整等の工夫が必要。

<行政機関>

- ・参集型の研修会や家族会は，中止や延期，規模縮小での実施となっている。
- ・参集型の家族会を個別相談の方法に変更して実施。
- ・研修会はオンライン開催で対応できるものもあるが，各保健所で実施する研修会等のオンライン開催については検討・準備が必要。

【令和3年度 実施計画】（新規事業については，その旨を明記してください。）

<医療機関>

- ・短期入院評価実施。
- ・自動車運転再開可否の評価。
- ・年2回の専門研修会開催（開催方法については未定）

<行政機関>

- ・電話・来所・県拠点施設による巡回等による相談
 - ・ピアサポーターによる個別相談
 - ・各圏域での高次脳機能障害者の家族交流会の開催
 - ・各圏域での高次脳機能障害者支援者研修会の実施（支援者向け・一般住民向け）
 - ・障害福祉サービス事業所及び高次脳機能障害者家族会等との連携
 - ・高次脳機能障害者支援会議等の開催
 - ・県内地域支援拠点病院の整備
 - ・支援者ネットワーク構築のための会議等の開催
 - ・事業所等を対象にしたアンケート調査の実施
 - ・普及啓発パンフレット・リーフレットの作成及び配布（医療機関向け・支援者向け）
 - ・ホームページを活用した普及啓発活動
- ※基本的には、今年度事業を継続。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会や家族会の開催方法については状況に応じて検討する。

高次脳機能障害者支援事業【山形県】

【令和2年度 実施状況】※（ ）内は令和元年度の件数

○ 相談件数

・直接相談延べ件数		・間接相談延べ件数	
電話	257件(203)	電話	204件(133)
来院・来所	145件(124)	来院・来所	12件(10)
メール・書簡	35件(28)	メール・書簡	9件(2)
その他	4件(8)	その他	3件(0)
合計	441件(363)	合計	228件(145)

○ 事業の実施状況等

(1) 研修会開催

- ①令和2年度 第1回山形県高次脳機能障がい研修会(令和2年8月28日)
参加者:27名(研修会場)、30事業所(オンライン)
- ②第14回山形県高次脳機能障がい者リハビリテーション講習会(令和2年12月5日)
参加者:約50名程度(オンライン)、動画再生回数110回
- ③令和2年度 山形県庄内高次脳機能障がい者支援センター研修会(令和2年12月5日)
参加者:福祉専攻の学生、福祉に興味を持つ学生 60名(オンライン)
- ④令和2年度 第2回山形県高次脳機能障がい研修会(令和3年3月19日～3月31日)
参加者(動画再生回数) 基礎知識編274回 事例編143回 センター紹介編114回

(2) 社会復帰・トレーニング事業

- ・通所教室「暁才」の運営 延利用者943人

(3) 巡回相談

- ・高次脳機能障がい者支援センター未設置圏域向けの相談会、講演会
個別相談:令和2年2月12日 対応件数1件(オンライン)
講演:令和2年2月1日～令和2年2月12日 動画配信

(4) その他

- ①ケース会議開催・参加:48回
- ②就労支援セミナー:2回(参加者19人)
- ③家族支援:4回

○ 特に力を入れたこと

- ・感染症対策を講じながらの通所教室の運営や研修会等の開催
- ・就労した方への定着支援
- ・障がい者職業センターを招いた就労支援検討会の開催

○ 今後の課題

- ・高次脳機能障がい者支援センター未設置圏域における支援が希薄になっているため、必要な方に支援が届くよう普及啓発活動を積極的に行っていく必要がある。
- ・社会復帰や就労定着支援の一層の充実のため、精神科医療機関、福祉サービス事業所や企業等と更に連携を強化していく必要がある。
- ・コロナの影響により本人・家族の心理的不安が高まっており、交流会のニーズもあると考えている。

○ COVID-19 感染拡大の事業計画への影響と対応

- ・研修会等について、ZOOM 等を利用しながら多人数が集まらない形での開催とした。今後も、オンラインでの開催を検討している。

【令和3年度 実施計画】（新規事業があれば詳しく教えてください。）

- ① 窓口相談
- ② 巡回相談
- ③ 専門チームによる個別支援（ケース会議・ケースカンファレンス）
- ④ 社会復帰トレーニング事業（通所教室「暁才」）
- ⑤ 普及・啓発：講演会、研修会、パンフレット作成、関係機関への訪問等
- ⑥ その他：家族会事業との連携、関係機関主催会議・研修会への出席

高次脳機能障害者支援事業【福島県】

【令和2年度 実施状況】※（ ）内は令和元年度の件数

○ 相談件数

・直接相談延べ件数		・間接相談延べ件数	
電話	189件(269)	電話	343件(434)
来院・来所	95件(125)	来院・来所	52件(40)
メール・書簡	1件(0)	メール・書簡	4件(7)
その他	1件(28)	その他	4件(39)
合計	286件(427)	合計	403件(520)

○ 事業の実施状況等

〈 会議 〉

－全体－

- ・全国連絡協議会及び支援コーディネーター全国会議 延べ17名参加
- ・高次脳機能障害者支援事業担当者東北ブロック会議（書面参加）
- ・福島県高次脳機能障がい支援会議 1回（書面開催）
- ・高次脳機能障がい支援コーディネーター会議 1回（書面開催）

－圏域－

- ・圏域別連絡会議 中止
- ・自立支援協議会就労支援部会への参加 2回
- ・高次脳機能障害支援体制整備事業会議への参加 3回

－その他－

- ・就労支援会議 1回：4名参加
- ・ケース検討 4回

〈 研修 〉

－全体・圏域－

- ・福島県高次脳機能障がい支援研修会 中止
- ・高次脳機能障がい圏域別研修会 中止

〈 家族会・交流会等 〉

－家族会・交流会－

- ・患者・家族サロン 13回：延べ113名参加（6圏域）

－講師派遣－

- ・出前講座 1回：10名参加

－普及・啓発－

- ・社会資源マップ（改訂版）の医療機関、行政、関係機関等への配布

- 特に力を入れたこと
 - ・社会資源マップを改訂したため、高次脳機能障害に関する情報も含めて医療機関、行政、関係機関等へ郵送し普及啓発活動に努めた。
 - ・圏域や県全体の研修会開催が難しかったため初めて出前講座を開催した。
 - ・コロナ禍において可能な範囲で患者・家族サロンを開催した。
 - ・院内連携（脳神経外科、精神科）強化を行えるよう体制作りを検討した。
- 今後の課題
 - ・コロナ禍において会議や研修会の開催方法や患者・家族サロンの開催について検討が必要である。感染対策を行いながら事業を継続していく必要がある。
 - ・圏域相談拠点の病院内で連携を強化（回復期病棟との連携）していく必要がある。
 - ・当事者・家族の方との相談体制をどのように行っていくか、検討が必要である。
 - ・いわき市内に高次脳機能障害の診断・評価可能な医療機関を開拓する。（継続課題）
- COVID-19 感染拡大の事業計画への影響と対応
 - ・福島県高次脳機能障がい支援研修会や圏域別研修会・連絡会議が開催できず、患者・家族サロンの回数も減り、集合形式の活動は感染拡大状況にも左右されるため、Web 開催について検討が必要と思われる。
 - ・院内の感染対策によって部外者への院内への立ち入り制限等がありサロン実施ができない状況があった。家族、当事者から困ったことがあれば電話相談を行い対応した。近隣に公共施設がオープンしたためそこで開催とした。今後の感染の拡大状況によってはサロン開催を見合わせる事が考えられる。
 - ・サロン実施ができない状況においては家族会と連携して個別的にピアサポートのコーディネートを行い、また電話でのモニタリング実施等できるだけきめ細かいフォローを心がけた。
 - ・一般相談について一時期外来患者減少などもあった影響か相談件数も減となっている。
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えにより、高次脳機能障がい者の把握困難となっていることから、地域包括支援センター等の関係機関と連携し当該障がい者の支援を図りたい。

【令和3年度 実施計画】

- ・福島県高次脳機能障がい支援会議、高次脳機能障がい支援コーディネーター会議及び福島県高次脳機能障がい支援研修会の Web 開催
- ・各圏域相談支援拠点における事例検討会の実施
（地域の掘り起こしを行い、支援体制づくりの強化）
- ・各圏域相談支援拠点における患者・家族サロンの充実
- ・社会資源マップ改訂版の配布
- ・日本高次脳機能障害友の会全国大会 in 福島開催に向けた協力

関東甲信越ブロック【茨城県】

・支援拠点機関：茨城県高次脳機能障害支援センター

【令和2年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	433	電話	412
来院／来所	89	来院／来所	16
メール／書簡	8	メール／書簡	28
その他	187	その他	34
計	717	計	490

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

- ① 高次脳機能障害者支援基礎講座 令和3年1月12日～18日（動画配信）参加者184名
- ② 高次脳機能障害支援従事者研修会（共催。オンライン方式）令和3年3月16日 参加者58名
- ③ 他機関開催研修への講師派遣 17回

イ 事例検討会等

（ア） ネットワーク育成事業

- ① 高次脳機能障害支援ネットワーク協議会
 - 第1回 開催日 令和2年8月24日 委員10名、オブザーバー4名
 - 第2回 開催日 令和3年2月22日 委員10名、オブザーバー3名（web開催）
- ② 高次脳機能障害支援機関・施設連絡会 全2回 参加者合計99名
 - （県北地区）令和2年9月3日 12施設19名
 - （県南地区）令和3年3月12日 9施設16名（web開催）
- ③ 茨城県高次脳機能障害協力病院事業：担当者会議 計31名（全てweb開催）
 - （県央地区）令和3年1月14日 4病院 8名
 - （県北地区）令和3年1月28日 3病院 4名
 - （県南地区）令和3年2月4日 5病院 6名
 - （鹿行地区）令和3年2月18日 6病院10名
 - （県西地区）令和3年3月4日 3病院 3名
- ④ 高次脳機能障害友の会いばらきとの連携
 - 家族会交流室・地区集会・当事者の集いに延べ17回出席。
- ⑤ 自動車再運転支援連絡・研究会（事例検討含む）
 - 第1回：令和2年10月22日23名
 - 第2回：令和2年11月27日21名
 - 第3回：令和3年1月27日18名
 - 第4回：令和3年3月18日17名
- ⑥ 個別ケース事例検討会 25回（ケア会議等に参加、協力したものを含む。）

○普及啓発

- ① 関係機関との情報交換・連携・調整 延べ199件
- ② 市町村、社会福祉協議会への広報誌・ホームページ掲載依頼

広報誌：19 市町村、7 社協で掲載。

ホームページ：26 市町村、19 社協、12 医療機関、他 4 機関とリンク設定。

③ 各種媒体の活用（下線部が令和 2 年度より新たに行ったもの）

- ・ 県民手帳への掲載
- ・ センターパンフレット、小冊子「高次脳機能障害といわれたら」、缶バッジの配布
- ・ 県民に広報したいコーナーへの登録（市町村やフリーペーパー発行元への掲載データの情報提供）
- ・ 高次脳機能障害支援センターTwitter アカウント (@iba_koujinou) の開設
- ・ 高次脳機能障害支援センターYouTube アカウントの開設
- ・ 広報用ポケットサイズカード（支援センター業務概要を記載）の作成（30,000 部）

○令和 2 年度特に力を入れたこと等

- ① 2 か年計画であった高次脳機能障害支援協力病院モデル事業委託の実績の精査
- ② オンライン形式による研修および会議の開催
- ③ 茨城県高次脳機能障害支援マップの公開
- ④ 自動車再運転支援連絡・研究会の開催および再運転評価マニュアル（仮称・案）の作成に向けた取り組み
- ⑤ 新たな媒体（ポケットサイズカード、Twitter）の活用による広報活動

○今後の課題等

- ① 県内における茨城県高次脳機能障害支援センターの認知度のさらなる向上
- ② 地域支援体制の整備
- ③ 高次脳機能障害支援サポーターの活用
- ④ 小児・教育領域に向けた普及啓発、連携支援

【令和 3 年度事業実施計画】

基本的には本年度同様の事業を予定している。具体的な事業計画は以下のとおり。

- ① 高次脳機能障害地域支援体制整備事業業務委託
- ② 各種研修および連絡会等の開催
- ③ 茨城県高次脳機能障害支援制度マニュアルの作成、公開
- ④ 自動車再運転評価マニュアル（仮称・案）の作成と実践
- ⑤ 公開中の茨城県高次脳機能障害支援マップの更新
- ⑥ 高次脳機能障害支援ツールの作成、公開

関東甲信越ブロック【栃木県】

- ・ 支援拠点機関：
- ・ **高次脳機能障害 支援拠点機関(2箇所)**
 栃木県障害者総合相談所、栃木県立リハビリテーションセンター
- ・ **高次脳機能障害 地域支援拠点機関(5箇所)**
 足利赤十字病院、国際医療福祉大学病院、栃木県医師会塩原温泉病院
 真岡中央クリニック、リハビリテーション花の舎病院

【令和2年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	247	電話	405
来院／来所	91	来院／来所	22
メール／書簡	0	メール／書簡	0
その他	68	その他	75
計	406	計	502

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

(1) 研修

●栃木県障害者総合相談所

- ①高次脳機能障害相談支援研修（基礎編） 開催日 11/25 参加者 15名
- ②家族教室 開催日 11/25 参加者 8名
- ※①及び②は合同開催、【集合形式】
- ③高次脳機能障害医療従事者等研修 配信期間 2/26～3/7 受講申込 146名
 【オンライン形式】

イ 事例検討会等

(ア) ネットワーク育成事業：会議名

●栃木県障害者総合相談所

- ①高次脳機能障害支援連携協議会
 第1回【集合】 開催日 10/30 (参加者 委員 14名)
 第2回【書面】 通知日 1/20 (参加者 委員 18名)
- ②高次脳機能障害支援コーディネーター打合せ会議
 【書面】 通知日 7/9 (参加者 11名)

(イ) 事例検討会等

●栃木県障害者総合相談所

①ケース会議への参加 (38回)

●真岡中央クリニック

①ケース会議 4/13 (参加者 9名)

○普及啓発

●栃木県障害者総合相談所

①リーフレット

「知ってほしい制度と社会資源～高次脳機能障害者を支える社会資源～」

5,000部印刷

「高次脳機能障害を持つ方やその御家族の方へ～知ってほしい制度と社会資源～」

5,000部印刷

②宇都宮市北部ブロック地域包括支援センター主催研修への講師派遣

【集合形式】 開催日 10/23 (参加者 14名)

③(一社)交通事故被害者家族ネットワーク主催講習会への講師派遣

【オンライン形式(会場参加可)】 開催日 12/6 (会場参加者5名)

●栃木県立リハビリテーションセンター

①那須烏山市社会福祉協議会に対する出前講座

「高次脳機能障害の障害特性と対応」 開催日：9/29 参加者：21名

②(一社)交通事故被害者家族ネットワーク主催講習会への講師派遣

【オンライン形式(会場参加可)】 開催日 12/6 (会場参加者5名)

○令和2年度特に力を入れたこと等

●栃木県障害者総合相談所

新型コロナウイルス感染症の影響により、高次脳機能障害セミナーや相談支援研修(応用編)の開催を中止し普及啓発の機会が減少したことから、リーフレットによる周知を強化

●栃木県立リハビリテーションセンター

高次脳機能障害に関する研修への積極的な参加

●足利赤十字病院

外傷性脳損傷後の就労予後研究の論文が *American Journal of Occupational Therapy(AJOT)* に掲載されたこと。アパシーや、脱抑制、精神疾患の合併があると就労支援においてマイナス要因となることが研究結果で分かった。

●真岡中央クリニック

①昨年度に引き続き、相談受理票兼連絡票を共有することで、院内の情報共有化を図れた。

②対象者、ご家族、利用施設スタッフを含めた多職種参加での事例検討会を開催できた。

○今後の課題等

●栃木県障害者総合相談所

- ①地域支援拠点機関との連携体制づくり
- ②地域支援拠点機関を中心とした支援ネットワークづくり
- ③高次脳機能障害者の復職、新規就労に向けた就労準備訓練の実施が可能な人材の育成

●足利赤十字病院

- ① 高次脳機能障害相談支援研修に積極的に参加し、支援の質を向上させる。
- ② 若年の高次脳機能障害患者における障害福祉サービスと、介護保険サービスの併用を実現し、患者の QOL 向上に努める。
- ③ COVID-19 感染拡大の事業計画への影響と対応感染拡大を避けるため、事例検討会及び普及啓発活動開催を延期した。

●国際医療福祉大学病院

- ①院内の体制づくり
- ②COVID-19 感染拡大に伴い今後の啓発・研修会開催についての方法

●栃木県医師会塩原温泉病院

- ①院外での web 研修会等への積極的な参加
- ② 継続的な支援
- ③多職種間でのスムーズな連携強化

●真岡中央クリニック

- ①継続支援中の方のケース会議の開催
- ②当施設内職員向けの研修会実施
- ③地域内啓蒙活動の実施（交流会など）

【令和3年度事業計画】

- ・基本的には本年度同様の事業を予定している。

●栃木県障害者総合相談所

- ・基本的には例年同様の事業を予定しているが、研修の開催方法についてはオンラインを活用
- ・社会資源に関するアンケート調査を実施

●足利赤十字病院

- ・ZOOM 等、電子機器を用いたオンラインを積極的に活用し、事例検討会及び普及啓発活動を行っていく

●真岡中央クリニック

- ・課題の実施
- ・コロナ禍ではあるが、他職種、他事業所との情報交換、連携体制の強化を図る

関東甲信越ブロック【群馬県】

- ・支援拠点機関：前橋赤十字病院

【令和2年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	552	電話	130
来院／来所	391	来院／来所	88
メール／書簡	0	メール／書簡	0
その他	20	その他	0
計	963	計	218

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

- ① ぐんま高次脳機能障害リハビリテーション講習会
令和3年12月5日 WEB開催 参加者172名

イ 事例検討会等

(ア) ネットワーク育成事業：令和3年度高次脳機能障害支援連絡会

- ①第1回 開催日 令和3年3月18日 (参加者 13名)

(イ) 事例検討会等

- ①ケースカンファレンス（個別支援の一環として）20件（延べ100名）

○普及啓発

- ①市町村障害福祉関係業務新任職員研修会 書面開催

○令和2年度特に力を入れたこと等

- ①高次脳機能障害支援ネットワークづくりの検討

○今後の課題等

- ①高次脳機能障害支援ネットワーク構築のための実態把握
- ②高次脳機能障害の支援ネットワークづくり

【令和3年度事業計画】

- ・群馬県高次脳機能障害者支援連絡会（2回実施）
- ・高次脳機能障害支援ネットワーク構築のための実態調査の実施
- ・高次脳機能障害の支援ネットワークづくり研修会の開催

【令和3年度重点事項】

- ・事業計画同様

関東甲信越ブロック【埼玉県】

- ・支援拠点機関：埼玉県総合リハビリテーションセンター

【令和2年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	1, 984	電話	1, 385
来院/来所	1, 708	来院/来所	233
メール/書簡	57	メール/書簡	58
その他	29	その他	12
計	3, 778	計	1, 688

※上記の他「相談窓口」委託先（2医療機関）での相談実績
143件（直接相談：66件、間接相談：77件）

○研修、会議等の開催状況（①～③ともYouTube限定公開）

①医療関係者向け専門研修会（講義）1回

「高次脳機能障害の診断書作成のための留意事項と能力障害・生活障害のとらえ方～
医師の役割とコメディカルの役割～」

開催日：令和3年2月1日（月）～10日（水） 申込者：317名

②市町村職員、相談支援事業所職員等向け研修 2回

- ・「障害の理解とリハビリテーション 高次脳機能障害編」

開催日：令和2年12月8日（火）～18日（金） 申込者：355名

- ・「高次脳機能障害者の暮らしを支えるために 就労支援編」

開催日：令和3年2月10日（水）～17日（水） 申込者：213名

③医療と福祉の連携を目指す研修会 1回

「川口市相談支援事業所の取り組みの紹介」

開催日：令和3年3月15日（月）～24日（水） 申込者：420名

○普及啓発

- ・リーフレット・パンフレットの配布 *ホームページからのダウンロード可
「理解編」「社会資源・制度編」を関係機関へ配布
- ・県広報誌による啓発 令和3年2月号
- ・動画配信サイトYouTubeを利用して高次脳機能障害及び相談窓口の周知を行った。

○令和2年度特に力を入れたこと等

①関係機関の情報交換会等への出席

- ・さいたま市と埼玉県との高次脳機能障害者支援連絡会 1回
- ・川口市高次脳機能障害情報交換会出席 1回

- ②地域相談支援（サポート）事業 依頼件数 5件 職員派遣 5回
- ③高次脳機能障害者支援機能の地域展開事業 相談窓口を2医療機関に委託
- ④高次脳機能障害者就労アシスト事業 定着支援 23名登録 事業所等訪問支援 23件
- ⑤ピア・カウンセリング事業 15回

○今後の課題等

- ①医療と福祉の連携を強化し、高次脳機能障害者が途切れなく診療や支援を受けられる体制づくり
- ②コロナ禍においても、YouTube や ZOOM などを利用した関係者向け研修や県民に対する普及啓発の機会確保
- ③身近なところで相談支援を受けられる体制の構築

【令和3年度事業計画】

○相談支援

- 総合相談窓口（来所・電話）
- 地域相談支援（サポート）事業による職員派遣
- 高次脳機能障害者支援機能の地域展開事業

○研修事業

- 関係者向け専門研修（講義 3回）
- 市町村職員、相談支援事業者職員等向け研修（基礎編2日および応用編1日 計2回）

○普及啓発

- 県民向けセミナー開催
- リーフレットおよびパンフレットの配布「理解編」「社会資源・制度編」
- 県広報誌による啓発
- オンライン（YouTube等）を利用した啓発

○その他

- 関係機関情報交換会の出席
- 県支援体制整備推進委員会の運営
- ピア・カウンセリング事業（委託により実施；電話相談および地域相談会）
- 高次脳機能障害者就労アシスト事業

【令和3年度重点事項】

- ・医療と福祉の連携強化

【その他】

- ・県内全域における相談支援体制の構築

関東甲信越ブロック【千葉県】

- ・支援拠点機関：千葉県千葉リハビリテーションセンター
旭神経内科リハビリテーション病院
亀田リハビリテーション病院
総合病院国保旭中央病院

【令和2年度（4～3月）実績】

○相談支援

<千葉県千葉リハビリテーションセンター>

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	1,097	電話	1,507
来院／来所	2,307	来院／来所	117
メール／書簡	142	メール／書簡	89
その他	90	その他	153
計	3,636	計	1,866

<旭神経内科リハビリテーション病院>

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	38	電話	82
来院／来所	23	来院／来所	3
メール／書簡	0	メール／書簡	0
その他	0	その他	0
計	61	計	85

<亀田リハビリテーション病院>

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	7	電話	23
来院／来所	477	来院／来所	2
メール／書簡	0	メール／書簡	0
その他	0	その他	2
計	484	計	27

<総合病院国保旭中央病院>

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	9	電話	53
来院／来所	126	来院／来所	2
メール／書簡	4	メール／書簡	19

その他	111	その他	1
計	250	計	75

○研修、会議等の開催状況

<千葉県千葉リハビリテーションセンター>

ア 研修 (主催)

- ① 第1回 高次脳機能障害地域支援者向け連続講座 2020 WEB 研修会
開催日 10月14日 (参加者 169名)
- ② 第16回 高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会 WEB 研修会
開催日 10月23日 (参加者 344名)
- ③ 第2回 高次脳機能障害地域支援者向け連続講座 2020 WEB 研修会
開催日 12月16日 (参加者 66名)
- ④ 当事者・家族のための高次脳機能障害勉強会 WEB 研修会
開催日 1月13日 (参加者 77名)
- ⑤ 第3回 高次脳機能障害生活版ジョブコーチ支援研修会 WEB 研修会
開催日 2月15日 (参加者 257名)
- ⑥ 第2回 自動車運転に関する医療支援者向け研修会 WEB 研修会
開催日 2月26日 (参加者 93名)
- ⑦ 高次脳機能障害者の自動車運転再開支援報告～各病院の取り組み～
開催日 2月27日 (参加者 不明)
- ⑧ 第3回 小児高次脳機能障害支援者向け研修会 WEB 研修会
開催日 3月5日 (参加者 193名)
- ⑨ 第14回 高次脳機能障害と自動車運転勉強会 WEB 研修会
開催日 3月13日 (参加者 47名)

イ 事例検討会等

(ア) ネットワーク育成事業：会議名

- ① 国保旭中央病院新規高次脳支援拠点機関打ち合わせ 開催日 5月29日 (参加者 9名)
- ② 千葉県高次脳機能障害ネットワーク担当者会議 開催日 8月7日 (参加者 10名)
- ③ 関東甲信越ブロック・東京ブロック担当者会議 開催日 10月22日 (参加者 65名)
- ④ 令和2年度第二回地域リハ広域支援センター及び第一回高次脳支援拠点機関連絡協議会 開催日 2月19日 (参加者 47名)

(イ) 事例検討会等

- ① 第1回 市川市高次脳機能障害児者サポート会議 開催日 7月28日 (参加者 11名)
- ② 第2回 市川市高次脳機能障害児者サポート会議 開催日 9月29日 (参加者 13名)
- ③ 第3回 市川市高次脳機能障害児者サポート会議 開催日 11月24日 (参加者 10名)

※すべてWEBによる参加

(ウ) ケース会議等

- ① ケース会議 開催件数 252回 (延べ参加者 1,170名)

(エ) 家族会・交流会等

第1回高次脳支援センター家族のつどい	開催日 9月16日 (参加者 11名)	集合+WEB
第2回高次脳支援センター家族のつどい	開催日 11月18日 (参加者 18名)	集合+WEB
第1回青年期家族グループ	開催日 10月12日 (参加者 3名)	集合+WEB
第3回高次脳支援センター家族のつどい	開催日 3月17日 (参加者 13名)	集合+WEB
第1回青年期当事者グループ	開催日 3月29日 (参加者 2名)	WEBのみ

<旭神経内科リハビリテーション病院>

ア 研修

- ①研修名 「USNについて」 開催日 令和2年11月18日 参加者 46名
- ②研修名 「失行について」 開催日 令和2年12月16日 参加者 52名
- ③研修名 「脱抑制」 開催日 令和3年1月20日 参加者 44名
- ④研修名 「動画で学ぶ高次脳機能障害」 開催日 令和3年2月10日 参加者 86名

イ 事例検討会等

(ア) ネットワーク育成事業：会議名

- ①第1回 高次脳機能障害支援拠点 地域連絡協議会 開催日 令和3年2月19日
(参加者 職種 当事者、医療機関、就労支援機関、福祉団体、市役所職員 計 48名)

(イ) 事例検討会等：

- ①柏市光が丘地域包括支援センター 高次脳機能障害者の事例検討会
開催日 令和3年2月17日 (参加者 11名)

②ケース会議等

ケース会議 開催日 令和2年10月16日 (参加者 14名)

③家族会・交流会等

- 家族会 東葛菜の花 開催日 令和2年6月23日 (参加者 8名)
- 東葛菜の花 開催日 令和2年7月28日 (参加者 6名)
- 東葛菜の花 開催日 令和2年8月25日 (参加者 10名)
- 東葛菜の花 開催日 令和2年9月29日 (参加者 6名)
- 東葛菜の花 開催日 令和2年10月27日 (参加者 9名)
- 東葛菜の花 開催日 令和2年11月25日 (参加者 11名)
- 東葛菜の花 開催日 令和2年12月22日 (参加者 11名)

<亀田リハビリテーション病院>

ア 会議

- ①当事業の運営方針・企画内容の検討会議 9月7日 参加者
- ②当事業の運営方針・企画内容の検討会議 1月18日 参加者

イ 事例検討会等

なし

<総合病院国保旭中央病院>

ア 研修

- ①障害のある方の地域生活・就労に関する意見交換会 12月3日 (参加者 57名)
- ②高次脳機能障害者への自動車運転支援研修会 2月27日 (参加者 34名)

イ 事例検討会等

(ア) ネットワーク育成事業：会議名

- ①東総就業センターとの意見交換会 9月24日 (参加者 6名)
- ②意見交換会企画会議 10月8日 (参加者 6名)

(イ) 事例検討会等

- ①事例検討会 5月19日 (参加者 6名)
- ②リスク（転倒等）カンファレンス 10月21日 (参加者 8名)
- ③ケア会議 11月27日 (参加者 8名)

○普及啓発

<千葉県千葉リハビリテーションセンター>

・研修会協力

- ①若葉泉の里 高次脳機能障害支援センター業務の説明および高次脳機能障害の説明
開催日 8月20日 (参加者 5名)

- ②令和2年度 香取海匝地区 障害のある方の地域生活・就労に関する地域意見交換
会（高次脳機能障害について知ろう！） 開催日 12月3日 (参加者 51名)

・家族会支援

県内家族会支援 (回数 15回 参加者延数 167名) 支援センター事業と協働開催

・研修会参加

- ①令和2年度 第1回高次脳機能障害支援普及事業全国連絡協議会 開催日 6月24日
(参加者 136名)

- ②令和2年度 第1回高次脳機能障害支援普及事業コーディネーター全国会議
開催日 7月17日 (参加者 107名)

- ③福井県高次脳機能障害支援センター高次脳機能障害に対する他職種事例検討会
開催日 11月14日 (参加者 27名)

- ④ハイリハキッズ 第2回ピアサポーター養成研修会 開催日 11月15日
(参加者 49名)

- ⑤旭神経内科リハビリテーション病院 WEBお茶会 開催日 11月20日
(参加者 15名)

- ⑥令和2年度第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会・令和2年度第2回支援
コーディネーター全国会議 WEB会議 開催日 2月26日 (参加者 120名)

- ⑦印旛圏域意見交換会 開催日 3月10日 (参加者 56名)

- ⑧精神障害者地域移行支援研修会 開催日 3月14日 (参加者 100名)

・広報啓発活動

- ①令和元年 千葉県高次脳機能障害支援普及事業報告書作成 6月29日

- ②こーじのう掲示板 第41号 発行7月30日
- ③こーじのう掲示板 第42号 発行12月4日
- ④小児「ひょっとして高次脳」チラシ改訂
- ⑤高次脳機能障害リーフレット
- ⑥こーじのう掲示板 第43号 発行3月31日

<旭神経内科リハビリテーション病院>

①高次脳支援者養成講座	開催日	令和2年6月11日	参加者	25名
	開催日	令和2年7月9日	参加者	19名
	開催日	令和2年8月13日	参加者	23名
	開催日	令和2年9月10日	参加者	27名
	開催日	令和2年10月8日	参加者	21名
	開催日	令和2年11月12日	参加者	23名
	開催日	令和2年12月10日	参加者	22名
	開催日	令和3年1月14日	参加者	20名
	開催日	令和3年3月11日	参加者	18名
②WEBお茶会の開催	開催日	令和2年11月20日	参加者	16名
③高次脳市民講座	開催日	令和2年11月26日	参加者	19名

<亀田リハビリテーション病院>

例年行っていた、南房総リハビリテーションケア文化祭の共催、高次脳機能障害支援普及事業映画上映会を実施せず。

- ①家族会 6月20日、8月17日、9月15日、10月20日、11月17日、12月15日、2月13日 70名

<総合病院国保旭中央病院>

- ①こーじのう掲示板41号への寄稿 6月
- ②こーじのう掲示板42号への寄稿 11月
- ③ホームページ作成（事業報告）
- ④会議、研修会等参加
 - 第1回全国連絡協議会 6月24日（参加者4名）
 - 第1回支援コーディネーター全国会議 7月17日（参加者4名）
 - 高次脳機能障害支援ネットワーク担当者会議 8月7日（参加者2名）
 - 高次脳機能障害者向け連続講座2020 10月14日（参加者1名）
 - 関東甲信越ブロック・東京ブロック合同会議 10月22日（参加者3名）
 - 高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会 10月23日（参加者9名）
 - 令和2年度千葉県高次脳機能障害支援普及事業講習会（旭神経内科主催）
2月10日（参加者1名）
 - 令和2年度第1回高次脳支援拠点合同連絡協議会（旭神経内科主催）

	2月19日（参加者1名）
令和2年度第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会	
	2月26日（参加者3名）
令和2年度第2回支援コーディネーター全国会議	2月26日（参加者4名）
第2回自動車運転に関する医療従事者向け研修会	2月26日（参加者3名）
小児高次脳機能障害支援者向け研修会	3月5日（参加者1名）

○令和2年度特に力を入れたこと等

＜千葉県千葉リハビリテーションセンター＞

①新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた新しい支援

- ・当事者支援サイトの立ち上げ、オンラインによる家族支援
- ・外部支援者向け分野別研修会のWEB開催

当事者・家族対象の高次脳勉強会、運転勉強会、高次脳連続講座、生活版ジョブ
コーチ支援研修、小児高次脳支援者向け研修会

②新支援拠点機関とその関連機関の連携のための支援

③自動車運転再開に関する関係機関との連携および新しいネットワークの構築

④高次脳データベース構築

＜旭神経内科リハビリテーション病院＞

①高次脳支援者養成講座を開催し、地域への普及啓発活動に尽力。

②高次脳カフェをWEB会議システムを用いてWEBお茶会として実施。

③高次脳集団プログラムを就労目的とし、1年間当事者へ高次脳講義と実践を行う教育プログラムへシフト。

④今後のYouTubeでの動画配信を視野に入れ、事前収録動画を用いた院内勉強会を実施。

⑤看護師が家族に高次脳の症状や対応方法を退院時に説明出来るようにマニュアルを作成。毎月その一部を院内に掲示し、理解度チェックのテストを実施していき職員の理解度を深める

＜亀田リハビリテーション病院＞

①家族会でネット環境を駆逐できるかの調査

②高次脳機能障害の書籍の見直し

＜総合病院国保旭中央病院＞

①院内連携・支援体制の構築

②指定受託・事業開始の周知

○今後の課題等

＜千葉県千葉リハビリテーションセンター＞

①コロナ禍における高次脳支援の継続

オンラインによる支援の効果とともにデメリット（高齢者や当事者で ZOOM 使用ができない、家族会をどう支援するかなど）とその対応

- ②支援コーディネーター連携強化および地域支援者との支援力向上に向けた取り組み
- ③自動車運転再開に関する県内医療機関との連携強化
- ④県内精神科との連携

<旭神経内科リハビリテーション病院>

- ①家族会が縮小傾向。その原因となる次の担い手の不足、家族の高齢化問題。
- ②高次脳機能障害者向けのサービスの状況把握が不十分。
- ③市役所、地域包括支援センターなどにおける障害福祉サービス分野での連携不足。

<亀田リハビリテーション病院>

- ①リモート環境での活動の模索
- ②映画上映会などの再開

<総合病院国保旭中央病院>

- ①関係機関との連携体制の構築
- ②当事者・家族支援（交流会や勉強会などの実施）

【令和3年度事業計画】

<千葉県千葉リハビリテーションセンター>

- 主な事業予定

《千葉リハ》 下線部は昨年度～今年度にかけての新たな取り組み内容

1 支援拠点機関全体事業

- (1) 高次脳機能障害者支援情報マップの更新
- (2) 広報誌「こ～じのう掲示板」の発行（年3回）
- (3) コロナ禍における情報発信等ホームページの更新と発信、実態把握のためのアンケート調査の実施
- (4) 普及啓発用のチラシ・成人支援ガイドの改訂およびそれらを用いた県内各所への周知
- (5) 研修会やセミナーなどの開催・協力
 - ①昨年度実施した9つの研修会（外部向け）を継続して企画・開催
 - ②医療および福祉事業所等からの講師依頼の対応※コロナ禍における研修会の在り方検討
- (6) 個別相談支援及び家族・家族会への支援
- (7) 地域支援機関への支援
- (8) 事業報告書作成

2 事業推進プロジェクト

- (1) 成人高次脳リハプログラミングプロジェクト

- ①自動車運転再開支援の充実（センター内 眼科医と医師による勉強会開催）と関係機関との連携強化
 - ②医療リハにおけるグループ訓練（OT、心理、ST、PT）と家族支援の充実
 - ③運転再開支援における支援視覚化シートの検証・運用
 - ④思春期～青年期当事者への支援の充実
- (2) 小児高次脳リハプログラミングプロジェクト
- ①学校教職員、地域支援機関との連携 ②家族支援及び家族会活動への協力
 - ③小児グループ訓練 ④外部支援者向け研修会の開催
- (3) 地域生活復帰支援プロジェクト
- ①外部支援者向け「生活版ジョブコーチ支援」研修会の開催
 - ②生活訓練における支援フロー視覚化への取り組み
 - ③内外向け社会リハビリテーション研修会開催に向けた取り組み
- (4) 就労移行支援プロジェクト
- ①就労経験者交流会「カフェ輪駆」及び若年当事者交流会「ヤングカフェ」の開催
 - ②就労支援機関向け研修会の開催（障害者職業センターとの協働開催）
 - ③千葉リハ就労支援統合へ向けた情報共有及び検討
 - ④当事者チャレンジ雇用「マッチドオフィス」の運営の検討と協力
- 3 千葉県高次脳機能障害支援ネットワークを活用し地域生活充実のための支援の実施
- (1)「千葉県高次脳機能障害支援ネットワーク連絡協議会」での県内の課題と活動方針の確認
 - (2)「県ネットワーク担当者会議」での共通課題の確認と支援コーディネーター研修会の開催
 - (3) 地域支援ネットワーク充実のための支援

<旭神経内科リハビリテーション病院>

- ・基本的には前年度同様の事業を予定している。
- ・加えて、高次脳支援者養成講座のオンライン化の検討、当院かかりつけ当事者の生活実態調査の予備調査を行っていく。

<亀田リハビリテーション病院>

- ・基本的には前年度同様の事業を予定している。

<総合病院国保旭中央病院>

- ・基本的には前年度同様の事業を予定している。
- ・具体的な事業計画

相談支援事業：高次脳機能診断・評価、個別リハ、精神科デイケア、個別相談支援

普及啓発事業：ホームページによる情報発信、連絡会議・事例検討会・交流会

研修事業：高次脳機能障害支援研修会、講師派遣

【令和3年度重点事項】

＜千葉県千葉リハビリテーションセンター＞

- ・ コロナ禍における高次脳支援への対応の工夫
- ・ 高次脳機能障害者支援情報マップの更新
- ・ 支援コーディネーター連携強化および地域支援者との支援力向上に向けた取り組み
- ・ 自動車運転再開に関する関係機関との連携および新しいネットワークの構築
- ・ 地域支援ネットワークの強化および研修会等による情報共有・共同支援

＜旭神経内科リハビリテーション病院＞

- ・ 家族会支援
- ・ 高次脳支援のオンライン化
- ・ 高次脳支援者の連携強化

＜亀田リハビリテーション病院＞

- ・ コロナの様子をみながら、映画上映会の再開の検討
- ・ リモートベースでの活動の模索

＜総合病院国保旭中央病院＞

- ・ ホームページコンテンツの充実
- ・ 事例検討会・交流会の開催計画

【その他】

＜千葉県千葉リハビリテーションセンター＞

- ・ 特になし

＜旭神経内科リハビリテーション病院＞

- ・ 特になし

＜亀田リハビリテーション病院＞

- ・ 特になし

＜総合病院国保旭中央病院＞

- ・ 対面での活動実施については、感染拡大状況に応じて判断する。

関東甲信越ブロック【神奈川県】

・支援拠点機関：神奈川県総合リハビリテーション事業団

【令和2年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	815	電話	348
来院／来所	690	来院／来所	451
メール／書簡	65	メール／書簡	0
その他	35	その他	9
計	1605	計	808

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

- ① 高次脳機能障害セミナー小児編（R2/12/6）オンライン研修：17人
- ② 高次脳機能障害セミナー実務編（R2/12/19）オンライン研修：39人
- ③ 高次脳機能障害セミナー就労支援編（R3/2/6）オンライン研修：27人

イ 事例検討会等

（ア）ネットワーク育成事業：会議名：

●神奈川県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

- ①第1回 開催日 R3/2/3 （参加者 支援拠点機関、県、政令市、学識経験者、医療ソーシャルワーカー協会、更生相談所、職域団体、精神保健センター、障害者施設協会、当事者家族会など 17名）

●神奈川県高次脳機能障害支援ネットワーク連絡会

- ①第1回 開催日 R2/7/16
- ②第2回 開催日 R3/2/2

●政令市と神奈川県の情報交換会

- ①第1回 開催日 R2/7/28
- ②第2回 開催日 R3/1/19

（イ）事例検討会等

- ① R2/10/27 チャレンジⅡ：参加者 22名（社会福祉士7名、ケアマネジャー6名、障害福祉施設職員4名、介護福祉士2名、言語聴覚士1名）、精神保健福祉士1名、相談支援専門員1名、その他1名
- ② R2/12/1 相模原市高次脳機能障害支援ネットワーク連絡会（オンライン事例検討会）：参加者：31名
- ③ R3/2/9 相模原市高次脳機能障害支援ネットワーク連絡会（オンライン事例検討会）：参加者 29名

- ④ R3/2/19 チャレンジⅡ（オンライン事例検討会）：参加者 34 名
- ⑤ R3/3/10 オンライン事例検討会：参加者 7 名（MSW4 名、相談員 1 名、臨床心理士 1 名、理学療法士 1 名）

○普及啓発

- ①研修名 中止

○令和 2 年度特に力を入れたこと等

- ①リモート研修（リモートでの座学研修・事例検討会）
- ②地域支援者に繋がっていない方への支援

○今後の課題等

- ①地域での具体的な高次脳機能障害支援プログラム作成
- ②老障介護・親亡き後問題

【令和 3 年度事業計画】

- ・基本的には前年度同様の事業を予定している。等

【令和 3 年度重点事項】

- ・地域での具体的な高次脳機能障害支援プログラム作成
- ・家族会と連携しつつ老障介護・親亡き後問題への対応を検討していく

【その他】

- ・特になし

関東甲信越ブロック【新潟県】

・支援拠点機関：高次脳機能障害相談支援センター（新潟県精神保健福祉センター内）

【令和2年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	484	電話	369
来院／来所	126	来院／来所	11
メール／書簡	30	メール／書簡	71
その他	28	その他	14
計	668	計	465

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

- ① 研修名 医療・保健・福祉関係職員研修 開催日 12月13日 参加者 103名
（※Zoomによるオンライン開催）
- ② 研修名 障害保健福祉圏域別支援従事者研修会（相談支援地域拠点（7ヵ所）が主催）
開催日 9月～12月の間に7ヵ所で1回ずつ開催 参加者 延べ278名

イ 事例検討会等

（ア）ネットワーク育成事業：会議名

- ① 新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会 開催日 11月16日
（委員：医療福祉関係職 12名）
- ② 高次脳機能障害相談支援地域拠点連絡会議 開催日 7月（書面開催）、3月8日
（参加者：精神保健福祉相談員等 16名）

（イ）事例検討会等

障害保健福祉圏域別支援従事者研修 4ヵ所で実施 参加者 延べ189名

○普及啓発

- ① リハビリテーション講習会（運営の支援） 12月14日～27日（Youtubeによるオンデマンド配信）申込者数182名（再生延べ回数912回）
- ② 家族教室 全3回 参加者 延べ36名
- ③ 家族のつどい（支援拠点）4回 参加者 延べ43名
- ④ 家族のつどい（地域拠点）10回 参加者 延べ37名
- ⑤ 当事者のつどい（支援拠点）2回 参加者 延べ17名
- ⑥ 高次脳機能障害に対応可能な医療機関一覧の公表
- ⑦ 高次脳機能障害者支援ガイドブックの改訂・配布

○令和2年度特に力を入れたこと等

- ① 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、さまざまな研修等を中止せざるを得ない状況下で、当該事業については、オンラインによる配信、感染対策を行った上での家族教室等を実施した。
- ② 教育・高齢分野から依頼があり、高次脳機能障害に関する出前講座を実施した。
- ③ 高次脳機能障害者支援ガイドブックの改訂に関して関係者や運営委員会での協議を行い、改訂・公表した。

○今後の課題等

- ① 医療、福祉、教育等の関係機関の対応力向上及びネットワーク構築をねらう研修や普及啓発を実施する。
- ② 身近な地域で充実した支援が受けられるよう、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに組み込まれた支援体制整備を進める。
- ③ 課題解決のための取組について、Webを活用した効果的な手法を検討する。
- ④ 「高次脳機能障害者支援ガイドブック」の改訂版を広く活用してもらえるよう周知を進める。

【令和3年度事業計画】

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に留意し、基本的には前年度同様の事業を予定している。

【令和3年度重点事項】

- ・Webを活用した効果的な研修のあり方、家族支援（家族教室、家族や当事者のつどい等）における関係機関の協力体制の強化と事業の拡大を引き続き検討する。
- ・「高次脳機能障害に対応可能な医療機関一覧」を令和4年度に更新するため、関係機関と協議し、スムーズに更新できるよう事前の準備を行う。

関東甲信越ブロック【山梨県】

・支援拠点機関：山梨県高次脳機能障害者支援センター（甲州リハビリテーション病院）

【令和2年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	346	電話	254
来院／来所	202	来院／来所	12
メール／書簡	96	メール／書簡	35
その他	32	その他	96
計	676	計	397

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

- ① 研修名：令和2年度山梨県高次脳機能障害者支援センター講演会
 開催日：令和2年11月27日（金）
 参加者：40名（Zoomウェビナーによるオンライン開催）

イ 事例検討会等

（ア） ネットワーク育成事業

令和2年度山梨県高次脳機能障害支援ネットワーク連絡協議会
 開催日：令和3年2月（書面開催）
 参加者（意見照会者）：委員17名

（イ） 事例検討会等

- ① 事例検討会 原則毎月第1木曜に開催（12回開催 参加者数：計 136名）
 4月2日（参加者11名）、5月7日（参加者12名）、6月12日（参加者12名）
 7月2日（参加者12名）、8月6日（参加者11名）、9月3日（参加者9名）
 10月1日（参加者12名）、11月5日（参加者12名）、12月3日（参加者10名）
 1月7日（参加者10名）、2月4日（参加者12名）、3月4日（参加者13名）
- ② 山梨県高次脳機能障害者支援センター定例会
 毎週木曜日開催（センタースタッフ兼務含む 12名） Zoom会議

○普及啓発

- ① デイサービスセンターきぼう富士川事業所 職員学習会 10月21日 参加者8名
 ② みんなの家つる東（小規模多機能居宅介護事業所）職員学習会 11月2日 参加者10名
 ③ 笛吹市東部長寿包括支援センター地域ケア会議 助言者 1月19日 参加者14名

○令和2年度特に力を入れたこと等

① サテライト相談窓口の開設

県内に設置されている支援拠点機関は1か所。支援拠点機関が置かれている市や周辺の自治体からの相談件数は維持・増加傾向であるが、遠隔地など依然として相談実績のない自治体も存在する。支援拠点機関への交通アクセスの問題や、支援拠点機関の存在が周知されているかなど「地域格差」の存在を仮定し、その是正を目的とした「サテライト相談会」を開催した。4エリア各3回計12回を計画通りに実施した。

② 支援ガイドブックの作成

普及啓発を目的として支援手法等をまとめた「山梨県高次脳機能障害支援ガイドブック」を作成し、県及び当センターのホームページへ掲載及び関係機関に配布した。

③ 支援マップの改訂

平成27年に作成した「山梨県高次脳機能障害支援マップ」を改訂し、医療機関を中心とする社会資源をまとめた。

④ 講演会のオンライン開催

計画当初は集合形式を検討し準備を進めたが、COVID-19の感染拡大状況を鑑み、新しい生活様式に則したZoomウェビナー方式で実施。

○今後の課題等

① 普及啓発（情報発信強化）

② 支援ネットワークのさらなる強化（特に医療機関）

【令和3年度事業計画】

・事業実施要綱に沿った、センター機能・役割とリンクさせながら、高次脳機能障害者に対する支援体制の整備を目指す。基本的には本年度同様の事業を予定している。

【令和3年度重点事項】

- ・サテライト相談窓口の継続（広報強化、相談の地域格差の検証・分析）。
- ・情報発信強化による支援ガイドブックの更なる周知と普及啓発における活用。

【その他】

- ・所轄課が障害福祉課から健康増進課に変更。県事業実施要綱改訂。
- ・支援コーディネーターは、3名から2名体制に変更（相談担当を1名から3名に増員）。
- ・WEB通信機器・環境は整備済み。必要時の相談対応やリモート会議で活用可能。

関東甲信越ブロック【長野県】

- ・支援拠点機関：県立総合リハビリテーションセンター
佐久総合病院
健和会病院
桔梗ヶ原病院

【令和2年度（4～3月）実績】

○相談支援

直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
電話	274	電話	511
来院／来所	449	来院／来所	157
メール／書簡	4	メール／書簡	120
その他	9	その他	18
計	736	計	806

○研修、会議等の開催状況

ア 研修

●佐久総合病院

新型コロナウイルスの影響で研修会は非開催。

●健和会病院

- ① 院内 高次脳機能障害支援委員会 9回 参加者 78名
- ② 院内 作業療法士リーダー会議 8回 参加者 52名
- ③ 院内 作業療法士学習会 9回 参加者 226名

●桔梗ヶ原病院

- ①研修名 リハビリテーション科医武田克彦医師によるランチョンセミナー(Web開催)
開催日 毎月1回開催 (8～3月内で8回の開催)
参加者 述べ160名 20人×8か月
テーマ 脳解剖学

イ 事例検討会等

- (ア) ネットワーク育成事業
なし

(イ) 事例検討会等

●佐久総合病院

- ①高次脳機能障害カンファレンス(院内)3か月1度紙面にて開催。
- ②患者・家族会(今年度は開催無し)の事務局支援。会報による情報交換。
- ③長野県障がい者運転支援連絡会をWeb(5月、11月)会議で行った。

●健和会病院

- ① 院内検討会 3回（参加者9名）

○普及啓発

●健和会病院

- 研修会 中止

●桔梗ヶ原病院

- ①病院ホームページでは、当院における診療について、リハビリテーションの取り組み等を随時更新している。今期は特に自動車運転について更新を行った。

○令和2年度特に力を入れたこと等

●県立総合リハビリテーションセンター

- ①個別支援では、Web 会議、Web 面接を取り入れ、関係機関との連絡調整が途絶えないように工夫した。

●佐久総合病院

- ①医療従事者向けのドライビングシミュレータ研修に参加。

●健和会病院

- ①復職支援・運転再開支援マニュアルの改編
②家族会の在り方についてアンケート調査実施

●桔梗ヶ原病院

- ①昨年に引き続き運転再開に向けた取り組みを行っている。（当院では、神経心理学的検査結果、ドライブシミュレーターによる評価を行い、眼科、自動車学校、免許センターと連携を図り、自動車運転再開に向けて評価、リハビリテーション、支援を実施している。）
これまでの取り組みなども皆様に閲覧してもらえるようにホームページの更新を行い動画も掲載している。

○今後の課題等

●県立総合リハビリテーションセンター

- ①災害時や感染症蔓延など非常時の情報提供、支援体制の在り方

●佐久総合病院

- ①去年実施できなかった研修会を Web 等で開催したい。
②患者会の開催方法の検討
③紙面上でも行えるよう、高次脳機能障害カンファレンスの内容を検討。

●健和会病院

- ①復職支援において、コロナ禍で直接面談や職場訪問が難しくなり、復職に向けて職場との調整が課題。
②運転再開支援において、教習所が利用できない場合の運転評価・判断が課題。

③主に若年の高次脳機能障害の方が利用できる、福祉的就労の場や訓練施設の拡大が必要と考えている。

●桔梗ヶ原病院

- ①支援を行う上で医療・福祉・介護と様々なサービスが混在する中で相互の連携不足や理解不足を痛感している。医療・福祉・介護が連携し多角的な支援ができる体制を目指したい。
- ②精神障害者保健福祉手帳、障害年金の更新の依頼が頻回である。申請医療機関が医師の離職等により診断書の作成が困難となり問い合わせのケースも少なくない。特に障害年金の場合更新期間が数年の事もあり、その間の診療が無い場合医療機関でも対処に苦慮する事となる。高次脳機能障害の方にとって、各手帳や障害年金などは生活していくうえで必要不可欠なものである為、より円滑な支援ができるよう努めていきたい。

【令和3年度事業計画】

●県立総合リハビリテーションセンター

- ・研修会は、県庁、他の支援拠点病院と連携し、Web開催できるようにしたい。

●佐久総合病院

- ・基本的には前年度同様の事業を予定している。等
- ・新型コロナウイルス対策のため、Web研修会を開催する。

●健和会病院

- ・基本的には前年度同様の事業を予定している。

●桔梗ヶ原病院

- ・基本的には前年度同様の事業を予定している。

【令和3年度重点事項】

●健和会病院

- ・教習所が利用できない場合の、セニアカーを使用した運転評価。
- ・復職支援・運転再開支援マニュアルの運用
- ・集合形式ではない家族会の在り方で繋がりを継続する

●桔梗ヶ原病院

- ・引き続き運転再開に向けた取り組みに重点を置いて進めていきたい。

【その他】

なし

高次脳機能障害支援普及事業 令和2年度 実施状況(東京ブロック)

令和3年6月
東京都心身障害者福祉センター

東京都における高次脳機能障害者支援

高次脳機能障害支援普及事業

東京都心身障害者福祉センターを支援拠点機関として、以下の取組を実施

- 1 相談支援(高次脳機能障害専用電話相談)
- 2 支援ネットワーク構築
 - 2-1 二次保健医療圏の支援ネットワークづくり
 - 2-2 区市町村の相談支援体制づくり
- 3 人材育成、広報・普及啓発
- 4 社会生活評価プログラム(4か月通所)
- 5 就労準備支援プログラム(6か月通所)

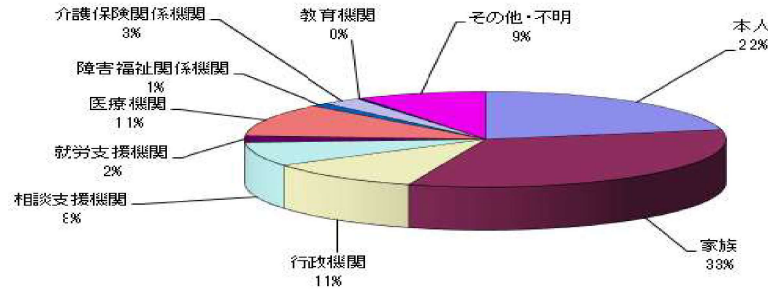
1 相談支援

□ 専用電話相談受付件数(令和2年度)

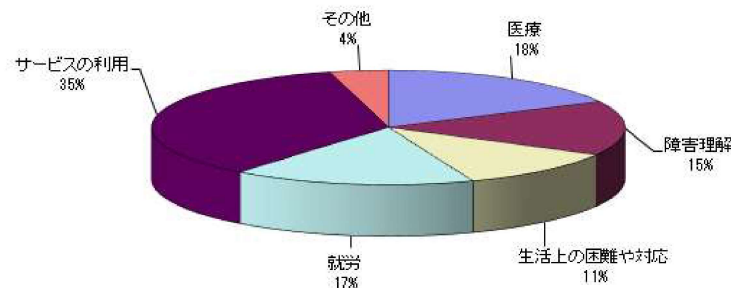
639件 (新規相談348件 継続相談291件)

□ 新規相談の状況

● 相談者



● 相談内容



2 支援ネットワーク構築

2-1 二次保健医療圏の支援ネットワークづくり

専門的リハビリテーションの充実事業

- 二次保健医療圏のリハビリテーションの中核医療機関による以下の取組を通じて切れ目のない支援体制の充実を図る。

- ・ コーディネーターの配置(理解促進、社会資源の情報共有等)
- ・ 症例検討会・圏域連絡会等による連携
- ・ 地域の専門職等を対象とした研修会

□ 実施圏域

<22・23年度> <24年度> <25年度> <26年度> <27年度>

2圏域(モデル実施) ⇒ 4圏域 ⇒ 6圏域 ⇒ 9圏域 ⇒ 12圏域(全圏域)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| ① 区中央部 (慈恵会医科大学附属病院) | ⑦ 区東部 (東京都リハビリテーション病院) |
| ② 区南部 (荏原病院) | ⑧ 西多摩 (大久野病院) |
| ③ 区西南部 (日産厚生会玉川病院) | ⑨ 南多摩 (永生病院) |
| ④ 区西部 (慶応義塾大学病院) | ⑩ 北多摩西部 (国立病院機構村山医療センター) |
| ⑤ 区西北部 (豊島病院) | ⑪ 北多摩南部 (慈恵会医科大学附属第三病院) |
| ⑥ 区東北部 (いずみ記念病院) | ⑫ 北多摩北部 (国立病院機構東京病院) |

※12圏域情報交換会を実施(年1回)

【専門的リハビリテーションの充実事業の受託医療機関が 発行している社会資源マップ】



【区南部】
荏原病院



【区西南部】
玉川病院



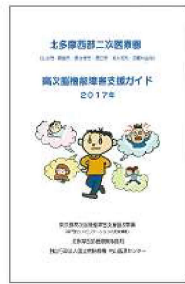
【区西部】
慶応義塾大学病院



【西多摩】
大久野病院



【南多摩】
永生病院



【北多摩西部】
村山医療センター



【北多摩南部】
東京慈恵会医科大学附属
第三病院



【北多摩北部】
東京病院

2-2 区市町村の相談支援体制づくり

区市町村高次脳機能障害者支援促進事業

- 区市町村に高次脳機能障害者支援員を配置して以下の事業を行い、高次脳機能障害者への支援の促進を図る。
 - ・ 相談支援
 - ・ 関係機関との連携
 - ・ 社会資源の把握・開拓
 - ・ 広報・普及啓発

□ 実施区市町村

<20年度><21年度><22年度><23年度><24年度><25年度><26年度><27年度><28年度><29年度><30年度><令和元年度>
7区市 ⇒ 14区市 ⇒ 20区市町 ⇒ 23区市町 ⇒ 27区市町 ⇒ 31区市町 ⇒ 32区市町 ⇒ 34区市町 ⇒ 38区市町 ⇒ 40区市町 ⇒ 41区市町 ⇒ 43区市町
<令和2年度>
⇒ 42区市町

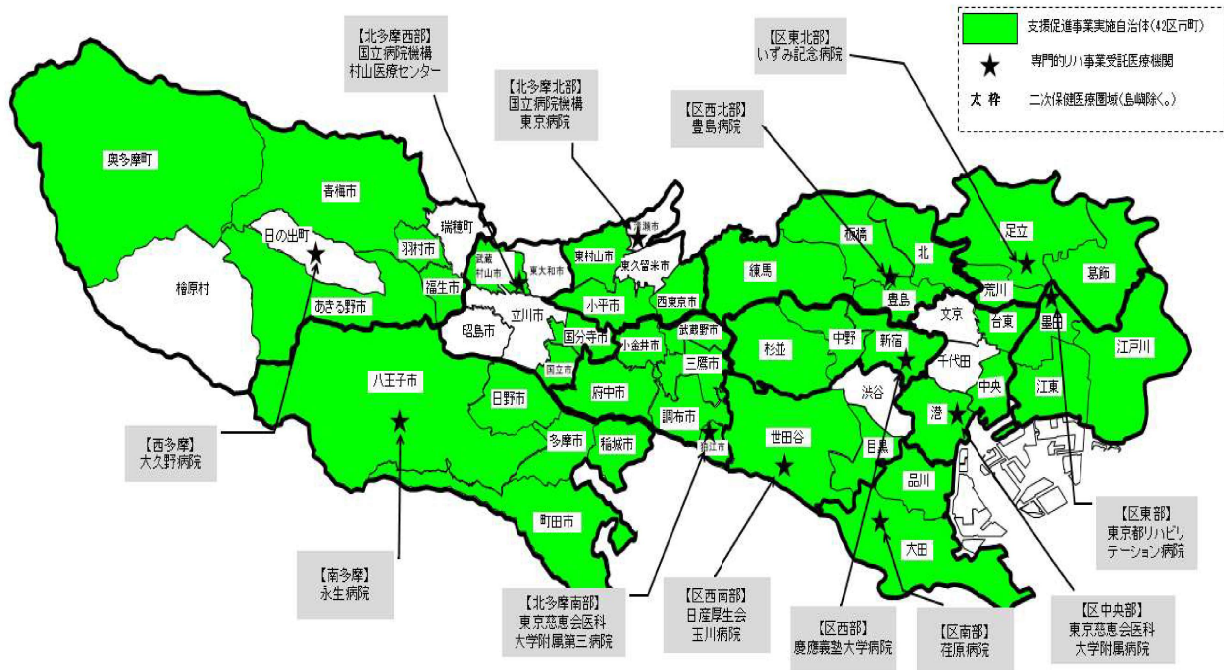
【区部】 20区

中央区、港区、新宿区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区
世田谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区
葛飾区、江戸川区

【市町村部】 22市町

八王子市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、調布市、町田市、小金井市
小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、武蔵村山市
多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、奥多摩町

★ 「専門的リハビリテーションの充実事業」に係る実施医療機関
区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況(42区市町)



3 人材育成、広報・普及啓発

□ 相談支援研修会

区市町村や相談支援機関、医療機関等の職員が対象

令和3年2月15日～2月21日 WEB配信 高次脳機能障害の基礎知識 450名

□ 小児の高次脳機能障害

小中学校、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターへパンフレット配布

□ 相談支援員連絡会

区市町村等の相談支援の実務者間で取組報告や情報交換等を実施

- ① 令和2年6月29日 支援促進事業の取組報告等(資料配布)
- ② 令和3年1月19日 区市町村間の情報交換等(WEB開催) 32区市 54名

□ 支援者向けパンフレット及びハンドブックの作成・配布

「高次脳機能障害者地域支援ハンドブック(改訂第五版)」改訂・発行

5 就労準備支援プログラム

地域の就労支援機関等からの依頼に基づき、一般就労（新規就職・復職）から福祉的就労まで、幅広い「職業生活」の実現のため、職業評価、作業課題によるトレーニング、グループワーク等を組み合わせた、6か月間のプログラムを提供

□ **新規利用者数**（※令和3年3月末現在） （単位：人）

19～27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	合計
256	31	26	18	22	0	353

□ **利用終了時の状況**（※令和3年3月末現在） （単位：人）

年度	復職・就労	職業訓練	求職活動	通所施設	在宅	その他	合計
19～27年度	49	12	23	121	29	2	236
28年度	5	1	2	17	0	4	29
29年度	9	0	0	12	0	4	25
30年度	7	0	2	13	0	1	23
元年度	5	0	1	9	0	6	21
2年度	3	1	0	3	0	3	10
合計	78	14	28	175	29	20	344

※令和2年3月2日から8月31まで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、通所プログラムを休止し、新規受け入れは休止を継続中

令和3年度 高次脳機能障害支援普及事業実施方針【支援拠点機関】

1 相談支援

- 専用電話相談等の的確な対応
 - ・地域の相談機関と連携し、支援拠点機関として相談支援の質の向上を図る。
- 家族会が実施する「医療及び家族相談会」への協力の継続
 - ・東京高次脳機能障害協議会主催の「医療及び家族相談会」に引き続き支援拠点機関として協力

2 支援ネットワーク構築

- 専門的リハビリテーションの充実事業のネットワーク構築への支援
 - ・圏域における事業運営や圏域内自治体との調整等への協力
 - ・受託医療機関相互の情報交換を支援（精神保健医療課と連携）
- 区市町村の相談支援体制整備への支援
 - ・支援促進事業実施自治体を中心に区市町村の相談支援体制整備を支援
 - ・区市町村相談支援員連絡会等を通じた情報提供等

3 人材育成・広報普及啓発

- 地域の支援機関の実践力の向上を支援
 - ・相談支援者向けに、支援拠点機関として特色ある研修を実施（開催方法の検討を含む。）
 - ・地域の支援機関等への講師派遣による技術支援
- 都民・支援機関への普及啓発と情報提供
 - ・パンフレット「高次脳機能障害の理解と支援の充実をめざして」の発行・配布
 - ・小児高次脳機能障害の普及啓発

4 高次脳機能障害者のための通所プログラム等

- 社会生活評価プログラム及び就労準備支援プログラム、職業評価（20回）の実施により、区市町村・関係機関等を支援

5 高次脳機能障害への支援に関する調査研究

- 厚生労働科学研究「高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキスト開発のための研究」への協力（令和2年度から令和4年度まで）

三重県 令和2年度実績（4月～3月）

支援拠点機関（電話）	三重県身体障害者総合福祉センター（059-231-0037）		
支援コーディネーター数	1.5人		
支援拠点機関相談数	来所 70件	訪問 119件	連絡等 57件
支援拠点機関連携数	来所 3件	訪問 37件	連絡等 202件
支援拠点機関活動実績		連絡会・圏域検討会	研修会・講習会 ほか（ケース会議、勉強会・家族交流会等）
	主催・圏域協力	2回	1回 0回
	講師等協力	0回	3回 18回
その他活動	冊子、ウェブサイト、執筆ほか	・パンフレット「高次脳機能障害の理解のために」「高次脳機能障がいとは??」「高次脳機能障害の制度活用の手引き」、・チラシ「もしかしたら高次脳機能障害かもしれません」「高次脳機能障がいで、なあに？（小児用）」・「高次脳機能障害支援経過手帳」の普及、配布	

1. 令和2年度の実績（講習会の開催等）

<会議関係>

- ・三重県高次脳機能障がい支援委員会 ①R3.3.17
- ・高次脳機能障害者支援鈴鹿亀山圏域検討会 ①R3.2.22

<主催・共催による講習会・研修会>

研修会名	開催日	場所	参加者	内容
地域支援セミナー	R2.11.8	三重県総合文化センター	65名	はしもとクリニック経堂 橋本圭司院長「高次脳機能障害との上手なつき合い方」

<講習会協力>

高次脳機能障害者（児）リハビリテーション講習会（10月）

<研修会・勉強会講師>

障害者職業センター障害者職業生活相談員資格認定講習（10月）（1月）

<関係機関への会議出席等>

- ・三重県障害者自立支援協議会、三重県障がい者就業・生活支援事業連絡協議会
- ・障害者職業センター精神発達連絡協議会、津地域自立支援協議会しごとワーキング

<定期訪問>

- ・拠点病院（松阪中央総合病院、七栗記念病院、済生会明和病院）
- ・県内全域障害者就業・生活支援センター、三重障害者職業センター
- ・障害者相談支援センター（委託、一般相談）など

＜相談支援、就労支援＞

- ・地域の相談支援機関、就労支援機関への定期訪問や事例検討会の実施、ケースカンファレンス出席など連携強化に努めた。

＜普及啓発＞

- ・圏域での研修や検討会を実施予定。
- ・パンフレット内容の見直しを行い、障害の説明等をわかりやすい表現に更新した。

2. 令和2年度の課題

- ・圏域での研修会、事例検討会は新型コロナウイルス感染症の影響で実施が出来ない圏域があった。
- ・小児の確定診断の依頼が県内医療機関からあるが、拠点病院でも検査体制が整っていない。発達障害支援機関を含めたネットワーク作りが必要である。
- ・医療機関から直接地域で一次相談を受けることが増え、支援の実態把握が困難になっている。
- ・福祉サービスにつながらない社会的行動障害者への対応、支援ネットワークが不十分である。
- ・介護保険と障害福祉分野の連携。介護保険第2号被保険者に対する就労支援への理解を深める必要がある。
- ・県内において確定診断、再評価、フォローが可能な医療機関が少ない。

3. 令和3年度以降の取組

- ・圏域での相談会や事例検討会等について、直接訪問が難しい場合はweb会議ツール等を利用し、地域の支援機関とともに課題抽出を行いながら支援力向上につながる体制を構築する。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、職場、学校環境等が変わったことによる就業就学上の相談が増えている。関係機関と連携し支援を行う。

令和2年度 高次脳機能障害事業実績（岐阜県）

【拠点】

支援拠点機関	岐阜県精神保健福祉センター	TEL：058-231-9724
支援拠点病院	社会医療法人厚生会 木沢記念病院	TEL：0574-25-2181(代)
支援コーディネーター	7名（支援拠点病院1名、各圏域に支援コーディネーター6名）	

【拠点別の相談実績】

(件数)

拠点名	電話	来所(院)	メール・書簡	出張相談	計
岐阜県精神保健福祉センター	7	7	0	0	14
木沢記念病院	77	41	19	3	140
計	84	48	19	3	154

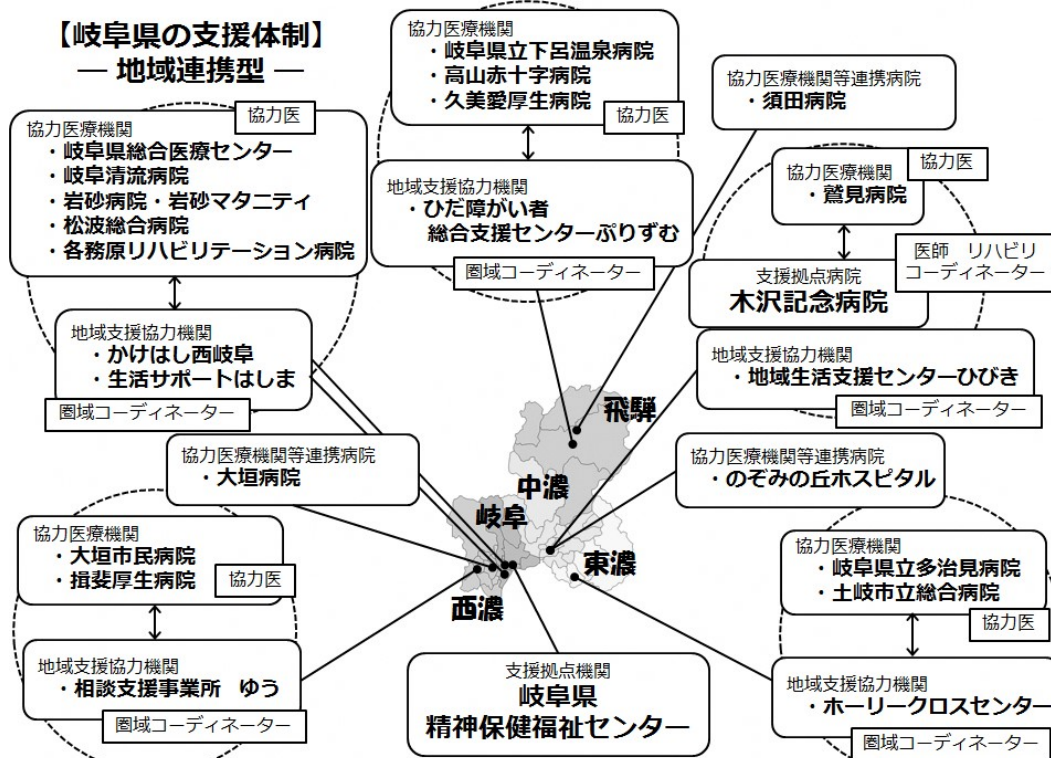
【主催・協力した会合等】

	連絡会・協議会	研修会・講習会	ケース会議	家族会・交流会
主催した会合	1回	1回	0回	0回
協力した会合	2回	0回	1回	0回

【その他活動】

精神保健福祉センターでは、リーフレット及びホームページで、事業の普及啓発を図った。

【岐阜県における支援体制】



【普及啓発】

*令和2年10月に支援コーディネーター向けの研修会を下記のとおり開催した。

一方、令和元年度まで毎年開催していた関係機関とのネットワーク会議（全体会・圏域別会議）やフォーラム（講演会）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。

研修名	主催者	開催日・場所	人数	内容・講師
高次脳機能障がい普及啓発研修会	岐阜県精神保健福祉センター	R02.10.22 岐阜県障がい者総合相談センター	44	内容：高次脳機能障害の適切な対応方法 講師：民間病院 看護認定看護師 対象者：高次脳拠点医療機関、協力医療機関、NPO 法人等に勤務する心理士、精神保健福祉士、保健師。看護師、相談員など

【圏域別の相談実績】

- ① 支援拠点病院に加え、各圏域の支援協力機関（NPO 法人等6団体）へそれぞれ相談業務を委託。また、支援拠点病院コーディネーターは、支援協力機関にも定期的に出張相談を行った。
- ② コーディネーターが互いに、学び情報共有を行うため、圏域支援コーディネーター会議を2回開催したが、新任のコーディネーターが支援方法について学んだり、元々の得意分野が違うコーディネーター同士が知識を交換したりする場として大変有効であった。

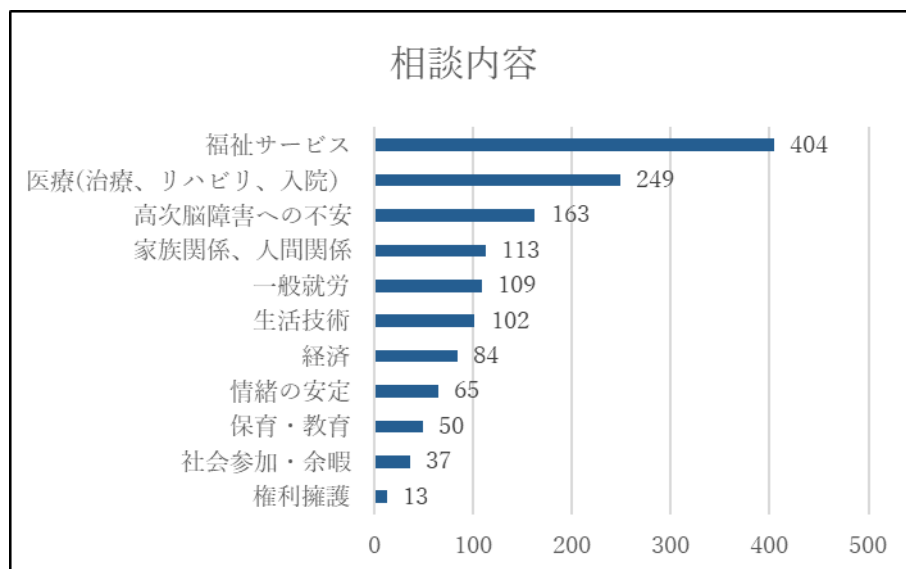
【圏域別の相談実績（R2年度）】

（単位：人、件）

圏域名		R2 新規分		延べ	
		相談者	相談件数	相談者	相談件数
①	岐阜 1	19	21	36	56
②	岐阜 2	4	8	8	129
③	西濃	4	8	8	184
④	中濃	2	3	5	30
⑤	東濃	3	4	9	200
⑥	飛騨	11	43	38	790
	合計	43	50	104	1,389

【相談内容】

- ① 相談件数は昨年度とほぼ同じ程度の件数であった。内容としては「福祉サービス」、「医療（治療、リハビリ、入院）」、「高次脳障害への不安」、「家族・人間関係」等の相談であった。



【令和3年度の実施計画】

- * 支援拠点病院、各圏域の支援協力機関（NPO 法人など）と業務委託契約を締結し、支援コーディネーターを1名ずつ設置し、県下全域で相談業務を実施する。
- * 各圏域に設置した支援コーディネーターの資質向上及び情報共有を図るため、新型コロナウイルス感染拡大防止を配慮したうえで、コーディネーター会議、研修会などを開催する。
- * 高次脳機能障害に関する支援方法や普及啓発を図るため、関係機関を構成員とした支援対策推進会議を開催する。

愛知県 令和2年度実績（4月～3月）

支援拠点機関（電話）	名古屋市総合リハビリテーションセンター（052）835－3811			
支援コーディネーター数	3名			
支援拠点機関相談数(延べ)	来所 1,137 件	訪問 34 件	連絡等	922 件
支援拠点機関連携数(延べ)	来所 257 件	訪問 140 件	連絡等	2,118 件
支援拠点機関活動実績		連絡会・協議会	研修会・講習会	ほか（ケース会議、勉強会・家族交流会等）
	主催	6 回	3 回	81 回
	講師等協力(延べ)	1 回	4 回	1 回
その他活動	リーフレット活用、ウェブサイト、ほか	・リーフレットの案内（アンケート調査、研修案内時等に同封） ・ウェブサイト（法人、県）での案内 ・普及啓発ポスター作成		

（1）令和2年度の活動実績 ◇継続 ◆＝今年度新規

①高次脳機能障害支援普及事業連携調整委員会

第1回 R2.10.28 第2回 R3.3.24 ※WEB+集合のハイブリッド開催

委員：21名一愛知県、名古屋市、支援拠点機関、当事者団体、社会復帰支援機関、学識経験者

◆ワーキンググループ(WG)活動

・委員を3WGに分け、普及啓発に関わる課題解決に向けた検討・活動をR2～開始。

1)医療機関向け冊子	…急性期病院、回復期リハビリ病院に設置し、高次脳機能障害に対する理解を促すための患者・家族向け冊子作成
2)サポートファイル	…本人が病歴・障害・基本情報を自分で管理し、支援をスムーズに受けられるようにするためのツール作成（紙媒体、アプリ等）
3)支援機関マップ	…県内の高次脳機能障害に関する支援機関等一覧を作成（医療機関、相談支援機関、等）

②東海ブロック連絡協議会 R2.12.18 ※WEB開催

③支援拠点間ネットワーク会議

支援拠点機関および県所管課との打合せを定期的実施(R2.10.20、R3.1.20、2.16)

④主催・共催による講習会・研修会

◇高次脳機能障害リハビリテーションWEB講習会※家族会共催	R3.1.25～2.7配信	418 名
基調講演：親亡き”前”から考える地域生活のススメ 講師：戸枝 陽基氏（社会福祉法人むそう理事長、日本福祉大学客員教授）		
◇基幹相談支援センター職員向け研修 ※WEB開催	R2.3.3	35 名
◇名古屋リハ自立支援部見学会 ※WEB開催	計5回実施	27 名

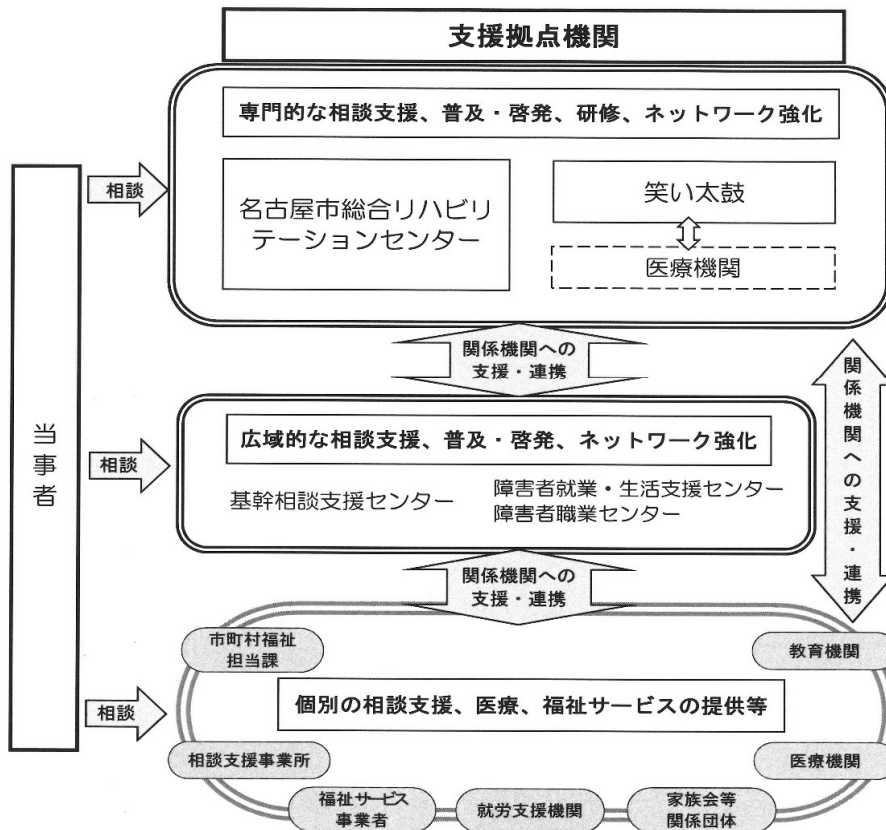
⑤外部主催研修・勉強会での講師等

◇半田市自立支援協議会研修	22 名
◇名古屋市主催障害福祉担当初任者向け研修	16 名
◇NPO法人ドリーム主催 脳卒中障害者の家族向け脳卒中講座	24 名
◇就労継続B型事業所（けやきワークス）職員研修	10 名
◇就労継続A型事業所（ベーシック）職員研修	14 名

⑥関係機関との連携

◇頭部外傷後の高次脳機能障害者の実態調査	R2.3～R2.5実施
◇研修教材用DVDレンタル	5件
◇愛知高次脳機能障害協議会への協力	家族相談会を当センターにて年4回開催
◇季刊誌笑い太鼓への寄稿・協力	年4回：R1.8～R3.5
◆厚労科研（「高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究」）への協力	R2～R3
◆障害者総合福祉推進事業「高次脳機能障害者のGH等を活用した住まいの支援の実態についての調査研究」への協力	R2
◆県庁（地下鉄駅との連絡通路）での啓発ポスター掲示	R2.4.1～4.7

愛知県における高次脳機能障害者の支援体制図(2019.4～)



(2) 今後の課題

① 広報・啓発活動の充実

・WGでの活動

R2より取り組んでいるWG活動を継続して、啓発活動の充実を図る。

- ・医療機関向け冊子を完成させ、医療機関（急性期、回復期）での配布を依頼。
- ・サポートファイルの利用マニュアルを作成し、説明会を開催する。また既成のスマホアプリのメモ機能活用についても講習会を開催し、高次脳機能障害者の活用・普及を目指す。
- ・高次脳機能障害者に対応可能な支援機関マップを作成し、ホームページ上に公開予定。

② 地域の支援力の充実

・支援（対象）の拡充

R3年7月1日より「なごや高次脳機能障害支援センター」を開設し、従来の事業の継続とともに、「高次脳機能障害者の運転再開支援」「失語症者に関する支援」「高次脳機能障害児に関する支援」について拡充する予定。

個別支援および研修等を通して、関係機関との連携をより一層深めていきたい。

支援拠点機関（電話）	高次脳機能障害愛知県東部支援センター笑い太鼓（0532-34-6098）		
支援コーディネーター数	1名		
支援拠点機関相談数（延べ）	来所 45件	訪問 519件	連絡等 1,025件
支援拠点機関連携数（延べ）	来所 25件	訪問 450件	連絡等 726件
支援拠点機関活動実績	連絡会・協議会	研修会・講習会	ほか（ケース会議、勉強会・家族交流会等）
	主催・共済・協力	3回	5回
	講師等協力	—	7回
その他活動	リーフレット活用、ウェブサイト、ほか	・広報活動・・・行政、医療、関係機関を訪問またはリーフレット・チラシを郵送 ・法人ホームページにて事業案内	

(1) 活動実績

- ①令和2年度 高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 第1回 R2.06.24、第2回 R2.02.26
・令和2年度 コーディネーター全国会議（第1回 R2.07.17、第2回 R3.02.26）
- ②愛知県高次脳機能障害支援普及事業連携調整委員会
第1回 R2.10.28 / 第2回 R3.3.24
委員 21名—愛知県、名古屋市、支援拠点機関、当事者団体、社会復帰機関、学識経験者
- ③東海ブロック連絡協議会 R2.12.18
委員 19名 オブザーバー15名（行政、医療、支援拠点機関、当事者団体、社会復帰機関、学識経験者）
- ④支援拠点間ネットワーク会議
支援拠点間および県所管課との打ち合わせ R2.10.27、R3.1.20、R3.2.16
- ⑤主催・共済・協力による講習会・研修会 ※（ ）内参加者数
◇高次脳機能障害リハビリテーションWeb講習会 ～支えあれば憂いなし～配信期間 R3.1.25～2.7
◇基幹等相談支援センター向け研修 R3.3.3（WEB研修にて開催）
- ⑥外部主催研修・勉強会での講師、アドバイザー等 ※（ ）内研修参加者数
◇第68回日本医療社会福祉協議会全国大会 R2.6.5～6（中止）
◇愛知高次脳機能障害協議会主催 家族相談員研修 R2.7.1（12名）
◇豊田市 高次脳機能障害のある人の家族の教室 R2.8.16（8名）R2.11.25（8名）R3.2.24（中止）
◇岡崎市社会福祉協議会 居宅介護支援事業者部会 R2.7.16（51名）
◇清須市 高次脳機能障害の会きよす主催 ～心悩みわかち合い～
R2.7.15（7名） R2.9.16（7名） R2.11.18（8名） R2.12.18（5名） R3.1.20（中止）
R3.2.17（中止） R3.3.17（8名）
◇幸田町主催 若年性認知症の方・高次脳機能障害の方とその家族の集い
R2.06.06（9名）R2.7.4（7名）R2.9.5（6名）R2.10.3（4名）R2.11.7（6名）R3.1.9（8名）
R3.3.6（中止）
◇名古屋市東区相談部会 R2.6.10（10名） R2.8.11（10名） R2.12.9（5名）
◇岡崎市 友愛の家 講座『高次脳機能障害とコミュニケーション』R2.11.29（6名）
◇尾張旭市 特定事業所加算算定事業所合同研修会 R2.10.21（27名）
◇刈谷市の就労移行事業所にて高次脳機能障害についての勉強会 R3.2.19（予定）
- ⑦連携
◇名古屋市総合リハビリテーションセンター、医療機関、障害福祉サービス事業所、基幹相談支援セン

ター、相談支援事業所、行政、社協、教育機関（特別支援学校、大学）、企業など、相談内容に応じて適宜連携を取り支援にあたった。

(2) 令和2年度の取り組みと今後の方向性

令和2年度はCOVID-19感染症対策により、他機関においても当機関、法人においても研修会、相談会の中止が相次ぎ、広報啓発の機会が減少したり、面談の制約があったりと、活動しづらい年となったが、前年度、主に三河地域の行政、及び急性期、回復期病院、基幹相談支援センター、就業・生活支援センターなどを訪問した結果、相談件数が増加し、現在も増え続けている。

個別の支援を通じてお住まいの地域の医療機関、事業所と高次脳機能障害の支援の広がりを作っていくために、以下の取り組みを今後も継続して行っていく。

① 愛知県高次脳機能障害連携調整委員会ワーキンググループの取り組みと成果物の活用

医療スタッフが入院中や退院する患者・家族に高次脳機能障害について説明する際に活用していただくための冊子を、愛知県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会の委員によるワーキンググループを結成して作成中。協力医療機関による試行の後、意見集約、修正を加え、完成を目指す予定。

② 関係機関との連携強化を図る

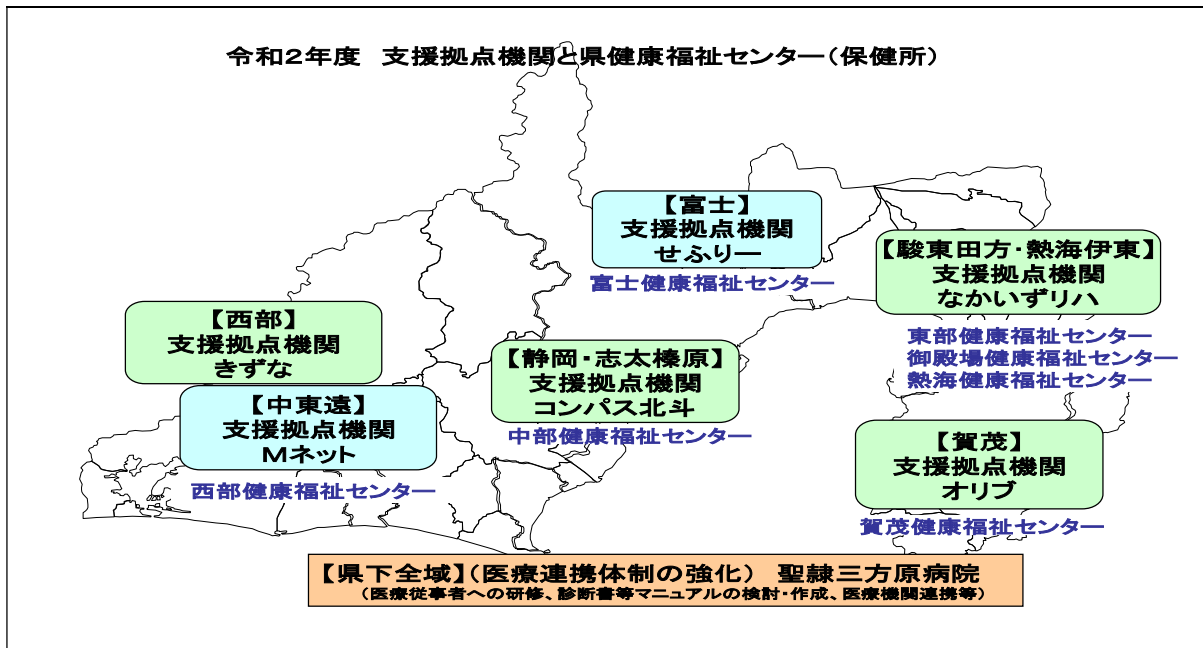
困難事例の対応を地域の関係機関と一緒に考える機会が多くなっている。個別の相談からケース会議や事例検討を提案し、それぞれの事業所における高次脳機能障害支援を図っていく。

③ 高次脳機能障害による手帳、年金の取得に結び付いていない方のために、当事者の居住地近くの医療機関に対する働きかけを継続する。

④ 新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年につき、医療と福祉の症例検討が開催できなかったが、幸い、今年度は病院からの相談ケースが増えており、②、③の動きを広げるきっかけになっている。今後も、新型コロナウイルス感染症のための活動制限がある中で、新しい動き方や取り組み方が必要と思われるが、どのような取り組みが有効で可能か、検討していく。

以上

【静岡県】 令和2年度実績



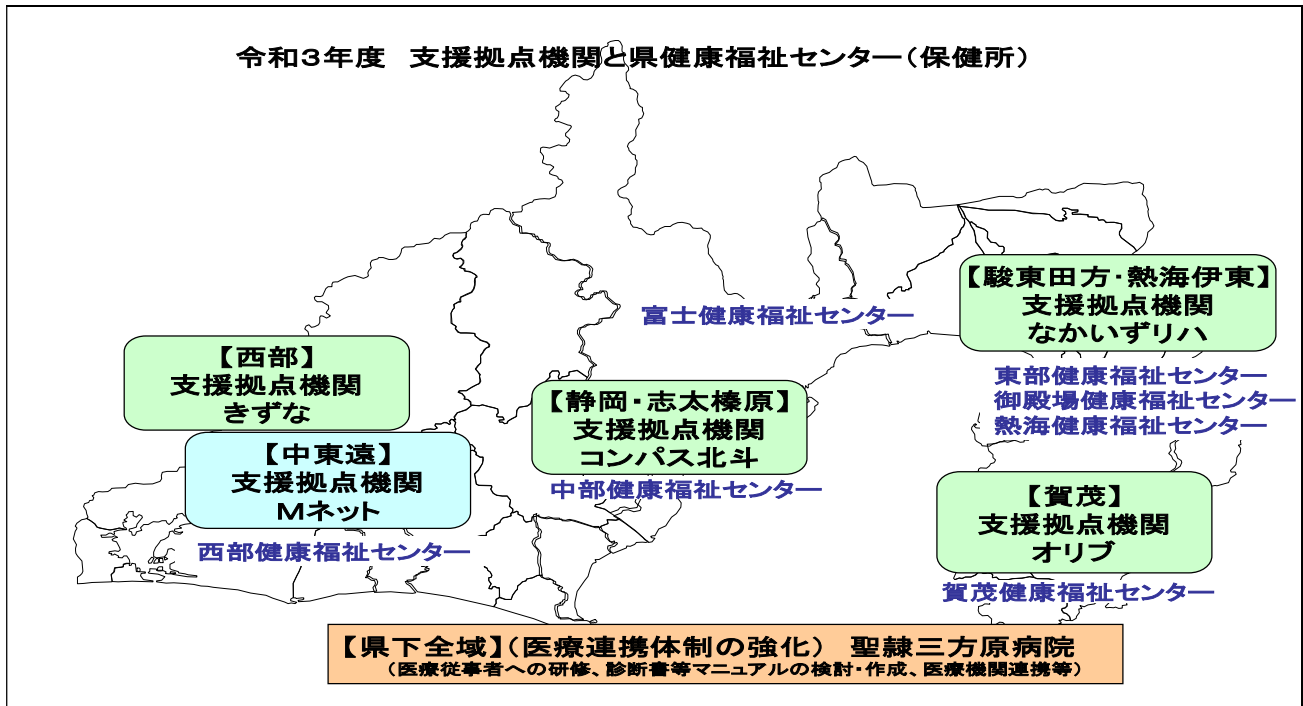
支援コーディネーター数	9名			
支援拠点機関相談数	来所 104件	訪問 339件	連絡等 583件	
支援拠点機関連携数	来所 14件	訪問 92件	連絡等 589件	
支援拠点機関活動実績	連絡会・協議会	研修会・講習会	ほか(ケース会議、勉強会・家族交流会等)	
	主催	3回	2回	24回
	講師等協力	35回	7回	17回
その他活動	冊子、ウェブサイト	・ポスター、リーフレットの配布 ・県・健康福祉センターホームページにて医療相談会等広報		

その他、医療機関対象の研修等を聖隷三方原病院に委託(医療体制連携強化事業)

<連絡協議会>

- ・高次脳機能障害地域基盤整備事業検討専門家会議
 - ①令和2年6月15日(月) ②令和3年3月17日(水)(オンライン)
- <医療等総合相談>
- ・県健康福祉センター(保健所)において、15回実施、延べ34名参加
- <支援従事者研修>
- ・県健康福祉センター(保健所)による支援従事者研修(対象:医療従事者、福祉関係者等)4回実施、206名参加
- ・支援コーディネーター等連絡会(情報共有等)3回(出席者延べ42名)(対象:支援拠点機関支援コーディネーター、県健康福祉センター、政令市担当職員)
- ・支援コーディネーター研修
事例検討を上記支援コーディネーター連絡会に併せて実施。その他、外来等の見学や、相談会、各種研修会への参加(対象:支援拠点機関支援コーディネーター)
- <令和2年度特に力を入れたこと>
- ・新型コロナウイルス感染症拡大に影響で、集合形式のケース検討会や、連絡会、研修ができなかったり、相談会を見合わせた。オンライン研修を実施することで、同一職場から複数の参加が可能で、研修によっては、参加者数が増えた研修もあった。また令和2年度当初は訪問や面談が制限されたが地域の状況により徐々に訪問等対応可能となった。そのため支援拠点相談件数訪問、電話相談とも昨年より増加した。

【静岡県】 令和3年度実施計画



【今後の課題】

1 支援体制の充実

本県は、圏域ごとに支援拠点機関と、それぞれに相談支援コーディネーターを配置し、身近な機関で相談支援が受けられるよう体制を整備している。

本県の場合、支援拠点機関は相談支援事業所であるため、医療面の相談対応が困難なことから、平成30年度から圏域ごとに協力医療機関を設け、体制を整備し、今まで未設置であった圏域においても協力医療機関設置の調整がついた。しかし1圏域で支援拠点機関、協力医療機関が令和2年度末で実施が難しくなり、新たに支援拠点機関等調整していく。

2 県内の医療の均てん化

県健康福祉センター（保健所）が実施している医療等総合相談では、受傷・発症から相談までの期間が「3年以上」と回答する相談者が多い現状にある。高次脳機能障害について診断、治療等を行う医療機関は増えつつあるものの、的確な診断、治療、評価、リハビリテーション、障害認定が可能な医療機関が各圏域にあるとは言えない現状にある。このため、県内の高次脳機能障害の医療の均てん化を図るため、令和3年度も引き続き、聖隷三方原病院に「高次脳機能障害医療体制連携強化事業」を委託し、医療機関体制の強化・充実を図っていく。

3 新型コロナウイルス感染症への対応を考慮した研修や啓発方法の工夫

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、支援拠点での相談支援では活動が制限されたり、会議や研修においては集合形式だけでなく、オンラインで対応した。

令和3年度も状況に応じて、オンライン等による研修や啓発等実施方法を検討していく。

高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業 令和2年度 北陸ブロック報告書

北陸ブロックでは、富山県、石川県、福井県の3県に設置された地方支援拠点機関および地方自治体との北陸ブロック連絡協議会を開催し、各県の高次脳機能障害支援普及事業の円滑なる実施を図った。

A. 北陸ブロック連絡協議会の目的

北陸3県における高次脳機能障害者への専門的な相談支援のあり方、関係機関との連携のあり方などの支援ネットワークの構築を議論するとともにそれらの実行にあたっての円滑な運用を行うことを目的に活動を行う。

B. 北陸ブロックの活動内容

1. 令和2年度北陸ブロック連絡協議会の開催

日程：令和2年11月29日（日）9：30～12：00 場所：オンライン会議（富山県主催）

出席者：各県行政機関3名、各県支援センター16名 計19名

内容：1) 令和2年度第1回全国連絡協議会の報告

（COVID-19感染拡大のため中止となった令和元年度第2回全国連絡協議会での内容）

2) 各県の活動報告と今後の課題

北陸ブロックの令和元年度の事業報告と令和2年度の活動計画、予定について意見交換を行った。

① 昨年度ブロック会議にて定めた3県共通項目に沿って今年度前期実績報告を行った。

② COVID-19感染拡大による事業計画への影響と今年度の事業や相談業務における対応について意見交換した。

③ 各県の県内医療機関との連携、県内の支援ネットワーク体制構築について議論された。

2. 令和2年度高次脳機能障害者支援事業の実績

別表

C. 各県における活動のまとめ

令和2年度の各県活動の特徴と課題について考察する。

1. 富山県

1) 平成25年度より運営している当事者・家族へのピアサポート事業の継続とピアサポート体制の強化のため、ピアサポートについて学び、意識づけを目的とした講演会を開催した。また、県内の精神障害領域のピアサポーター養成研修の企画運営にも参加した。それと並行して、昨年度より始まった「自賠責運用益拠出事業 高次脳機能障害のピアサポート活動支援に関する研究」へ協力機関として参加し、多角的にピアサポート体制の強化に取り組んだ。

2) 県内医療機関の高次脳機能障害者支援の現状を把握し、医療機関との連携体制を充実させるため、県内の急性期・回復期医療機関を対象とした実態調査を実施した。県内圏域ごとに診断・評価やリハビリ、各種制度利用が可能な医療機関に偏りがあることがわかった。また、診断・評価やその後の具体的な支援の方法に迷いがある等の意見もいただき、今後の課題とした。

2. 石川県

1) 石川県では、高次脳機能障害者に対する早期からの適切で切れ目のない支援体制づくりを目指し、平成29年度より、実態調査や医療機関との情報交換会を行い、医療機関での対応実態を踏まえた連携体制づくりやセンター事業のあり方の検討を行っている。

令和2年度はそのまとめとして支援関係者連絡会を開催し、情報交換会で見えてきた課題を医療機関と共有するとともに、支援事例を通して対応策やセンター事業のあり方の検討を行った。その結果、地域での課題や各医療機関での支援方法、当センターの役割などが共有され関係機関の連携強化につながった。

2) 支援者向けの研修会では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点よりオンライン形式で実施した。その結果、これまで会場から遠く参加率が低かった地域からの参加者が増え、県内全域の知識の普及につながったと考えられる。

3) 出前講座は令和元年度より一般県民（自治会や地域の団体）などへの普及啓発を目的に実施している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり申し込みは減少したが当センター見学者に対してミニ講座を実施するなど機会をとらえて積極的に行った。

3. 福井県

今年度は1)～2)について重点的に検討を進めた。

1) 支援の均霑化（支援ネットワーク体制構築）

「高次脳機能障害者支援における多職種連携コンサルテーション・事例検討会に関する研究（H28～H30年度）」、医療・地域実態調査を経て、支援の均霑化には「支援・リハに必要な情報への気づきを促す」「多職種同士の繋ぎ合わせをイメージしてもらう」ための多職種事例検

討会の実施が有用であると結論付けた。そして、R元年度～多職種事例検討会を開始し、R2年度もコロナ禍においてオンラインにて多職種事例検討会を実施した。今後も多職種事例検討会をもとに支援の均霑化を図る。

2) 質の向上

「支援」の質の向上は、多職種事例検討会をもとに支援ネットワーク体制構築を図った。

「学術性」の質の向上は、福井神経心理臨床研究会を立ち上げ、運用し、県内の高次脳機能障害や神経心理学に対する学術性・専門性の向上を図った。

2. 令和2年度高次脳機能障害者支援事業の実績

県名	富山県	石川県	福井県
支援拠点 機関名	富山県高次脳機能障害支援センター（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター内） Tel076-438-2233 平成19年1月15日開設	石川県高次脳機能障害相談・支援センター（石川県リハビリテーションセンター内） Tel076-266-2188 平成19年4月15日開設	福井県高次脳機能障害支援センター（福井総合クリニック内） Tel0776-21-1300 平成20年5月15日開設
支援コーディネーター（職種）	医師、社会福祉士、公認心理師、作業療法士、言語聴覚士	医師、保健師、心理相談員、作業療法士、理学療法士、ケースワーカー	作業療法士、公認心理師
当事者・家族からの直接相談（延べ件数）	電話：671件 来院／来所：492件 メール・書簡：45件 その他（訪問・出張・同行等）：28件 合計1236件	電話：309件 来院／来所：147件 メール・書簡：74件 その他（訪問・出張・同行等）：61件 合計591件	電話：615件 来院／来所：761件 メール・書簡：95件 その他（訪問・出張・同行等）：67件 合計1538件
機関・施設等からの間接相談（延べ件数）	電話：374件 来院／来所：106件 メール・書簡：38件 支援パス：22件 その他（訪問・出張・同行等）：20件 合計560件	電話：361件 来院／来所：13件 メール・書簡：31件 その他（訪問・出張・同行等）：29件 合計434件	電話：1196件 来院／来所：144件 メール・書簡：178件 その他（訪問・出張・同行等）：13件 合計1531件
主催した 会合	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（3回） 対象者：家族・当事者 参加人数：延べ50名 ・こどもの家族グループ（1回） 対象者：小児の家族 参加人数：延べ3名 ・ぴあカウンセリング（3回） 対象者：当事者・家族 参加人数：延べ5名 ・ほのぼのぴあサロン（6回） 対象者：家族 参加人数：延べ6名 ・支援計画策定会議（ケース会議45回／週1回） 対象者：支援センター構成員 参加人数：実15名 ・小児の支援計画策定会議（ケース会議8回／月1回） 対象者：支援センター構成員 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者・家族向け講座（4回） 対象者：当事者、家族、支援関係者 参加人数：延べ31名 ・生活支援教室（週1回延べ38回） 対象者：当事者 参加人数：延べ104名（実7名） ・就労者のつどい（2回） 対象者：就労中の当事者 参加人数：延べ10名 ・支援担当者研修会（4回） 対象者：支援関係者 参加人数：92名 ・出前講座（8回） 対象者：一般、支援者等 参加人数：延べ111名 ・ケース会議（19回） 対象者：医療・福祉等の支援関係者、センター職員 参加人数：延べ185名 <p style="text-align: center;">148</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害教室（5回） 対象者：一般の方・家族・当事者向け *新型コロナウイルス感染対策のため中止 ・高次脳機能障害勉強会（18回） 対象者：新田塚医療福祉センター職員 参加人数：延べ294名 * Zoom オンライン開催 ・高次脳機能障害支援センター運営会議（12回） 対象者：運営委員 参加人数：延べ91名 * 新型コロナウイルス感染状況に応じて集合・メール回覧・オンライン Zoom にて開催 ・ケース会議（49回） 対象者：医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等 参加人数：延べ287名 ・高次脳機能障害セミナー（1回） 対象者：関係者

	<p>参加者人数：実 9 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山高次脳機能障害リハビリテーション講習会 対象者：一般、参加人数：66 名 ・高次脳機能障害者就労・生活支援ネットワーク会議 対象者：就労・生活・福祉・教育・関係機関、行政機関、センター職員、助言者 参加者人数：41 名 ・北陸ブロック連絡協議会（年 1 回） 対象者：北陸三県高次脳機能障害支援事業関係者職員、行政担当者、助言者 参加人数：19 名 ・運営会議 参加者：運営委員 21 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援担当者連絡会(1 回) 対象者：医療機関 参加人数：31 名 ・専門職研修会(1 回) 対象者：リハビリテーション専門職 参加人数：39 名 ・石川県地域リハビリテーション推進検討会議（1 回） 対象者：学識経験者、職能団体、当事者団体、就労支援機関、教育機関、市町 参加人数：28 名 	<p>参加人数：81 名 * Zoom オンライン開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害に対する多職種事例検討会（1 圏域で開催） 対象者：関係者 参加人数：延べ 22 名 * Zoom オンライン開催
<p>協力・出席した会合</p>	<p><u>講師協力した会合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020 第 7 回ハイリハキッズ キッズネットワーク（オンライン参加） ・福井県脳外傷友の会「福笑井」ピア・サポート研修会「安心して語れる場を創る；ピア・サポートの基盤的役割」 「物語の語り手としてのピア・サポーター：「一人称の語り」がもつ意味」 「社会の中の高次脳機能障害：はたらくことを中心に」 ・北海道高次脳機能障害リハビリテーション講習会 「あなただけの物語がある：生きづらさと希望の会話からみえるヒント」 ・第 2 回ピア・サポート研修会 「支援と物語の社会学：経験の多様性を「物語」の観点からみる」 ・長崎県高次脳機能障害研究会 「高次脳機能障害研修会」 高次脳機能障害当事者の社会生活支援と家族支援—当事者の思い・家族の思いを伝えあい・理解しあうことで互いが支えあう関係づくりを支援す 	<p><u>講師協力した会合</u></p> <p><u>その他研修</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度北陸ブロック連絡協議会 ・高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会、支援コーディネーター全国会議 <p><u>ケース会議への協力</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加件数 13 回 	<p><u>講師協力した会合</u> ふくい総合法律事務所勉強会「高次脳機能障害」 「高次脳機能障害者に対する支援の実際」</p> <p><u>その他研修・会合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会 ・高次脳機能障害支援普及事業支援コーディネーター全国会議 ・令和 2 年度北陸ブロック連絡調整会議 ・令和 2 年度福井障害者就業・生活支援センター関係機関連絡調整会議 ・令和 2 年度嶺南障害者就業・生活支援センター関係機関連絡調整会議 ・令和 2 年度福井市障害者地域自立支援協議会就労支援部会 <p><u>ケース会議への協力</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部からの依頼にて 46 回参加

	<p>るためにー</p> <p><u>その他研修</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山圏域就労支援ネットワーク会議(オンライン参加) ・高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会、支援コーディネーター全国会議(オンライン参加) <p><u>ケース会議への協力</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加件数 31 回 		
広報・啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県高次脳機能障害支援センターパンフレット、リーフレット、漫画冊子、ガイドブックの配布 ・ホームページの掲載 ・その他機関からの掲載等の依頼に協力 ・書籍の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ掲載 ・リーフレットの作成・配布 ・センターニュース発行 ・書籍・DVDの貸出 ・神経心理検査用具レンタル 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害チェックリストの配布、使用 ・パンフレット、リーフレット更新作業(第6版) ・ホームページ随時更新 ・神経心理検査用具レンタル ・書籍・DVDレンタル
調査・情報収集活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害への対応の現状と今後の連携に関するアンケート調査(病院) ・就労・生活場面でのコロナ禍の影響に関する調査 ・高次脳機能障害者の自動車運転に関する研究の継続 ・PCRSによる病識評価の継続 ・自賠責運用益拠出事業(令和2~4年度)「高次脳機能障害のピアサポート活動支援に関する研究」(協力) 		<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害患者数調査
診断評価・リハビリテーション等	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県リハビリテーション病院・こども支援センターにて診断評価実施 ・働くためのグループ訓練(心理療法、月3回) 実6名 ・生き生き生活グループ訓練(作業療法、隔週1回) 実3名 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車運転能力評価を石川県リハビリテーションセンターにて実施 11件 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井総合病院及び福井総合クリニックにて、他の医療機関と連携して実施 ・集団リハビリテーション(水:13時~16時半) * コロナウイルス感染対策のため中止
その他の支援活動		<ul style="list-style-type: none"> ・家族会活動支援(定例会、講習会開催に係る協力、普及啓発等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県高次脳機能障害者の会「福笑井」(福井県高次脳機能障害者と家族の会)運営協力 * コロナウイルス感染状況に合わせて、当事者・家族が中心となり不定期開催 ・キッズ・ヤンググループ

			<p>児…グループ活動、保護者…情報交換会 夏休み（7月）・冬休み（12月）実施 *コロナウイルス感染対策のため中止</p>
<p>その他 （学会発表等）</p>		<p>【学会発表】</p>	<p>【論文・書籍】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Case Study on Focal Retrograde Amnesia due to Limbic Encephalitis. World Journal of Neuroscience10(2),p91-100,2020 ・ 高次脳機能障害における支援の均霑化(きんてんか)を目指して 第2報 - 医療から地域にかけた支援実態把握と支援ネットワーク構築-. 福井医療科学雑誌 17,p24-34,2020 <p>【学会発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第21回日本言語聴覚学会 「左右それぞれの手での書字中の前頭葉活動-fNIRS研究-」 ・ 「パーキンソン病の進行度と統語処理機能の関係-事象関連電位を用いた検討-」 ・ 第13回新田塚医療福祉センター リハ・ケア研究会 「距離感がわからない」不全型 Balint-Holmes 症候群 症例の生活改善要因について」 ・ 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会 「高次脳機能障害者に対する日本語版 SRSI (Self-Regulation Skills Interview) の実践活用」 <p>令和2年度新田塚医療福祉センター センターフォーラム 「福井県における高次脳機能障害支援普及事業の成果」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第44回日本高次脳機能障害学会学術総会 「検査場面と生活場面で乖離が見られた不全型 Balint-Holmes 症候群例の改善要因について」 ・ 第13回新田塚医療福祉センター リハ・ケア研究会 「視覚性ワーキングメモリの

【北陸ブロック】

			負荷量に依拠した左半側空間 無視症例～背側注意ネットワ ークに焦点を当てた病態分析 ～」
--	--	--	---

高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業
令和3年度 北陸ブロック各県の活動予定と概要

1. 富山県

今年度の重点的な取り組みは以下の通りである。

①ピアサポート事業の継続と体制の強化

・今年度より障害福祉サービス等報酬の加算要件となった県委託事業「障害者ピアサポート研修」へ当事者の参加を促し、高次脳機能障害領域のピアサポーターやファシリテーターの意識、啓発を図る。

・昨年度に引き続き「自賠責運用益拠出事業 高次脳機能障害のピアサポート活動支援に関する研究」に参加し、ピアサポート体制の強化に向けて多角的に取り組む。

②医療機関と連携体制の充実

・昨年度の県内医療機関の実態調査より県内圏域ごとに実施可能な神経心理学検査の種類に偏りがあることがわかった。どの圏域の高次脳機能障害者も診断に必要な神経心理学検査を受けられるように、神経心理学検査についての専門研修会を開催する。また、診断・評価やその後の具体的な支援の方法に迷いがある等の意見があり、Webの活用も含めて、事例検討会の開催を検討する。

③障害福祉分野との連携体制の充実と強化

・県内の相談支援事業所（相談支援専門員）との連携体制の充実のため、実態調査を実施する。

④小児の高次脳機能障害支援における連携作り

・小児の高次脳機能障害支援をより充実させるために急性期医療機関との情報交換会を行い、早期発見・支援につなげるための連携体制作りを行う。また、隣接する特別支援学校と連携し、復学支援の体制を構築する。

※新型コロナウイルス感染予防のため、感染予防の徹底、Web開催も引き続き、取り入れる。

2. 石川県

①高次脳機能障害者に対する早期からの適切で切れ目のない支援体制づくりを課題とし、平成29年度から医療機関との情報交換会を行ってきた。今年度は対象を介護支援専門員や相談支援専門員など地域の支援者とし、地域の実態を踏まえた連携体制づくりやセンター事業のあり方、支援方法の検討を行う。

②基本的知識の習得及び実践力向上を目的とした研修会を継続開催する。今年度も参加者の利便性の向上や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためオンラインでの開催とする。

③事業全般を通して、高次脳機能障害の普及啓発の必要性が課題としてあげられる。そのため、昨年度に引き続き出前講座の開催や、当センター見学者へミニ講座を開催するなど積極的に高次脳機能障害について理解を深める機会を設ける。

3. 福井県

福井県では以下1)～3)について今年度重点的に取り組んでいく。

1) 支援の均等化に向けて（支援ネットワーク体制構築）

引き続き「多職種事例検討会」を各圏域で開催する。その中では、「支援・リハに必要な情報への気づき」や「医療→地域、地域間で多職種が繋がっていくイメージ」の促通を図る。

2) 質の向上

「支援」の質の向上は、多職種事例検討会をもとに支援ネットワーク体制構築を図る。

「学術性」の質の向上は、福井神経心理臨床研究会を定着させ、県内の高次脳機能障害や神経心理学に対する学術性・専門性の向上を図る。

3) コロナ禍における休止中の事業再開に向けて

集団リハビリ、キッズ・ヤンググループ活動など休止中の事業について、コロナウイルス感染状況に合わせ、感染対策を講じた方法での再開に向けて検討を進める。

*会議・研修事業は全てオンラインにて開催する。

県名	富山県	石川県	福井県
支援拠点 機関名	富山県高次脳機能障害支援センター (富山県リハビリテーション病院・こども支援センター内) TEL076-438-2233 平成19年1月15日開設	石川県高次脳機能障害相談・支援センター (石川県リハビリテーションセンター内) TEL076-266-2188 平成19年4月15日開設	福井県高次脳機能障害支援センター (福井総合クリニック内) TEL0776-21-1300 平成20年5月15日開設
支援コーディネーター(職種)	医師(リハ科・脳外科・小児科)、社会福祉士、公認心理師、作業療法士、言語聴覚士、生活支援員	医師、保健師、心理相談員、作業療法士、理学療法士、ケアワーカー	作業療法士、公認心理師

【北陸ブロック】

<p>主催会合 予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（年 6 回） ・子ども家族グループ（年 2 回） ・キッズプログラム(年 2 回) ・ピアカウンセリング（月 1 回） ・ほのぼのびあサロン（月 1 回） ・支援計画策定会議（週 1 回） ・小児支援計画策定会議（月 1 回） ・高次脳機能障害支援センター運営会議（年 1 回） ・高次脳機能障害就労・生活支援ネットワーク会議（年 2 回） ・相談支援体制連携調整会議（年 1 回） ・高次脳機能障害リハビリテーション講習会（年 1 回） ・専門研修会（年 2 回） ・令和 3 年度北陸ブロック連絡協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室（年 4 回） ・生活支援教室（週 1 回） ・就労者のつどい（年 2 回） ・専門職研修（年 4 回） ・支援計画会議（月 2 回） ・支援関係者連絡会（年 3 回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県高次脳機能障害セミナー（年 1 回） ・高次脳機能障害教室（一般の方向け） ・高次脳機能障害勉強会（2 週 1 回） ・多職種事例検討会（年 2 回） ・福井神経心理臨床研究会（年 3 回） ・高次脳機能障害支援センター運営会議（3 ヶ月に 1 回） ・相談支援体制連携調整会議（年 1 回） ・小児高次脳機能障害支援プロジェクトミーティング（年 1 回）
--------------------	---	--	---

<p>協力・ 出席会合 予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会、高次脳機能障害支援普及事業支援コーディネーター全国会議 ・高次脳機能障害支援事業関係職員研修会 ・日本脳外傷友の会全国大会、高次脳機能障害支援コーディネーター研修会 ・令和 3 年度北陸ブロック連絡調整会議 ・キッズネットワーク宿泊イベント開催協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会、支援コーディネーター全国会議 ・令和 3 年度「障害者相談支援従事者研修（現任研修）」 ・令和 3 年度北陸ブロック連絡協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・高次脳機能障害支援普及事業支援普及全国連絡協議会、高次脳機能障害支援普及事業支援コーディネーター全国会議 ・日本高次脳機能障害友の会全国大会、高次脳機能障害支援コーディネーター研修会 ・令和 3 年度北陸ブロック連絡調整会議 ・令和 3 年度福井障害者就業・生活支援センター関係機関連絡調整会議 ・令和 3 年度嶺南障害者就業・生活支援センター関係機関連絡調整会議 ・令和 3 年度福井市障害者地域自立支援協議会就労支援部会
----------------------------	--	---	---

<p>北陸ブロック連絡協議会</p>	<p>県担当者、支援センター出席予定</p>	<p>県担当者、支援センター出席予定</p>	<p>県担当者、支援センター出席予定</p>
--------------------	------------------------	------------------------	------------------------

<p>広報・ 啓発活動 予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット、パンフレット、ポスター、ガイドブック等の作成、改訂、配布等 ・書籍、DVD の貸出等 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 ・ホームページ掲載 ・リーフレット配布 ・センターニュース発行 ・書籍・DVD 貸出 ・認知機能検査用具貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新 ・パンフレット（第 6 版）リニューアル ・高次脳機能障害チェックリスト配布、使用 ・神経心理検査用具レンタル ・書籍・DVD レンタル ・支援センターニュース発行(不定期)
----------------------------	---	--	--

<p>調査・ 情報収集 活動予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車運転能力評価に関する研究の継続 ・高次脳機能障害者の自己認識(PCRS)に関する研究の継続 ・自賠償運用益拋出事業(令和 2～4 年度事業)「高次脳機能障害者のピアサポート活動支援に関する研究」 		<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害患者数調査
------------------------------	---	--	---

【北陸ブロック】

<p>診断・評価・リハビリテーション、その他の支援活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県リハビリテーション病院こども支援センターにて診断評価、外来リハビリ実施 ・いきいきグループ訓練(作業療法 月2回)、働くためのグループ訓練(心理療法 月3回) ・生活版ジョブコーチ事業の継続 ・PCRS、生活健忘チェックリストによる病識評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議 ・家族会支援 ・自動車運転能力評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井総合病院及び福井総合クリニックでの評価・リハビリテーション －医療リハ…各症状に応じた評価のパッケージ化 －生活リハ…生活リハアプリ、気づきに合わせた生活指導プロトコル作成・運用 －集団リハ…週1回半日実施(一部集団コミュニケーション療法) *コロナ禍における再開方法検討 －職業リハ…MWSを活用した職業評価、職業リハの標準化 －自動車運転…県内の自動車運転対応の均霑化 ・支援の均霑化(各地域単位で支援できる体制作り) －多職種事例検討会の実施(2圏域) ・キッズ情報交換会の開催(夏・冬休み) *コロナ禍における再開方法検討 ・福井県高次脳機能障害友の会「福笑井」運営協力(新規会員獲得に向けて)
<p>今年度の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高次脳ピアサポーター養成のシステムがない －障害者ピアサポート研修の運営企画へ参加、高次脳ファシリテーターの育成 2. 県内圏域ごとに診断・評価、その他支援が可能な医療機関数に偏りが大きい、協力医療機関がない －診断・評価が可能な医療機関の少なさ －圏域ごとに協力医療機関の模索 3. 小児の高次脳機能障害支援の周知度の低さ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域支援の実態を踏まえたセンター事業のあり方の検討 2. 研修体制を見直し、身近な支援者の育成や実践力の向上を図る 3. 一般県民への普及啓発活動 	<ol style="list-style-type: none"> 1. コロナ禍のため集団活動が困難 －集団リハ、キッズ・ヤンググループ、友の会活動(ピアサポート) 2. 県内支援体制見直し・強化 －退院後、医療的なフォローアップがないままの方がいる 3. 協力医療機関が少ない －診断・評価・外来リハビリの実施、またそれらにもとづき各種診断書を記載できる医療機関が少ない －中核医療機関への負担が大きい 4. 自動車運転再開について －判断に難渋している医療機関が多い 5. 家族会の新規会員加入が少ない －就労年齢、就学年齢の方 －社会的行動障害が強い当事者家族の方

<p>今年度の 取り組み 方針</p>	<p>1. ピアサポート事業の強化（継続） - 障害者ピアサポーター養成研修へ参画 - 高次脳機能障害領域のピアサポート活動支援に関する研究の参加（2年目）</p> <p>2. 医療機関と連携体制の充実（継続） - 神経心理学検査講習会の企画 - 事例検討会の開催</p> <p>3. 障害福祉分野との連携体制の充実と強化 - 相談支援事業所（相談支援専門員）を対象に高次脳機能障害支援の実態把握調査</p> <p>4. 小児の高次脳機能障害支援における連携作り（継続） - 急性期医療機関との連携作り - 隣接の特別支援学校と連携し支援体制を構築</p>	<p>1. 地域支援者の実態把握、連携強化及び課題の共有 （支援関係者連絡会の実施）</p> <p>2. Web 会議システムを用いての地域の支援者向けの研修体制の実施</p> <p>3. 普及啓発のための出前講座の継続実施</p>	<p>1 1. 支援の均霑化（支援体制年とワーク体制構築） - 「多職種事例検討会」の開催（2圏域にて開催）</p> <p>2. 福井神経心理臨床研究会 - 県内の高次脳機能障害や神経心理学に対する学術性・専門性の向上</p> <p>3. コロナ禍における休止中の事業再開に向けて - 集団リハ、キッズ・ヤンググループ、友の会活動（ピアサポート）</p>
-----------------------------	---	---	--

【滋賀県】

令和2年度 活動実績

拠点支援機関	滋賀県高次脳機能障害支援センター
支援コーディネーター	社会福祉士 常勤兼務
	精神保健福祉士 常勤専任
	臨床心理士・公認心理士 常勤専任
	相談支援員 非正規専任（週5日）

相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
	電話	1 2 5 3	電話	1 3 5 6
	来院/来所	1 4 3	来院/来所	9 1
	メール/書簡	7 4 3	メール/書簡	2 9 9
	訪問/同行等	4 8 9	訪問/同行等	2 6 5

普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	高次脳機能障害広域調整強化事業の実施 ・5圏域（甲賀、東近江、湖北、湖西、大津/7圏域）に加え、湖東圏域への展開を行い、関係機関との意見交換会を行った。 ・家族会との連携会議の開催と家族会合同相談会の実施 → コロナ感染のため延期 高次脳機能障害専門相談支援員との連携 → 実態アンケートの実施
		滋賀県立むれやま荘と事例検討会、GH創設にむけての準備会議の実施
	普及啓発	高次脳機能障害研修会（県内全域対象）→ 各圏域単位での研修会に変更 損保リハビリテーション講習会実行委員会参加
		湖北圏域自立支援協議会若手職員向け研修会講師派遣

研修事業 (実施要綱第3-3)	高次脳機能障害支援専門研修（フォローアップ研修） 圏域単位での研修会の開催
--------------------	--

その他主な取り組み	高次脳機能障害支援専門チーム定例会議の開催、アウトリーチ事業実施
	滋賀県立リハビリテーションセンターとの連携（普及啓発勉強会、ネットワーク構築）
	SSTの実施 → コロナ感染のため中止
	法人内高次脳機能障害支援サービスの検討「グループホームの創設に向けて」
	厚生労働科学研究（深津班）への協力 初年/3年
	障害者総合福祉推進事業受託「高次脳機能障害者のグループホーム等を活用した住まいの支援の実態についての調査研究」

令和2年度特に力をいれたこと	高次脳機能障害支援専門員認証者に対し、認証前後の支援の実態調査のアンケートを実施した。また、障害者総合福祉推進事業を受託し、「高次脳機能障害者のグループホーム等を活用した住まいの支援の実態についての調査研修報告書」を取りまとめた。
今後の課題	高次脳機能障害圏域支援体制整備事業の全圏域での展開 高次脳機能障害専門相談支援員との連携、支援の広がり

【滋賀県】

令和3年度 活動計画

拠点支援機関	滋賀県高次脳機能障害支援センター	
支援コーディネーター	社会福祉士 常勤兼務	
	精神保健福祉士 常勤専任	
	臨床心理士・公認心理士 常勤専任	
	相談支援員 非正規専任（週5日）	
相談支援事業等 （実施要綱第3-1）	○高次脳機能障害者（児）等や家族、または行政や支援者等からの専門相談を行う。 相談内容に対して必要な調整を図り、関係機関と連携して対応する。	
普及啓発事業 （実施要綱第3-2）	連携	高次脳機能障害支援体制ネットワーク構築（広域調整強化事業）の継続 ・6圏域（甲賀、東近江、湖北、湖西、大津、湖東/7圏域）に加え、湖南圏域＝最終圏域での開催準備
		高次脳機能障害専門相談支援員との連携
		滋賀県立むれやま荘との連携（事例検討会GH創設にむけての準備会議）
	普及啓発	高次脳機能障害研修会（県内全域対象）
		高次脳機能障害支援専門研修（初任者）の実施
		損保リハビリテーション講習会実行委員会参加
研修事業 （実施要綱第3-3）	高次脳機能障害支援専門研修（初任者） 圏域単位での研修会の企画立案・開催	
その他主な取り組み	高次脳機能障害支援専門チームを設置し定例会議の開催、アウトリーチ事業実施、事例検討実施	
	滋賀県立リハビリテーションセンターとの連携 （普及啓発研修会、ネットワーク構築）	
	法人内高次脳機能障害支援サービスの検討（むれやま荘GH創設）	
	厚生労働科学研究（深津班）への協力 2年目/3年	
	SSTの実施	
令和3年度 特に力をいれて 行う活動	<p>○三次機関としての機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域調整強化事業（圏域単位の高次脳機能障害勉強会の開催、医療・福祉・介護連携のネットワークの構築） ＝新たな圏域での展開と継続した事業の実施 ＝圏域ごとの資源マップの検討 ・滋賀県高次脳機能障害支援専門研修（初任者）研修の実施 高次脳機能障害専門相談支援員との連携 <p>○小児の高次脳機能障害の支援強化、教育機関との連携</p>	

【京都府】

令和2年度 活動実績

拠点支援機関	京都府リハビリテーション支援センター (京都府北部リハビリテーション支援センター)		
支援コーディネーター	リハセン	公認心理師/臨床心理士	常勤専任
		公認心理師/臨床心理士	非常勤専任 (週 28 時間)
	北部リハセン	保健師	非常勤専任 (週 3 日)

相談支援事業等 (実施要綱第 3-1)	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
	電話	2 2 3	電話	3 9 2
	来院/来所	7 4	来院/来所	2
	メール/書簡	4 7	メール/書簡	7 5
	訪問/同行等	8 2	訪問/同行等	1 9

普及啓発事業 (実施要綱第 3-2)	連携	オンラインでの府内各圏域の関係機関相互の連携強化に向けたネットワーク会議を事例検討会と併せて実施。
		オンラインでの関係機関相互の理解・連携強化に向けた連絡会議。
	普及啓発	パンフレット・リーフレット配布

研修事業 (実施要綱第 3-3)	<p>令和2年度京都府高次脳機能障害医療関係者等研修会 (令和3年1月19日開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児がんの晩期合併症による高次脳機能障害をテーマとする。 ・京都府立医科大学附属病院がん相談支援センターと共催。
---------------------	--

その他 取り組み	京都府立医科大学附属病院脳神経内科との連携 ・神経心理学検査、リハビリ・カウンセリングなど。
	高次脳機能障害者グループワーク ・7月～12月 全20回プログラム ・交流会開催(予定)
	北部高次脳カフェ ・10月～2月 全6回 (月1開催) 小講義+交流会

令和2年度 取り組んだ 主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府立医科大学附属病院がん相談支援センターと連携した、小児がんの晩期合併症としての高次脳機能障害支援。 ・京都府北部地域における支援強化。 (地域リハビリテーション支援センターと連携を行い施設支援に注力) ・当事者会支援(当事者会開催・啓発についての助言)。
------------------------	---

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・北部リハビリテーション支援センターにおける活動・事業充実。 ・医療・教育・福祉との連携による高次脳機能障害児の支援体制の構築。 ・自立支援協議会を含めた圏域単位の支援体制拡充。 ・市町村単位の高次脳機能障害支援体制作り。
-------	--

【京都府】

令和3年度 活動計画（案）

拠点支援機関	京都府リハビリテーション支援センター （京都府北部リハビリテーション支援センター）	
支援コーディネーター	リハセン	公認心理師/臨床心理士 常勤専任 公認心理師/臨床心理士 非常勤専任（週 28 時間）
	北部リハセン	保健師 非常勤専任（週 28 時間）
相談支援事業等 （実施要綱第 3-1）	支援コーディネーター（リハセン 2 名、北部リハセン 1 名）による、電話・来所等による専門相談を行う	
普及啓発事業 （実施要綱第 3-2）	連携	圏域ネットワーク会議・事例検討会 （圏域リハビリテーション支援センターと共催）
		高次脳機能障害（京都市域）支援ネットワーク会議（府市共催）
		関係機関相互の連携強化に向けた府市連絡調整会議
	普及啓発	関係機関相互の理解・連携強化に向けた連絡会議 パンフレット・リーフレット改定・配布
研修事業 （実施要綱第 3-3）	令和3年度京都府高次脳機能障害医療関係者等研修会 （2021年8月21日実施予定）	
その他 取り組み	京都府立医科大学附属病院脳神経内科との連携 ・神経心理学検査、リハビリ・カウンセリングなど 高次脳機能障害者グループワーク ・4月～8月（全15回）・10月～2月（全15回） ・卒業生への定期連絡 ・交流会開催 北部高次脳カフェ ・10月～2月 全6回（月1開催） 小講義＋交流会	
令和3年度 主に取り組む 事業	・北部リハビリテーション支援センターにおける普及支援事業の見直し、再構築。 ・高次脳機能障害児への支援体制構築のための事例検討および情報交換会。 ・急性期および回復期から維持期へシームレスに移行できるための支援体制の構築および普及啓発。	

【京都市】

令和2年度 活動実績

拠点支援機関	京都市高次脳機能障害者支援センター (京都市地域リハビリテーション推進センター相談課内)			
支援コーディネーター	保健師1名, 看護師2名, 心理判定員1名 (常勤専任)			
	心理判定員1名 (※作業療法士の産休代替, 非常勤専任)			
相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
	電話	1,021	電話	1,114
	来院/来所	540	来院/来所	48
	メール/書簡	113	メール/書簡	216
	訪問/同行等	105	訪問/同行等	9
普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	<ul style="list-style-type: none"> 出張型研修等による各機関や地域支援者との連携強化 各地域の支援ネットワークや会議等への参加 ※高次脳機能障害(京都市域)支援ネットワーク会議(府市共催)は、開催中止		
	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 入門講座(当事者, 家族, 支援者, 市民等対象) 6テーマ 年2クール(前期は中止。後期は10月と3月のみ実施) 2回 参加者数53名 入門講座ダウンロード版資料を作成, ホームページに掲載 ホームページ, Facebook を利用した情報発信 ※街角での普及啓発事業は今年度は開催中止 ※損保実行委員会, リハビリテーション講習会は開催中止		
研修事業 (実施要綱第3-3)	<ul style="list-style-type: none"> 入門講座(当事者, 家族, 支援者, 市民等対象): 再掲 お出かけ講座(関係機関等へのお出張研修): 1回 参加者数20名 よくわかる高次脳機能障害セミナー(介護保険施設・事業所職員等対象, オンライン研修): 1回 参加者数110名 ※ステップアップ研修(支援者対象), 専門研修(支援者対象), 小児高次脳機能障害研修(教職員対象), 医療機関へのお出張研修は開催中止			
その他 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 作業体験プログラム(就労支援): (6月から再開) 54回 参加実数16名 延べ102名 当事者・家族交流会: (7~11月, 3月のみ実施) 6回 参加者数延べ66名 診療事業: 嘱託医による診察 43回 延べ201名, 神経心理学的検査 延べ7名 			
令和2年度 取り組んだ 主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 集合型研修に代わる情報発信の検討(入門講座ダウンロード版資料の作成およびホームページへの掲載), ZoomでのWeb研修の企画等 			
今後の課題	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた事業実施のあり方について, 引き続き検討していく。			

【京都市】

令和3年度 活動計画（案）

拠点支援機関	京都市高次脳機能障害者支援センター （京都市地域リハビリテーション推進センター相談課内）	
支援コーディネーター	保健師1名，看護師2名，心理判定員1名（常勤専任）	
	心理判定員1名（※作業療法士の産休代替，非常勤専任）	
相談支援事業等 （実施要綱第3-1）	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者，家族，関係機関等に対し，電話，来所相談，訪問等による相談支援を実施。 ・継続支援の必要のある方には個別担当制をとり，関係機関との連携の上，就労や復学，日常生活に関する調整や支援を行う。 	
普及啓発事業 （実施要綱第3-2）	連携	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害（京都市域）支援ネットワーク会議（府市共催） ・出張型研修等による各機関や地域支援者との連携強化 ・各地域の支援ネットワークや会議等への参加
	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・入門講座（当事者，家族，支援者，市民等対象） ・お出かけ講座（市民等への出張研修） ・ホームページ，Facebook を利用した情報発信 ・損保実行委員会，リハビリテーション講習会への協力 ・その他の普及啓発事業
研修事業 （実施要綱第3-3）	<ul style="list-style-type: none"> ・入門講座（当事者，家族，支援者，市民等対象）会場受講＋YouTube 配信：再掲 ・よくわかる高次脳機能障害セミナー（介護保険施設・事業所職員等対象） ・医療機関へのお出張研修 ・小児高次脳機能障害研修（教職員対象） ・お出かけ講座（関係機関等へのお出張研修） 	
その他 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・作業体験プログラム：模擬的な職場場面で就労に関する能力や課題の評価を行い，今後の方向性を検討する。 ・当事者・家族交流会 ・専門医（嘱託医）による診察，神経心理学的検査 ・高次脳機能障害支援マップの更新 	
令和3年度 主に取り組む 事業	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた事業実施のあり方について，引き続き検討していく。	

【大阪府】

令和2年度 活動実績

拠点支援機関	障がい者医療・リハビリテーションセンター		
	大阪急性期・総合医療センター	大阪府立障がい者自立センター	大阪府障がい者自立相談支援センター
支援コーディネーター	ケースワーカー 非常勤専任	ケースワーカー 常勤兼務	ケースワーカー 常勤専任 心理職 常勤専任

相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
	電話	981	電話	2177
	来院/来所	724	来院/来所	356
	メール/書簡	100	メール/書簡	87
	訪問/同行等	20	訪問/同行等	5

普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府高次脳機能障がい相談支援体制連携調整部会 2回開催 ・障がい福祉サービス事業所等との事例検討会への参加やコンサルテーション等の実施 ・府内当事者・家族会、堺市高次脳機能障がい支援拠点機関と連携した普及啓発の実施
	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの情報発信 ・「支援ハンドブック」の配布、一部改訂増刷 ・当事者・家族会の活動等の周知 ・大阪リハビリテーション講習会への協力（実行委員として参画）

研修事業 (実施要綱第3-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・市区町村職員向け研修 28名 ・医療機関等職員向け研修（Web研修） 63名 ・地域支援者養成研修（福祉支援機関職員等対象2日間研修） 52名 ・支援拠点機関職員向け研修3回 のべ85名
--------------------	---

その他 主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車運転評価モデル事業の継続実施
---------------	--

令和2年度 取り組んだ主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「高次脳機能障がいのある方への支援ヒント集～府内事業所の実践例より～」の作成（令和2年度末ホームページ掲載） ・行政書士・社会保険労務士・家族会による無料相談会2回開催 ・府内医療機関へのアンケート調査の実施
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村障がい福祉担当課や相談支援事業所、医療機関との連携 ・高次脳機能障がいのある子どもに対する支援 ・高次脳機能障がいのある方の実態把握 ・発症後に医療、福祉に結び付いていない方を顕在化するための「高次脳機能障がい」の認知度の向上

【大阪府】

令和3年度 活動計画（案）

拠点支援機関	障がい者医療・リハビリテーションセンター		
	大阪急性期・総合医療センター	大阪府立障がい者自立センター	大阪府障がい者自立相談支援センター
支援コーディネーター	ケースワーカー 非常勤専任	ケースワーカー 常勤兼務	心理職 常勤専任 ケースワーカー 常勤専任
相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者医療・リハビリテーションセンターにおける当事者・家族、支援機関、医療機関等に対する相談支援の実施。 市町村や事業所など地域の支援者が支援に困っている事例についてのコンサルテーションの実施。 		
普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府高次脳機能障がい相談支援体制連携調整部会の開催 障がい福祉サービス事業所等との事例検討会への参加やコンサルテーション等の実施 府内当事者・家族会、堺市高次脳機能障がい支援拠点機関と連携した普及啓発の実施 	
	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ホームページでの情報発信 「高次脳機能障がいのある方への支援ヒント集～府内事業所の実践例より～」、「支援ハンドブック」、啓発リーフレット等の配布、ホームページ掲載 当事者・家族会の活動等の周知 高次脳機能障がいについての普及啓発イベントの実施 大阪リハビリテーション講習会への協力（実行委員として参画） 	
研修事業 (実施要綱第3-3)	<ul style="list-style-type: none"> 市区町村職員向け研修 医療機関等職員向け研修 地域支援者養成研修（福祉支援機関職員等対象） 支援拠点機関職員向け研修 		
その他 主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 自動車運転評価モデル事業の継続実施 行政書士・社会保険労務士・家族会による無料相談会の実施 		
令和3年度 主に取り組む事業	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に完成させた「高次脳機能障がいのある方への支援ヒント集」を活用して、コンサルテーション等に取り組み、高次脳機能障がいの方を支える医療機関、福祉事業所、相談支援事業所等を拡充、連携強化することで地域の支援力向上を目指す 府内当事者・家族会と連携しての普及啓発活動（普及啓発イベント、リハビリテーション講習会等） 		

【堺市】

令和2年度 活動実績

拠点支援機関	堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター
支援コーディネーター	社会福祉士 常勤専任 1名（12月末で1名退職のため）

相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
	電話	705	電話	1401
来院/来所	233	来院/来所	68	
メール/書簡	51	メール/書簡	182	
訪問/同行等	25	訪問/同行等	77	

普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	障害者自立支援協議会（堺市・各7区）
		大阪府高次脳機能障がい支援普及事業
		堺市障害者就業・生活支援センター連絡会議・運営会議
		大阪府障がい者医療・リハビリテーションセンター 高次脳機能障がい支援コーディネーター会議
		生活リハビリテーションセンター運営委員会
	普及啓発	施設だより発行・配布
		高次脳機能障害のある方とその家族向けハンドブックの改訂・配布
		高次脳機能障害の理解や支援方法などに関するチラシ配布
		令和2年度 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 第3回「こどもの高次脳機能障害～頭のケガや病気の後で知っておきたい大切なこと～」(参加者120名)
		ホームページ掲載
		自立訓練利用者の家族懇談会（毎月開催）(7回開催 参加者 延べ46名)
		学習懇談会『はばたきの会（センターを退所した当事者・家族会）との交流会』の開催（3回開催 参加者 延べ44名）

研修事業 (実施要綱第3-3)	令和2年度 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 第1回「知っておきたいお金の話～休職・復職・新規就労に関する社会保障制度～」(参加者61名 (内、会場参加23名・オンライン参加38名))
	令和2年度 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 第2回「失語症のある方の暮らしを支える地域での取り組み」(参加者56名 (内、会場参加17名・オンライン参加39名))
	令和2年度 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業研修会 第4回「明日から使える！片麻痺のある方への具体的な対応方法」(参加者59名 (オンライン開催))

<p>その他 取り組み</p>	<p>医療機関・福祉機関等の関係職員を対象とした出張勉強会の開催 (6回開催(内、4回はオンライン開催) 参加者 101名) 堺市内関係機関にて自動車運転技能評価事業の実施 医療機関など紹介元へのフィードバック</p>
<p>令和2年度 取り組んだ 主な事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害や新型コロナウイルス感染症拡大に備えた支援体制の整備 ・当事者・家族の交流会の実施 ・小児の高次脳機能障害に対する継続的なモニタリングと教育機関への普及啓発研修の実施
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・堺市高次脳機能障害運転技能評価事業の周知 ・医療機関との連携強化 ・失語症に関する支援普及(緊急通報システム Net119の新バージョンの周知等) ・感染症を含む、災害に備えた支援体制の整備強化 ・小児の高次脳機能障害に対する支援体制の構築
<p>COVID-19 感染 拡大の事業へ の影響</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言下においては相談件数が大幅に減少。宣言解除後に医療機関からの退院支援相談が急増した。 ・緊急事態宣言により自立訓練の提供が大きく制限された。 (在宅課題の作成・電話での支援・オンラインでのST訓練の試行等を実施) ・ICTを活用したオンライン研修を実施した。

【兵庫県】

令和2年度 活動実績

拠点支援機関	兵庫県立総合リハビリテーションセンター			
支援コーディネーター	社会福祉士・精神保健福祉士		常勤専任	
	言語聴覚士		常勤兼務（週4日）	
相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
	電話	685	電話	1337
	来院/来所	391	来院/来所	693
	メール/書簡	263	メール/書簡	176
	訪問/同行等	22	訪問/同行等	30
普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	兵庫県障害者自立支援連絡協議会相談支援部会委員		
		神戸市西区自立支援協議会		
		高次脳機能障害当事者・家族会及び支援関係団体連絡会		
	普及啓発	チラシ・パンフレット配布、リーフレット改訂及び配布		
ホームページ更新				
研修事業 (実施要綱第3-3)	<p>【高次脳機能障害支援普及研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知と運動～高次脳機能障がい者の運動とスポーツ（令和2年10月17日 30名） ・事例を通して学ぶ 事業所における支援（コロナ禍で中止） <p>【支援コーディネーター出張研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三木市障害者差別解消支援地域協議会（令和2年10月23日 25名） ・伊丹市相談支援事業所連絡会（令和2年11月19日 80名） ・西宮市社会福祉協議会主催研修会（令和2年11月26日 45名） 			
その他 取り組み	高次脳機能障害当事者・家族会及び支援関係団体との連携			
	支援コーディネーター出張の継続実施			
令和2年度 取り組んだ 主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・総合リハ高次脳機能障害支援検討会議開催、連携シート作成、運用 ・高次脳機能障害の方を対象とした（職業）開発訓練の実施 			
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科等医療機関病院との連携 ・コロナ下における高次脳機能障害当事者・家族会及び支援関係団体の活動支援 			

【兵庫県】

令和3年度 活動計画（案）

拠点支援機関	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	
支援コーディネーター	社会福祉士・介護支援専門員	常勤専任
	作業療法士	常勤兼務
相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	電話や来所面談等で当事者・家族及び関係者からの相談対応、行政・地域支援機関と連携し社会生活を支援する。ケースによって関係事業所などに訪問、支援会議を開催する。	
普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	兵庫県障害者自立支援協議会相談支援部会
		神戸市西区自立支援協議会
		高次脳機能障害当事者・家族会及び支援関係団体連絡会
	普及啓発	パンフレット・チラシ配布
		ホームページ掲載
		損保協会リハビリテーション講習会実行委員会事務局
研修事業 (実施要綱第3-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・【主催研修】高次脳機能障害支援普及研修（年2回） ・【依頼研修】支援コーディネーター出張研修 	
その他 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・総合リハ高次脳機能障害支援検討会議 ・損保協会リハビリテーション講習会への協力 ・高次脳機能障害の方を対象とした（職業）開発訓練の継続、見直し 	
令和3年度 主に取り組む 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会との協働 ・総合リハ高次脳機能障害支援検討会議開催、連携シート改訂、運用 	

【和歌山県】

令和2年度 活動実績

拠点支援機関	和歌山県 子ども・女性・障害者相談センター			
支援コーディネーター	作業療法士 常勤兼務			
	社会福祉士、看護師 保健師 非常勤専任（週5日）			
相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
	電話	443	電話	319
	来院/来所	41	来院/来所	4
	メール/書簡	1	メール/書簡	5
	訪問/同行等	300	訪問/同行等	31
普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	地域支援ネットワーク研修会 テーマ「高次脳機能障害に対する就労支援について」 和歌山市、新宮市で開催		
	普及啓発	リハビリテーション講習会（損保）実行委員会参加		
		障害者職業センター等関係機関との連携		
		家族会と合同での街頭啓発（和歌山市、田辺市）		
		・リーフレット配布 ・ホームページ掲載		
研修事業 (実施要綱第3-3)	高次脳機能障害 研修会（オンライン）開催 県内全域対象			
その他 取り組み	和歌山県立医科大学附属病院 リハビリテーション科との連携 （受診同行・医療相談など）			
	広報活動：一般県民向けに啓発物品配布 県広報およびメールマガジンの活用			
令和2年度 取り組んだ 主な事業	・障害者職業センター等関係機関の取り組みについて情報共有し、連携を深めるための協議会への参加 ・リモートによる研修会・講習会の開催			
今後の課題	・コロナ禍における感染防止を図りながらの啓発・関係等の保持			

【和歌山県】

令和3年度 活動計画

拠点支援機関	和歌山県 子ども・女性・障害者相談センター	
支援コーディネーター	作業療法士 常勤兼務	
	社会福祉士、看護師、保健師 非常勤専務（週5日）	
相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	支援コーディネーターによる電話・訪問・来所による相談支援の実施。 医療機関との調整や地域の関係機関との連携を図り、支援に関する情報提供を行う。	
普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	地域支援ネットワーク研修会および事例検討会を実施。 県内2カ所で開催予定
	普及啓発	リハビリテーション講習会（損保）実行委員会参加
		障害者職業センター等関係機関との連携
		家族会と合同での街頭啓発
		リーフレット配布 ホームページ掲載
家族会交流会参加・協力		
研修事業 (実施要綱第3-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害 研修会 県内全域対象 ・相談技術研修 「相談援助技術講座」 	
その他 取り組み	和歌山県立医科大学附属病院 リハビリテーション科等との連携 (受診同行・医療相談など)	
	広報活動：県民向けに啓発物品配布 県広報およびメールマガジンの活用	
令和3年度 主に取り組む 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における感染防止を図りながらの地域ネットワーク構築強化及び家族会との協働 ・各関係機関との連携・調整 	

【奈良県】

令和2年度 活動実績

拠点支援機関	奈良県障害者総合支援センター内 高次脳機能障害支援センター			
支援コーディネーター	社会福祉士・精神保健福祉士（常勤専任）		1名	
	精神保健福祉士（常勤専任）		1名	
＜期間 R2.4.1～R3.3.31＞				
相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	直接相談延べ件数		間接相談延べ件数	
	電話	766	電話	994
	来院/来所	458	来院/来所	8
	メール/書簡	124	メール/書簡	167
	訪問/同行等	5	訪問/同行等	0
普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	地域での個別支援会議への参加		
		奈良県高次脳機能障害支援体制検討委員会の開催		
	普及啓発	奈良高次脳機能障害リハビリテーション講習会への参加		
		ホームページでの発信（研修会・相談会の案内や高次脳機能障害に関する情報）		
		地域相談機関・教育機関等へのコンサルテーション		
高次脳機能障害普及啓発パンフレット配布				
研修事業 (実施要綱第3-3)	当事者・家族・支援関係機関対象 高次脳機能障害研修会開催 （令和2年度は感染症対策からWEB研修会での実施） 支援関係機関職員対象 高次脳機能障害研修会コンサルテーション 高次脳機能障害に関する講師派遣			
その他 取り組み	高次脳機能障害の検査・診断事業 嘱託医師による月4回の診察を心理士による神経心理学的検査実施 高次脳機能障害医師診断書・精神保健福祉手帳診断書発行			
	感染症対策のため SST 事業中止 近畿ブロック各支援機関での神経心理検査の実施状況調査			
令和2年度 取り組んだ 主な事業	高次脳機能障害家族会と協働して、高次脳機能障害者相談会の開催 （感染症対策に留意して本年度グループセッション部分をなくし、個人面談のみを個室対応で実施） 奈良県総合リハビリテーションセンター病院部門との連携 （通院中・入院中高次脳機能障害者当事者・家族への支援）			
今後の課題	感染症対策を考慮した高次脳機能障害者支援・連携の検討 （リモートでの相談や事例検討等の新規開設）			

【奈良県】

令和3年度 活動計画（案）

拠点支援機関	奈良県障害者総合支援センター内 高次脳機能障害支援センター	
支援コーディネーター	社会福祉士・精神保健福祉士（常勤専任）	1名
	精神保健福祉士（常勤専任）	1名
相談支援事業等 (実施要綱第3-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・支援コーディネーター2名体制にて、電話・来所による高次脳機能障害に関する相談を受ける ・高次脳機能障害者が地域で安心して暮らせるように、地域関係機関と連携する（高次脳機能障害者支援を病院から地域へとつなぐ） ・当事者・家族と協働して、地域での高次脳機能障害の相談ニーズの充足 	
普及啓発事業 (実施要綱第3-2)	連携	地域関係機関への助言・コンサルテーション
		高次脳機能障害者支援検討委員会の開催
		奈良県総合リハビリテーションセンター病院部門との連携
	普及啓発	奈良高次脳機能障害リハビリテーション講習会開催協力
		ホームページを利用して高次脳機能障害に関する情報発信
		関係機関へ「高次脳機能障害支援の充実のために」パンフレット配布
研修事業 (実施要綱第3-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害当事者・家族・支援関係者等対象として高次脳機能障害に関する研修会の開催（感染対策に留意しながら開催、WEB・リモートなどの方法検討） ・高次脳機能障害に関する個別支援事例を題材とした支援方法等の研修会開催（高次脳機能障害支援事例から具体的支援方法の習得） 	
その他 取り組み	高次脳機能障害の検査・診断事業 嘱託医師による月回の診察と心理士による神経心理学的検査実施 高次脳機能障害医師診断書作成、精神障害者保健福祉手帳診断書発行	
	高次脳機能障害者対象のソーシャルスキルトレーニング事業 就労を希望する高次脳機能障害者を対象として対人スキルトレーニングを行う（感染症対策に考慮した実施方法の検討）	
令和3年度 主に取り組む 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害普及・啓発事業を効果的開催 感染症の状況を鑑みて、個別相談や普及啓発事業のリモート開催 ・高次脳機能障害者の運転評価システム検討 	

「令和2年度高次脳機能障害及びその関連する障害に対する支援普及事業実施状況並びに令和3年度同事業実施計画」について（中国ブロック）

県名	鳥取県	
事業名	高次脳機能障がい者支援普及事業	
拠点及びネットワーク	鳥取県高次脳機能障がい支援拠点機関 野島病院 高次脳機能センター	
支援コーディネーター	精神保健福祉士	
令和2年度事業実施状況	(活動実績) ・診断・評価・治療（病棟・外来） ・社会保障制度の利用支援（各種診断書の作成、利用及び手続き支援） ・相談支援（電話相談、面談、事業所等への同行、個別支援会議等への参加等） ・高次脳機能障がい支援研修会の開催（中国ブロック研修会との合同開催）（3月13日） ・高次脳機能障がいの正しい理解の普及啓発 各圏域の関係者連絡会等への出席1回 ・圏域ごとの家族会との連携強化 ・自動車運転再開の評価（ドライビングシミュレーターの導入） 令和2年使用回数：延べ246回（令和2.4.1～12.31） （使用後の帰結、使用目的（訓練又は評価）等は問わない延べ回数） ・各種アンケート調査等への協力 ○研修会等開催実績 高次脳機能障害地域支援ネットワーク中国ブロック協議会・研修会	
	研修会・講演会名	対象(参加)者数
	内容	
	支援拠点	
	令和2年度高次脳機能障害地域支援ネットワーク中国ブロック協議会 2021.3.13 Web開催	36名
令和2年度高次脳機能障がい支援ネットワーク中国ブロック研修会	約90名	●講師 鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学専攻 准教授 竹田伸也先生

	2021. 3. 13 Web 開催		<p>●テーマ</p> <p>行動療法で高次脳機能障害の人の行動の意味を読み解く</p>
県			
	<p>高次脳機能障がい支援者 意見交換会 2020. 10. 16</p>	9名	<p>○報告 ・前年度実績報告・活動報告</p> <p>○講義 ・高次脳機能障がい支援で知っておいてほしいこと</p> <p>○事例紹介・高次脳機能障がい者の円滑な支援のための医療と地域の連携について</p>
<p>(令和2年度特に力を入れたこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国ブロック協議会・研修会開催の連絡調整等。 ・ホームページ開設準備。(令和3年5月12日公開) ・入院中・入所中の患者への支援など多様な形での支援の実施。 ・多職種との協働、連携の強化。 ・社会保障制度の利用支援。 			
令和3年度実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・診断・評価・治療(病棟・外来) ・社会保障制度の利用支援(各種診断書の作成、利用及び手続支援) ・相談対応(電話相談、面談、事業所等への同行、個別支援会議等への参加等) ・関係機関との連絡調整 ・高次脳機能障がい支援研修会の開催 ・高次脳機能障がいの正しい理解の普及啓発(各圏域の会議等に出席) ・家族会との連携の強化(各圏域定例会への出席) ・自動車運転再開の評価(ドライビングシミュレーター活用) 等(今後の課題) ・医療機関・各種機関への障がいの理解の促進。 ・本人や家族への継続的なフォローの実施。 ・心理的・精神的なケアの場の不足。 ・地域(圏域)ごとの支援体制と支援者間の連携の強化。 ・医療機関や診療科、各種機関による理解のばらつきの解消。 ・就労支援機関との円滑な連携、各専門機関の役割分担の明確化。 ・行政機関との円滑な連携と役割分担の明確化。 ・支援者の社会保障制度の理解の促進。 ・子どもの高次脳機能障がいへの理解や対応が不十分。 ・ドライビングシミュレーターを含めた、蓄積したデータや事例の学会発表。 		
そ の 他	<p>野島病院高次脳機能センター ホームページ</p> <p>https://nojima-hospital.jp/publics/index/204/</p>		

県名	島根県
事業名	高次脳機能障がい者支援事業
拠点及びネットワーク	地域支援拠点：県内に3拠点 圏域相談支援拠点：県内に7拠点 ※県全体を3地域（東部、中部、西部）に分けてコーディネーターを配置。圏域相談支援コーディネーターをサポート。
支援コーディネーター	地域支援コーディネーター：4名（精神保健福祉士、看護師） 圏域相談支援コーディネーター：10名（精神保健福祉士、社会福祉士、相談支援専門員）
令和2年度事業実施状況	<p>【活動状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7圏域に相談支援拠点を設置し、各圏域でネットワーク会議、ケース検討会議、研修会を開催。3地域ごとに連絡会議を開催。 ・専門相談会の開催（隠岐の島） ・高次脳機能障がい支援普及啓発リーフレットの作成・配布 ・島根県障がい者自立支援協議会高次脳機能障がい者支援部会において、今後の取り組みの方向性について検討 <p>【令和2年度特に力を入れたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域ネットワーク会議において、自動車運転に関する取り組みの紹介や意見交換を行った ・島根県作業療法士会との連携構築
令和3年度実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・7圏域に相談支援拠点を設置し、各圏域でネットワーク会議、ケース検討会議を開催 ・地域支援拠点と各担当圏域拠点において、地域連絡会議を開催 ・支援機関職員を対象とした派遣研修の実施 ・専門相談会の開催（隠岐の島） ・研修会の開催（全県、圏域単位） ・島根県障がい者自立支援協議会高次脳機能障がい者支援部会において、今後の取り組みについて検討
その他	<p>【今後の課題】</p> <p>①拠点施設、ネットワーク整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域相談支援拠点におけるアセスメントの充実、専門性の確保 <p>②人材育成・普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の充実及び支援関係者の資質向上 ・小児高次脳機能障がいの支援 ・地域住民の障がいに対する理解の向上 <p>③医療と福祉の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域相談支援拠点と医療機関との連携の充実

県名	岡山県
事業名	岡山県高次脳機能障害支援及びその関連障害に対する支援普及事業
拠点及びネットワーク	川崎医科大学附属病院 社会福祉法人旭川荘
支援コーディネーター	川崎医科大学附属病院 1名（言語聴覚士） 社会福祉法人旭川荘 1名（精神保健福祉士）
令和2年度事業実施状況	<p>1 診察・相談の実績</p> <p>(1)川崎医科大学附属病院 直接相談 565件 間接相談 124件</p> <p>(2)社会福祉法人 旭川荘 直接相談 99件 間接相談 30件</p> <p>2 普及啓発事業の実績 岡山リハビリテーション講習会（損保協会助成）、岡山県高次脳機能障害支援研修会、ワーキンググループ活動、研究会等での講演、パンフレット改訂等</p> <p>3 中国ブロック協議会 中国ブロック協議会（鳥取県）への参加</p>
令和3年度実施計画	<p>1 実施体制 各支援拠点機関に1名ずつ支援コーディネーターを配置。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 拠点機関の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎医科大学附属病院において診断・評価・リハビリテーション、家族支援を実施 ・旭川荘において医療を終えた後の社会的支援を実施 <p>(2) 支援ネットワークの充実</p> <p>(3) 普及啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各研修会については、当事者、家族、支援者等を対象としてニーズに応じながら、WEB形式にて実施する ・支援機関団体一覧の改訂およびパンフレット第4版の配布 <p>(4) ワーキンググループ(WG)の活動</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 医療WG 症例検討会の開催 ② 地域連携WG 家族会等への支援の実施 ③ 福祉WG 医療を終えた後の支援の実施 ④ 小児WG 教育機関との個別ケースの連携、チラシ作成 ⑤ 自動車運転WG 自動車シミュレーターを用いた評価依頼のあるケースへの個別支援・訓練
その他	

県名	山口県
事業名	山口県高次脳機能障害支援普及事業
拠点及びネットワーク	地方独立行政法人 山口県立病院機構 山口県立こころの医療センター 高次脳機能障害支援センター
支援コーディネーター	精神保健福祉士1名、公認心理師2名
令和2年度事業実施状況	<ol style="list-style-type: none"> 1) 相談支援事業等 <ul style="list-style-type: none"> ・相談 評価 支援 ・りあんの会（当事者・家族交流会）開催 ・関係機関とのケース会議、拠点機関内での支援会議 ・専門外来 診断 治療 各種診断書の作成 ・高次脳機能障害専門治療プログラム実施（12回1クール） 2) 普及・啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援体制連絡調整委員会開催（書面開催） ・関係機関との協議会や連絡会への参加 ・高次脳機能障害支援センターだより・リーフレットの作成配布 ・高次脳機能障害支援体制実態調査実施（医療機関対象） 3) 関係職員向け研修会及び支援体制構築に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会の講師派遣 ・事例検討方式の地域連携会議開催（周南圏域） ・研修会開催（認知機能障害に係る神経心理学的検査研修会） 4) 高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会等への参加
令和3年度実施計画	<ol style="list-style-type: none"> 1) 相談支援事業等 <ul style="list-style-type: none"> ・相談 評価 支援 ・当事者家族の集い開催（年6回） ・関係機関とのケース会議、拠点機関内での支援会議 ・専門外来 診断 治療 各種診断書の作成 ・高次脳機能障害専門治療プログラムの実施（12回1クール） 2) 普及・啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援体制連絡調整委員会開催（WEB開催） ・関係機関との協議会や連絡会の開催 ・県民対象の講習会開催（損保助成事業） ・センターだよりやリーフレットの作成・配布、ホームページの更新 3) 関係職員向け研修会及び支援体制構築に関わる事業 <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会の講師派遣 ・脳外傷地域連携パスの円滑な運用に向けての協議会及び説明会実施 ・事例検討形式の地域連携会議開催（宇部圏域） ・自動車運転再開に係る連絡システムの構築に向けての取り組み ・研修会開催（アセスメント研修、手帳診断書作成の手引き改訂に係る研修） 4) 高次脳機能障害支援全国連絡協議会等への参加

<p>そ の 他</p>	<p>【令和2年度特に力を入れたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域連携会議」：高次脳機能障害支援の連携強化と支援体制の確立を目的に、事例検討を主とした会議を開催した。今年度より。圏域で高次脳機能障害支援を担う医療機関に赴き開催した。 ・「医療機関向け実態調査」：県内の支援体制構築および拡充を目的に、急性期病院・回復期病院・精神科病院を対象に実態調査を実施した。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳外傷地域連携パスの運用・活用 ・高次脳機能障害支援の地域ネットワーク作りへの取組み ・相談支援機関におけるアセスメントの充実、専門性の確保 ・自動車運転再開に係る支援体制
--------------	---

県名	広島県
事業名	広島県高次脳機能障害支援体制整備事業
拠点及びネットワーク	<p>広島県立障害者リハビリテーションセンター 広島県高次脳機能センター 電話番号 082-425-1455</p> <p>【地域支援センター】</p> <p>(広島) 広島市立リハビリテーション病院 082-848-8001 (広島西) 廿日市記念病院 0829-20-2300 (呉) 呉中通病院 0823-22-2510 (広島中央) 井野口病院 082-422-3711 (尾三) 尾道市公立みつぎ総合病院 0848-76-1111 (福山・府中) 脳神経センター大田記念病院 084-931-8650 福山リハビリテーション病院 084-916-5500 (備北) 三次地区医療センター 0824-62-6328</p>
支援コーディネーター	<p>4名 (相談支援専門員, 介護支援専門員・介護福祉士, 社会福祉士)</p>
令和2年度事業実施状況	<p>相談支援延べ件数 2,358件 (実人数) 1,268名 新規相談件数 (実人数) 210名 新規受診者 (実人数) 104名 高次脳専門病棟入院患者延べ入院日数 10,223日 " 実人数 103名 外来患者延べ人数 6,860名 就労支援実績 新規就労 6名 " 復職 7名</p> <p>*コロナの感染拡大の影響で、入院や必要な支援(就労, 就学等)が滞ることがないように努めた</p>
令和3年度実施計画	<p>(1) 専門的な診断, 医療リハビリテーションの提供 ・専門的な医療・リハビリの提供 ・利用者・家族・関係機関に対する, 相談支援や情報提供 ・各関係機関との連携</p> <p>(2) 地域生活支援の充実 ・診断, 評価, リハビリ, 相談支援等, 社会復帰までの一貫したサービスの提供とネットワークづくり ・家族会との連携</p> <p>(3) 普及啓発活動 ・研修会やセミナー, 機関紙発行等による高次脳機能障害への理解促進・普及啓発 ・サポートファイルの活用を促進</p>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援センターとの連携強化 ・地域の社会資源の開拓(地域包括支援センター及び相談支援事業所との連携など) ・小児への支援(発達障害児支援機関や教育機関との連携)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人高次脳機能障害サポートネットひろしま クラブハウス・シェイキングハンズとの連携(高次脳機能障害専門通所施設) ・いでした高次脳機能デイケアとの連携(高次脳機能障害専門精神科デイケア)

四国ブロック高次脳機能障害支援普及事業

令和2年度実施報告(3月末時点)

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
①支援拠点機関名	徳島大学病院 (高次脳機能障害支援センター) 連絡先: 患者支援センター 電話: 088-633-9107	かがわ総合リハビリテーション福祉センター (かがわ総合リハビリテーション事業団) 電話: 087-867-7686 FAX: 087-867-0420	松山リハビリテーション病院 (高次脳機能障害支援拠点機関) 高次脳機能障害支援室 電話: 089-975-7427(直通) e-mail: matsuriha.hp-koujino@jikyokukai.or.jp	高知県高次脳機能障害支援拠点センター青い空 (近森リハビリテーション病院内) 電話: 090-6535-6370 FAX: 088-855-6710 email:hbd-support@blue-sky-kochi.com
拠点機関の役割	診断の確立、相談支援、普及啓発、全国連絡協議会、四国ブロック会議等への参加。	相談支援、社会復帰支援、研修会講演会等の企画・運営、普及啓発の促進、県支援連絡協議会の開催、全国連絡協議会・四国ブロック会議等への参加、地域の相談支援体制整備、支援機関のバックアップ等。	診断、相談援助・社会復帰支援、当事者活動支援(普及啓発)、家族教室の開催、講習会/研修会の企画・運営、開業、普及啓発の促進、県支援連絡協議会の開催、全国連絡協議会・四国ブロック会議等への参加、地域の相談支援体制整備、支援機関のバックアップ等。	相談支援・医療相談、家族教室、講演会・勉強会開催、高次脳機能障害支援拠点機関の専門研修会開催及び参加、広報/啓発活動、全国連絡協議会、四国ブロック会議等への参加
②支援Co.の配置	2名配置 ①相談員等 ②社会福祉士	3名配置 ①相談支援専門員 ②社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員 ③社会福祉士、相談支援専門員	4名配置 ・医師(兼務)1名 ・社会福祉士(兼務)2名 ・社会福祉士(専従)1名	4名配置 ①作業療法士(兼務) ②理学療法士、相談支援専門員(兼務) ③臨床心理士(兼務) ④社会福祉士(専従)
Co.の主な任務	相談窓口業務、家族支援、支援普及事業として専門職・一般県民を対象として講演会開催、研修/勉強会への参加	相談支援、社会復帰支援、支援職員研修会の開催、普及啓発の促進、一般講習会の開催、県支援連絡協議会の開催、全国連絡協議会・四国ブロック会議等への参加、地域の相談支援体制整備、支援機関のバックアップ等。	相談援助業務全般(当事者・家族支援、地域支援、講演会・研修会等の企画・運営・開催、各種研修会・連絡会等への参加、講師派遣、広報・普及啓発活動、研究活動、実績の管理、当事者活動への支援)	相談窓口業務、医療相談、家族支援、支援普及事業として専門職・一般県民を対象とした講演会・勉強会開催及び参加、教育委員会などへの広報/啓発活動
③協力機関ネットワーク	□徳島県高次脳機能障害がい支援連絡協議会の開催(10月書面開催。) ■徳島県高次脳機能障害がい支援ネットワークづくり検討会の開催(12月書面開催。) (県内ネットワーク) 県内急性期・回復期病院(病棟)・県内保健所・精神保健福祉センター・障がい者相談支援事業所・居宅介護支援事業所などとの連携推進、患者会との交流会 (県外ネットワーク) 全国連絡協議会、コーディネーター全国会議、四国ブロック会議、瀬戸内ネットワーク会議、へのweb参加	(県内ネットワーク)急性期・回復期病院MSWとの連携、行政、労働機関、教育機関、福祉施設、相談支援事業所等との連携 ■香川県高次脳機能障害支援連絡協議会 令和3年3月に実施。 (県外ネットワーク)全国連絡協議会、Co研修会等への参加(WEBでの参加)、環瀬戸内ネットワーク会議(WEBで参加)、四国ブロック会議(書面での会議)への参加	(県内ネットワーク) 愛媛県高次脳機能障害支援連絡協議会委員及び関係機関との連携 愛媛県高次脳機能障害相談支援協力機関(6病院)との連携 愛媛県内6保健所及び愛媛県心と体の健康センターとの連携 当事者家族会 愛媛高次脳機能障害がい者を支援する会「あい」との連携 (県外ネットワーク) 全国連絡会、Co研修会、環瀬戸内ネットワーク会議、四国ブロック会議参加機関との連携	(県内ネットワーク) 脳損傷友の会「青い空」(当事者家族会) 高知県内の職能団体・行政・司法関係者で構成する高知県高次脳機能障害支援委員会 (県外ネットワーク) 全国連絡協議会、コーディネーター研修会への参加
④相談支援 ■拠点機関 □県	(R2.4.1~R3.3.31) ■徳島大学病院 患者・家族からの相談 来院相談 90件 電話・メール相談 4件 訪問相談 58件 病院、その他からの相談 来院相談 0件 電話・メール相談 8件 訪問相談 5件 □県精神保健福祉センター・保健所 患者・家族からの相談 来院相談 6件 電話・メール相談 3件 訪問相談 5件 病院、その他からの相談 来院相談 0件 電話・メール相談 15件	■支援拠点機関 相談支援 ・相談実人数 63名 ・相談延べ件数 (1)患者・家族からの相談 来所 38件、電話・メール 347件、 訪問 64件 (2)関係機関等からの相談 来所 21件、電話・メール 158件、 訪問 10件	■支援拠点機関 面接相談 2854件 電話相談 2539件 訪問相談 220件 メール・書簡 2552件 会議 136件 □相談支援協力機関(県内6か所) 面接相談 158件 電話相談 55件 □保健所(県6保健所) 相談状況 ・電話相談 55件 ・来所相談 5件 ・訪問 27件 ・ケース会議 7件	■支援拠点機関 1)相談実人数 108名(新規74名) (相談元:当事者・当事者家族、回復期病院、福祉サービス事業所等) 2)相談延べ件数:305件 面接相談:44件 電話相談:248件 メール相談:3件 訪問相談:10件
⑤普及啓発 ■拠点機関 □県	□パネル展示 □広報誌・啓発記事の掲載 ■講習会開催支援 ■ポスター等情報掲示 ■リーフレット作成	■講師派遣やコンサルテーションに係るPR促進 ・支援者研修会時のPR等 ■パンフレット、ポスター等の配布 ■県内自治体、病院等 ■図書館でのパネル展示 ・県内2か所で開催(東かがわ図書館、県立図書館) ■一般対象講演会の実施 令和3年3月20日(日)13:30~16:00 講師:金澤さつき氏(当事者) 金澤ますみ氏(家族) 吉田櫻氏(支援者)	■損傷リハビリテーション講習会 ■ポスター掲載、パンフレット配布 ■メディア協力(愛媛新聞、CATV、) ■ホームページ等、掲示・掲載 ■当事者活動「えこまち」 ■年報作成 □広報誌等への情報掲載 □パンフレット配布	■家族教室(当事者家族) ■社会資源Map(啓発リーフレット/診断・協力医療機関一覧)の配布 ■家族会への協力(おしらせの送付とメールの発信) ■高次脳機能障害者支援地域研修会 ■「高次脳機能障害リハビリテーション講習会2020高知」への協力 ■沼毛市の家族会継続への協力
⑥研修 ■拠点機関 □県	■徳島高次脳機能障害がいリハビリテーション講習会の開催支援(web配信+来場)11/14(土)	■高次脳機能障害支援関係職員研修会 ・令和2年10月30日 53名参加 ・令和2年12月14日 41名参加 合計 94名 ■研修、勉強会等への講師派遣 ・障害者職業センターJCフォローアップ研修講師 ■ケース会議等への参加、コンサルテーション ・電話等で、MSWや就労機関からの問い合わせ ■県内の支援連携図の再検討を行った。	■リハビリテーション講習会(損保) ■愛媛県小児高次脳機能障害支援特別研修会 □県保健所研修会	■高次脳機能障害者支援地域研修会(専門職)1回(Zoom開催)参加者計:25人 ■要望があった施設、団体への支援技術向上のための研修会
⑥調査・研究 その他の活動	■関連協力機関における相談支援の実績調査 ■高次脳機能障害支援センター会議(5/11、9/7、1/27)	■県内の支援連携図の再検討を行った。	■連携会議参加、意見交換等、講師派遣	・社会資源Map(啓発リーフレット/診断・協力医療機関一覧)の更新のために、相談支援事業所へのアンケート(社会資源Mapの利用について) ・医療機関向けの小児の実態調査アンケート
令和2年度特に力をいれたこと	リーフレットの作成やポスター掲示など、対象者を患者以外にも拡大し、高次脳機能障害についての周知や普及啓発に務めた。連絡協議会を書面会議にて開催し、関連協力機関との情報共有を行い、連携を深めた。	・昨年中止となった、小児の高次脳機能障害をテーマとした講演会を企画した。(会場とWEB研修の同時開催) ・H30年度に作成した支援連携図について、地域の実態調査を開始した。 ・新たなパンフレット2種類(A3版とカード版)の配布を行った。	・新型コロナウイルス感染拡大により、外出の機会が減っている方々に向けて全国のコーディネーターと協力し、ラジオ体操行脚を実施した。ステイホーム期間中ではあるが、人とのつながりや笑いを感じてもらえるよう拠点機関として製作活動を行った。 ・こういった時期だからこそ研修によりモチベーションを維持、向上出来るように研修を企画した。オンライン研修ではZoom、コクリボを利用し実施した。	・今年度から研修事業をオンライン開催とした。 ・リハビリテーション講習会は情報補償を依頼したり、オンラインの環境がない方、パソコン等の操作が難しい当事者の為、会場に定員の半分以上の人数での受け入れを行った。 ・高次脳機能障害者支援地域研修会では支援者対象であるが、オンラインでの研修会に不慣れな方、パソコン操作が難しい方がいたため、今後はオンライン研修導入のための仕組みや工夫が必要。 ・オンライン開催は、県の東部と西部等の離れた地域の支援者がつながりをもてるのが利点である。一方で、地域でのつながりを強化するため、各地域ごとに分けての開催も検討していく。
今後の課題	・専門職・一般県民を対象として講演会、研修・勉強会の開催に際し、インターネット環境のない患者・家族等への支援 ・新型コロナウイルス感染症で繰り返された感染急拡大時への対応、広報等の活動中止の判断、支援の先延ばしと再開時の対応。 ・高次脳機能障害者支援体制の整備と充実。 ・普及啓発活動の拡充、相談支援人員の確保、活動のための予算確保。	・県内の支援連携図について、実態を調査し、連携図に齟齬がないかを確認した上で、最終的な図を完成させ、その仕組みづくりに取り組んでいる。	・愛媛県内の感染対策に準じて、集合研修を中止したため、拠点機関講習会と臨床高次脳機能研究会実施は中止した。損保リハ講習会、小児研修会は当初よりオンライン研修を予定したため、スムーズに実施出来た。 ・拠点機関の所在地が感染増加地域であったこともあり、個別支援においても対面で長時間傾聴するような受容面には特に緊急事態宣言期間中は極めて少なく、新規相談数も例年と比較し、減	・相談件数は増加してきたが、更なる相談窓口としての周知が必要である。 ・県内の各支援機関との連携を強化し、支援を充実させていく必要がある。 ・今後、感染症の影響で担当者会議等複数人で集まる会のオンライン化の検討が必要である。

四国ブロック高次脳機能障害支援普及事業

令和3年度実施計画〔※新規事業には下線〕

計画	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
①支援拠点機関名	徳島大学病院 (高次脳機能障害支援センター) 連絡先:患者支援センター 電話:088-633-9107	かがわ総合リハビリテーション福祉センター (かがわ総合リハビリテーション事業団) 電話:087-867-7686 FAX:087-867-0420	松山リハビリテーション病院 (高次脳機能障害支援拠点機関) 高次脳機能障害支援室 電話:089-975-7427(直通) e-mail:matsuriha.hp-koujino@jikyokai.or.jp	高知県高次脳機能障害支援拠点センター青い空 (近森リハビリテーション病院内) 電話:090-6535-6370 FAX:088-855-6710 email:hbd-support@blue-sky-kochi.com
拠点機関の役割	診断の確立、相談支援、普及啓発、研修会・講演会開催、全国連絡協議会、四国ブロック会議等への参加。	相談支援、社会復帰支援、研修会講演会等の企画・運営、普及啓発の促進、県支援連絡協議会の開催、全国連絡協議会、四国ブロック会議等への参加、地域の相談支援体制整備、支援機関のバックアップ等。	診断、相談援助・社会復帰支援、当事者活動支援(普及啓発)、家族教室の開催、講習会/研修会の企画・運営、開催、普及啓発の促進、県支援連絡協議会の開催、全国連絡会・四国ブロック会議等への参加、地域育成支援	相談支援、医療相談、家族教室、講演会・勉強会開催、高次脳機能障害支援拠点職員の特任研修会開催及び参加、広報・啓発活動、全国連絡協議会、四国ブロック会議等への参加
②支援Co.の配置	2名配置 ①相談員等 ②社会福祉士	4名配置 ①相談支援専門員 ②社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員 ③社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員 ④社会福祉士、相談支援専門員	4名配置 ①医師(兼務) ②社会福祉士(専従) ③社会福祉士(専従) ④社会福祉士(兼務)	4名配置 ①作業療法士(兼務) ②理学療法士、相談支援専門員(兼務) ③臨床心理士(兼務) ④理学療法士(専従)
Co.の主な任務	相談窓口業務、家族支援、支援普及事業として専門職・一般県民を対象として講演会開催、研修・勉強会への参加	相談支援、社会復帰支援、支援職員研修会の開催、普及啓発の促進、一般講習会の開催、県支援連絡協議会の開催、全国連絡協議会・四国ブロック会議等への参加、地域の相談支援体制整備、支援機関のバックアップ等。	相談援助業務全般(当事者・家族支援、地域支援)、講演会・研修会等の企画・運営・開催、各種研修会・連絡会等への参加、県連絡協議会への参加、講師派遣、広報・普及啓発活動、研究活動、実績の管理、当事者活動への支援	相談窓口業務、医療相談、家族支援、支援普及事業として専門職・一般県民を対象とした講演会・勉強会開催及び参加、教育委員会などへの広報・啓発活動
③協力機関ネットワーク	■四国ブロック会議への参加 □徳島県高次脳機能障がい支援連絡協議会の開催 ■徳島県高次脳機能障がい支援ネットワークづくり検討会の開催 ■高次脳機能障害家族会と合同会議の開催 (県内ネットワーク) 県内急性期・回復期病院(病棟)・県内保健所・精神保健福祉センター・障がい者相談支援事業所・居宅介護支援事業所などとの連携推進、患者会との交流会 (県外ネットワーク) 全国連絡協議会・シンポジウム、環瀬戸内ネットワーク会議、四国ブロック会議への参加	(県内ネットワーク)急性期・回復期病院MSWとの連携、行政、労働機関、教育機関、福祉施設、相談支援事業所等との連携 ■香川県高次脳機能障害支援連絡協議会開催(年1回) (県外ネットワーク)全国連絡協議会、Co研修会等への参加、環瀬戸内ネットワーク会議、四国ブロック会議への参加	(県内ネットワーク) 愛媛県高次脳機能障害支援連絡協議会委員及び関係機関との連携 愛媛県高次脳機能障害相談支援協力機関(6病院)との連携 愛媛県内6保健所及び愛媛県心と体の健康センターとの連携 当事者家族会、愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」との連携 (県外ネットワーク) 全国連絡会、Co研修会、環瀬戸内ネットワーク会議、四国ブロック会議参加機関との連携	(県内ネットワーク) 脳損傷友の会高知青い空(当事者家族会) 高知県内の職能団体・行政・司法関係者で構成する香川県高次脳機能障害支援委員会 (県外ネットワーク) 全国連絡協議会、コーディネーター研修等への参加
④相談支援 ■拠点機関 □県	■面接相談、電話相談 □精神保健福祉センターと保健所における相談支援 ■県関連協力機関での相談支援件数を集計し、支援状況の把握を図る。	■相談支援(患者・家族から) 来所、電話、訪問、メール等に対応 ■相談支援(病院、福祉関係機関等から) 来所、電話、訪問(カンファレンス参加も含む)、メール等に対応	■支援拠点機関 面接相談、電話相談、訪問相談、メール・書簡、会議 □相談支援協力機関(県内6か所) 面接相談、電話相談 □保健所(県6保健所) 相談(電話相談、来所相談)、訪問 ケース会議	■相談支援(支援コーディネーター) 面接相談・電話相談・訪問相談・カンファレンス。 ■医療相談支援(臨床心理士) 面接・電話・訪問相談・カンファレンス・検査等の形態で実施する。 ※支援コーディネーター・臨床心理士ともに、当事者・家族、医療機関、支援者などが対象。
⑤普及啓発 ■拠点機関 □県	□パネル展示 □広報誌へ啓発記事の掲載 ■講習会開催支援 ■ポスター等情報掲示 ■啓発リーフレット作成・配布	■講師派遣やコンサルテーションに係るPR促進 ■パンフレットの配布 ■図書館でのパネル展示 ■一般対象講演会(年1回)	■支援拠点機関主催講習会 ■リハビリテーション講習会(損保) ■臨床高次脳機能研究会えひめ ■支援拠点機関主催担当者会議 ■愛媛県小児高次脳機能障害支援特別研修会 ■院内研修会 ■ポスター、パンフレット配布 ■メディア協力(愛媛新聞、CATV、無料ペーパー等) ■ホームページ等、掲示・掲載 ■当事者活動支援 ■年報作成 □広報誌等への情報掲載 □各種イベント等を活用したパネル展示、パンフレット配布	■家族教室(当事者家族) ■社会資源Mao(啓発リーフレット/診断・協力医療機関一覧)の作成・配布 ■家族会への協力(おしらせの送付とメールの発信) ■要望があった施設、団体に対しての研修 ■高次脳機能障害者支援地域研修会 ■高次脳機能障害リハビリテーション講習会への協力 ■宿毛市の家族会継続への協力
⑥研修 ■拠点機関 □県	■徳島高次脳機能障がいリハビリテーション講習会の開催支援 □研修会及び座談会の開催(保健所にて実施) ・当事者、家族対象 ・行政職員、保健福祉関係者対象 ・民生児童委員対象	■高次脳機能障害支援関係職員研修会 ■研修、勉強会等への講師派遣 ■ケース会議等への参加、コンサルテーション	■リハビリテーション講習会(損保) ■臨床高次脳機能研究会えひめ ■支援拠点機関主催担当者会議 ■愛媛県小児高次脳機能障害支援特別研修会 ■院内研修会 □県保健所(6保健所)研修会等 □当事者・家族交流会の開催	■高次脳機能障害者支援地域研修会(専門職) ■高次脳機能障害支援研修会(心理士) ■高次脳機能障害支援研修会(医師・医療従事者) ■関係機関の支援技術向上のための研修会
⑥調査・研究 その他の活動	■県関連協力機関における相談支援の実績調査 ■高次脳機能障害支援センター会議 ■高次脳機能障害支援コーディネーター研修会	県内の支援連携図を基に、地域の実態を把握し、実態に即した最終的な連携図を完成させる。	■連携会議参加、意見交換等、講師派遣 ■県担当者会 ■自動車教習所との連携 ■地域障害者職業センター連携会議 ■日本高次脳機能障害学会	第3回高次脳機能障害者支援体制資源調査(市町村・地域包括支援センター、医療機関、福祉サービス提供機関向け)

1 令和2年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実績(R2.4.1~R3.3.31)

県名		福岡県			
支援拠点機関名		福岡県障がい者 リハビリテーションセンター	産業医科大学病院	久留米大学病院	福岡市立 心身障がい福祉センター
相談支援 (延件数)	直接相談	542件	378件	235件	584件
	間接相談	55件	152件	195件	512件
令和2年度の目標		①相談支援の充実 ②高次脳機能障がいの普及啓発の推進 ③研修会及び講演会の開催			
普及啓発活動		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにて情報発信 ・高次脳機能障害支援事業のリーフレット、支援ガイドを活用し関係機関へ訪問し広報・普及啓発(訪問58カ所 郵送100カ所) ・近隣県拠点機関へ訪問し当事者の情報交換及び連携強化(佐賀・熊本・山口) ・研修講師派遣 ・当事者・家族をはじめ広く関係者向け研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障がい支援事業のリーフレット及び関係者向け支援ガイドの配布 ・福岡県リハビリテーション講習会の開催 ・研修講師派遣 ・脳卒中両立支援事業の情報発信 ・患者・家族向け情報ツール「脳卒中の治療と仕事の両立お役立ちノート」を作成し、HPに掲載 ・県内の自動車教習受入自動車学校の一覧を産業医科大学リハビリテーション医学講座HPに掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障がい支援事業のリーフレット及び関係者向け支援ガイドの配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報発信 ・市内の急性期、回復期病院連携室訪問 20機関 ・福岡コージネット研修会(中止) ・出前講座、研修講師派遣(1回) ・子どもの高次脳機能障がいのリーフレットの作成
就労支援		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の企業での体験実習(随時) ・障害者職業センターとの連携強化 ・復職後の職場訪問(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業所等との連携(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業所等との連携(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労者交流会(9月に開催)
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援相談会(年12回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張家族支援相談会(田川保健福祉事務所、京築保健福祉環境事務所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・出張家族支援相談会(南筑後保健福祉環境事務所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障がい児の家族会支援 ・家族会主催行事等への協力(随時)
施設等支援					<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動支援センター「翼」との連絡会(2回) ・施設訪問支援(実施なし)
研究			<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障がい者の自動車運転再開評価に関する研究 ・高次脳機能障がい者の就労に関する研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神生理学的指標を用いた高次脳機能障がい者の検討(事象関連電位・NIRS・fMRI等) 	
調査					
会議	主催	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会:委員数24名 年1回開催(本年度は書面で実施) ・ネットワーク会議:年7回 			
	協力		<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県安全運転医療連絡協議会(年1回) 		<ul style="list-style-type: none"> ・福岡コージネット支援連絡会(メール連絡)
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障がいい焦点を絞った訓練プログラムの実施 ・高次脳機能障がい外来(毎週水曜日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週木・金曜日に開設 ・高次脳機能障害専門外来 ・自動車運転再開評価の実施 ・「脳卒中・脳外傷者の自動車運転に関する指導指針(日本リハビリテーション医学会)」の編集・執筆協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神神経科での外来診療(評価・診断が中心) ・高次脳疾患研究所でのグループ訓練の実施 ・精神科デイケアでのリハビリテーションの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害者への通所による自立訓練 ・自動車運転評価の実施

【九州沖縄ブロック】

<p>令和2年度特に力を 入れたこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練プログラムの見直し ・就労系機関との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害者の自動車運転再開評価 ・福岡県安全運転医療連絡協議会を当院が中心になり運営し、実車教習を実施する教習所が使用する「実車教習報告書Ver2.4」を作成した。医療機関と連携できる自動車学校を11校から18校へ増やし、実車教習受入自動車学校一覧を作成し、HPに掲載。 ・就労支援における他機関との連携 ・「脳卒中の治療と仕事のお役立ちノート」を作成し、各機関のHPに掲載。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受傷発症から長期経過している新規ケースへの対応および継続ケースへの定期フォローアップ（再検査含めた評価等） ・就労支援事業所等との連携（アウトリーチの活用） ・薬物療法が必要な社会的行動障害を呈する方への対応及び支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言中は、HPに生活上の注意や自宅のできる課題を掲載した。 ・近隣の関係医療機関の連携室への啓発訪問を行った。 ・身体障がい合併者の運転評価の体制作りをした。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障がい者の就労支援 ・家族支援 ・小児の高次脳機能障がい者支援 ・社会的行動障害への対応 ・自動車運転の再開について 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車運転再開に向けて医療機関での評価の統一、自動車教習所との連携の強化 ・失語症患者の自動車運転再開における高次脳機能評価 ・脳卒中両立支援の啓発 ・web研修会の場合、参加ツールを持たない、あるいは利用方法を知らない当事者・家族の参加方法について 	<ul style="list-style-type: none"> ・他疾患との鑑別診断(ASDやアルコール関連、認知症等の合併含め) ・画像所見陰性の方への対応 ・小児の高次脳機能障害者への支援 ・自動車運転再開に関わる支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での普及啓発 ・社会的行動障がいのある人の対応 ・自動車運転免許停止、取消により実車運転評価ができていない人への運転再開評価の流れ ・退院後適切な支援につなぐための医療機関との連携
<p>COVID-19感染拡大の 事業計画への影響と 対応</p>	<p>(影響)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定していた研修会の中止 ・関係者の往来自粛(対応) 必要な会議はWEB形式に変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言下では外来制限を設け、外来リハを中止した。その間の生活や仕事についての相談は電話相談にて対応を行った。 ・研修会をweb開催とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜PMのグループ訓練は4/8より休止、参加メンバーに対して電話で生活状況等の確認、助言を行った。 ・精神科デイケアにおいて院内感染対策本部の災害レベルの基準に従い、感染対策を講じながら活動を継続した。 ・コロナ禍によりアルコール依存等が顕在化し、外来治療は困難と判断された方に対して、精神科急性期治療病棟での入院加療や退院後の訪問看護等を導入した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院期間中の面会・外出制限により本人家族の理解や退院後の生活準備が進みにくい状況があり、個別に対応している。 ・主催する研修ができておらず、他研修の講師依頼もなかった。Web研修が開催できるよう準備中である。

1 令和2年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実績(R2.4.1~R3.3.31)

県名		佐賀県		長崎県	熊本県
支援拠点機関名		佐賀大学医学部 附属病院	佐賀県高次脳機能障害者 相談支援センター ぶらむ	長崎県長崎こども・女性・障害者 支援センター	熊本託麻台リハビリテーション病 院
相談支援 (延件数)	直接相談	498件	208件	135件	381件
	間接相談	261件	157件	205件	118件
令和2年度の目標		①関係機関の連携による支援 ネットワーク体制の充実(特に地 域支援拠点機関との連携の推 進) ②県民への啓発促進 ③高次脳機能障害者連携支援 ツールの活用	①圏域の行政・相談支援機関と の連携強化 ②窓口職員、支援員の障害理解 増進 ③単身者の退院後の生活支援 ④家族支援	①高次脳機能障害の普及啓発及 び支援者の資質向上 ②高次脳機能障害の医療機関と 地域の支援機関の連携強化	①相談事業を柱とした熊本県高次脳 障害支援ネットワークの体制充実 ②高次脳機能障害の普及啓発の推 進 ③熊本県内の就労支援ネット ワークの体制作り
普及啓発活動		・高次脳機能障害リハビリテー ション講習会の開催 ・情報誌の発行	・高次脳機能障害講演会開催(年 1回) ・リーフレット、会報誌発行 ・ホームページ掲載	・各種リーフレット配布、ホーム ページ、広報誌への掲載、相談支 援における医療機関一覧の活用	・研修会の実施、関係会議への参加 (オンライン研修含む) ・高次脳機能障害支援パンフレットや ホームページを活用した県民、関係 機関への広報、啓発
就労支援		障害者職業センター等への協力	・障害者職業センターや就労支援 事業所との連携強化 ・就労・復職に関するケース会議 等への参加 ・相談者への随時対応	・就労に係る関係者会議への参 加	・事例を通じた就労支援オンライン研 修の開催 ・在宅就労を含む就労支援ネット ワークの拡大。 ・就労・復職に関する事業所会議に 参加
家族支援		患者と家族の会の開催	・家族会開催(2回) ・家族勉強会(3回) ・通院同行	・小児家族懇談会(当所主催2 回、家族主催1回) ・小児学習会(2回) ・小児家族会の立ち上げ支援(1 回) ・ピアサポート支援(1回)	高次脳機能障害友の会の設立支 援
施設等支援		地域支援拠点機関向け研修会の 開催	・高次脳機能障害者への対応や 支援方法の助言 ・担当者会議参加	・医療、福祉、行政等を対象とした 研修会の開催及び障害事業所へ の個別支援等	・保健所、地域包括支援セン ター、リハ専門職を対象とした研 修会(連携と支援)を開催
研究		高次脳機能障害者支援ツールの 開発		・第57回長崎県総合公衆衛生研 究会 「長崎県における高次脳機能障害 連携状況実態調査について(報 告)」	
調査		医療機関における高次脳機能障 害に係る評価、検査及び診断実 施状況等調査		・高次脳機能障害連携状況実態 調査 ・小児高次脳機能障害にかかる 医療機関対応状況実態調査	
会議	主催	高次脳機能障害者支援連絡会議 (1回)		・高次脳機能障害支援連絡協議 会(年1回) ・保健所担当者会議(年1回)	
	協力	全国高次脳機能障害支援連絡協議会等(年1回) 佐賀県高次脳機能障害支援推進委員会(年1回) 高次脳機能障害普及事業九州ブロック会議(年1回)		・全国高次脳機能障害支援連絡 協議会等(年1回) ・高次脳機能障害支援普及事業 九州ブロック会議(年1回)	・高次脳機能障害支援普及全国 連絡協議会及び支援コーディネ ーター会議参加 ・高次脳機能障害支援普及事業 九州ブロック会議参加
その他		①定例会・支援会議・ケース会議 の開催 ②医療機関・市町・就労関係機関 への訪問 ③連携支援ノート「わたしのノ ート」利用	・就労定着支援 ・司法関係機関への啓発 ・困難ケースへの対応	・高次脳機能障害支援会議(2回) ・研修会協力(保健所、リハ専門 職団体)	・自動車運転再開支援の継続 ・地域ケア会議等への参加、
令和2年度特に力を 入れたこと		・相談支援事業(診断、治療、リハ ビリテーション等) ・地域拠点機関との連絡・相談	・直接面会ができない状況下で相 談者や当事者の正確な生活状況 や状態を把握し継続支援に努め た ・同居家族のメンタルケア	高次脳機能障害者及び児の地域 支援体制整備を目的として、高次 脳機能障害連携状況実態調査、 小児高次脳機能障害にかかる医 療機関対応状況実態調査を実 施。	・就労支援、事例検討会を通して 具体的な支援を学ぶ。 ・短期集中リハ入院の実施。 ・高次脳機能障害支援センター内 外 での感染対策の徹底。

【九州沖縄ブロック】

<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援拠点機関との連携強化 ・自動車運転再開に向けての連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族交流会開催方法 ・担当者研修会・事例検討会のオンライン化 ・復職・就労支援の多職種連携強化 	<p>医療情報を医療から福祉へ伝達する上で伝える内容、伝え方など多職種で検討するための研修が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の高次脳機能支援協力体制の強化(次年度、熊本県高次脳機能障害支援協力医療機関の指定予定) ・および相談窓口の周知をはかる。 ・友の会活動の定着(懇談会、勉強会、社会活動支援等)
<p>COVID-19感染拡大の事業計画への影響と対応</p>	<p>関係機関との会議、講習会等をWEB会議ツールを用いて開催した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電話やメールでの相談時に正確な情報把握が困難な時があった ・事業所や施設訪問が不可で継続支援が困難なケースがあった 	<p>会議、研修会などはリモート形式で概ね対応できたが、者の家族教室はIT機器の円滑な活用が困難なこともあり開催することができなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会・事例検討会をオンライン開催にした。

1 令和2年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実績(R2.4.1~R3.3.31)

県名		宮崎県		大分県	
支援拠点機関名		宮崎県 身体障害者相談センター	宮崎大学医学部 附属病院	諏訪の杜病院	社会福祉法人 農業共済別府 リハビリテーションセンター
相談支援 (延件数)	直接相談	113件	13件	135件	192件
	間接相談	127件	27件	84件	79件
令和2年度の目標		①普及啓発の促進 ②講演会の開催 ③家族会支援 ④関係機関・施設等との連携	①講演会の広報活動 ②高次脳機能障害に関わる研究の推進 ③地域の支援者ネットワーク構築	①専門的な相談支援の充実 ②関係機関との支援ネットワークの推進 ③住民および関係機関への普及・啓発事業 ④公安委員会との連携	
普及啓発活動		①情報紙・ラジオ放送、STや支援者対象の講話等の広報 ②講演会3回 計210名参加 ③大学病院・精神保健福祉センター・県(実施主体)と支援事業上の課題共有	高次脳機能障がいに関する講演会開催 1回	①市町村窓口、相談支援事業所等へ挨拶回り ②支援ハンドブック、ポスター、リーフレット等の配布 ③相談窓口の周知 ④研修会の実施	
就労支援		①ハローワークと協定の精神科医療機関を訪問するとともに、電話・リーフレット郵送で情報交換 ②支援機関会議参加2回 ③就労上の相談32件対応 ④支援者対象の講話にキャリアアシスト相談支援専門員を推薦		・情報提供及び職場上司等との面談(情報提供) ・障害者職業センター等、関係機関との連携	
家族支援		①家族会に8回9名参加県。当センターから支援事業に関する説明等実施 ②家族会の会場確保	家族会5回に6名が参加支援	・家族会の紹介 ・高次脳機能障害友の会「おおいだ」定例会への参加	家族会の紹介
施設等支援		①施設支援者や関係機関からの相談対応(127件)や研修会参加へのはたらきかけ。 ②施設訪問支援や2か所での情報交換		・情報提供及び担当者会議への参加 ・支援方法等の指導、助言	
研究			自動車運転再開に関する研究	自賠責運用益拠出事業 「高次脳機能障害者のピアサポート活動支援に関する研究」	
調査			宮崎県における高次脳機能障害支援の理解に関する調査	大分県内の高次脳機能障がい者発症者数調査の準備	
会議	主催	市町村身体障がい者福祉関係業務担当者会 1回 (コロナ感染予防対策により書面で実施)	①宮崎高次脳機能障害支援者ネットワーク交流会 1回 ②宮崎県高次脳機能障害支援拠点会議 2回	大分県高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会(年1回) 大分県高次脳機能障がい支援拠点機関会議(適宜) 大分ドライビングサポート会議(年2回)	
	協力	①高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会(Web) 2回 ②高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議(Web) 2回 ③九州ブロック会議(Web) 1回 ④みやざき就業・生活支援センター関連会議 2回 ⑤宮崎高次脳機能障害支援者ネットワーク交流会 1回 ⑥宮崎県高次脳機能障害支援拠点会議 2回	①高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会(Web) 1回 ②高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議(Web) 1回 ③九州ブロック会議(Web) 1回 ④宮崎県における高次脳機能障害者の自動車運転再開のための支援体制の構築に関する会議 2回	高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会(年2回) 高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議(年2回) 高次脳機能支援普及事業支援コーディネーター九州ブロック会議(年1回) 環瀬戸内ネットワーク会議(年1回) 障害者雇用支援連絡協議会(年1回)	
その他		大学病院の新設支援コーディネーターと情報交換、事業上の課題の共有	センターの支援コーディネーターと情報交換、事業上の課題の共有	大分県自立支援協議会(年2回) 高次脳機能障害領域のピアサポート活動推進研究各種会議(適宜)	一般就労に向けた連携強化事業会議(年3回)

<p>令和2年度特に力を 入れたこと</p>	<p>①大学病院(支援拠点機関)の新設支援コーディネーターとの支援普及事業に関する情報の共有 ②ラジオ放送、他機関情報紙への記事掲載、講話等による広報活動</p>	<p>①普及啓発の推進 ②家族会支援 ③支援者の資質向上にかかる研修の実施 ④高次脳機能障害に関する調査 ⑤脳損傷者の自動車運転再開に関する研究</p>	<p>①免許センターとの連携 ②実態調査に向けた内容検討 ③ポスター、ハンドブックの改訂⇒配布</p>	
<p>今後の課題</p>	<p>①地域の支援者ネットワーク構築への寄与及びそれに拠る当事者・家族支援の質の向上 ②広報活動の継続</p>	<p>①講演会の広報活動 ②高次脳機能障害に関する研究の推進 ③高次脳機能障害者の自動車運転再開支援体制の構築 ④地域の多種多様な支援者間のネットワーク構築 ⑤支援実績の増加</p>	<p>県内の研修未実施地域への啓発活動 医療機関の障害福祉分野に関する制度の理解不足</p>	
<p>COVID-19感染拡大の 事業計画への影響と対応</p>	<p>①関係機関訪問による連携や研修会の中止・参加数の制限、会議の中止など影響を受けた。 ②対応として、他機関主催の研修会での講話や他機関情報紙に記事掲載等を行うことで啓発の場とした。研修会はオンラインシステムを構築し1回開催し、通常の参加数を確保した。</p>	<p>①講演会について、新型コロナウイルス感染対策のため、事前申込み制として参加人数に制限を設け、大幅に規模を縮小するとともに、十分な感染対策を行い開催した。 ②会議等については、Web形式や感染状況に合わせた対面形式で行った。</p>	<p>①挨拶回り→郵送へ変更 ②研修会のオンライン化 ③来所による相談件数の減少 ④外来リハ通院数減少→自主課題の提供、電話での状況確認</p>	<p>①挨拶回りの自粛 ②研修会のオンライン化 ③県外外来希望者の対応 九州管内から入所し退所後の年金診断書の記入など(地域の医療機関の拒否あり)</p>

【九州沖縄ブロック】

1 令和2年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実績(R2.4.1~R3.3.31)

県名		鹿児島県	沖縄県	
支援拠点機関名		鹿児島県精神保健福祉センター	沖縄リハビリテーションセンター病院	平安病院
相談支援 (延件数)	直接相談	377件	496件	671件
	間接相談	175件	212件	678件
令和2年度の目標		<ul style="list-style-type: none"> 相談支援の充実 普及・啓発の促進 就労支援の充実 家族会支援 	<ol style="list-style-type: none"> 回復期病院への普及啓発活動 関係機関職員のスキルアップ研修 自動車運転再開支援の体制整備 就労支援案内ツールの作成 家族支援 	<ol style="list-style-type: none"> 従来の医療福祉資源を活用した支援体制の推進 コロナ感染症対策を実施した普及啓発活動(本島、宮古、石垣) 地域主催の研修会、カンファレンスへの協力による地域完結型支援体制の整備 精神科医療機関への普及啓発研修
普及啓発活動		<ul style="list-style-type: none"> リーフレット「高次脳機能障害者支援センターのご案内」の改訂配布 「高次脳機能障害者支援センターだより」の作成、配布 県のホームページでの情報発信 研修会開催(専門家研修) 	<ol style="list-style-type: none"> ハンドブック「障害の理解編」改訂 ハンドブック「自動車運転再開編」配布 ハンドブック「就労支援編」作成 	<ol style="list-style-type: none"> Web開催 高次脳機能障害支援普及事業講演会
就労支援		<ul style="list-style-type: none"> 就労支援機関連絡会議への参加 就労支援機関とのケース会議等、随時連携 相談者への随時対応 	障害者雇用支援連絡協議会への参加(WEB)	<ul style="list-style-type: none"> ジョブサポーター養成研修への参加 就労支援事業所とのカンファレンス 障害者雇用支援連絡協議会の参加
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 家族会活動への支援 高次脳機能障害(小児期)の子どもを持つ家族交流会(勉強会)の開催 	家族会プログラムはすべて中止	今期は中止
施設等支援		<ul style="list-style-type: none"> 随時対応 圏域別支援従事者研修会の開催 	各専門領域の支援者とのケース検討会	生活訓練施設とのカンファレンス
研究				
調査				
会議	主催	高次脳機能障害者支援ネットワーク連絡会(年1回)	<ol style="list-style-type: none"> 拠点機関連絡会議(年9回) 高次脳機能障害支援普及事業運営委員会(年9回) ※ 4~6月はコロナ感染症対策で開催中止	
	協力	<ul style="list-style-type: none"> 全国高次脳機能障害支援連絡協議会等(年2回) 関係機関主催の会議への出席 	美ら島の移動を考える委員会定例会への参加(WEB)	障害者雇用支援連絡協議会
その他		<ul style="list-style-type: none"> 自動車事故対策機構交流会への協力 ケース会議への参加 	精神保健福祉活動普及啓発イベントの運営協力	院内研修{新職員、実習・研修生、病棟、報告会}
令和2年度特に力を入れたこと		<ol style="list-style-type: none"> 就労支援(職場へ理解を得るための勉強会の実施) 家族支援(家族会と合同で交流会を開催) 普及啓発の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ハンドブック「障害理解編」の改訂 ハンドブック「自動車運転再開編」を県内全自動車学校へ配布 	コロナ感染症のなか、島嶼地区にあってもWeb講習を実施し、これまでの事業の継続が行えるように行った。
今後の課題		<ol style="list-style-type: none"> 圏域ごとの支援ネットワークの構築 県民への普及・啓発 相談支援事業所との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 運転再開支援の体制整備(免許センターとの連携) 就労支援の体制整備(就労支援案内冊子の発行) 失語症に関する普及啓発 	県民の中にはインターネットの扱いになれていない方もいらっしゃるため、そのような方にも参加できるように形も模索していく必要がある。

【九州沖縄ブロック】

<p>COVID-19感染拡大の事業計画への影響と対応</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で圏域研修会が中止になった。Webでの開催が望ましいが、環境を整える必要があり今後の課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集合研修を中止 ・調整会議等はWEB会議で対応 ・家族会の中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・集合研修を中止としWEB研修へ変更 ・調整会議等はリモート会議で対応 ・家族会の中止
---------------------------------	--	--	---

2. 令和2年度九州ブロック 研修会開催実施状況 (R2.4.1~R2.12.31)

研修会名	主催者	対象者	開催日	出席者数	講演内容(講演題目及び講演者)
福岡県					
福岡県リハビリテーション講習会	産業医科大学病院リハビリテーション医学講座	医療福祉関係者、当事者・家族	R2.9.19 (zoomによる開催)	121名	<p>テーマ:「発症から長期経過した高次脳機能障害者の生活・就労支援」</p> <p>① 症例報告と神経心理学的検査 産業医科大学病院・高次脳機能障害支援コーディネーター・中藤麻紀</p> <p>② 北九州市障害者基幹相談支援センターの取り組みと役割 北九州市障害者基幹相談支援センター・相談員・米村典子</p> <p>③ 社会保険労務士の取り組みと役割 北九州中央社会保険労務士法人・社会保険労務士・江口勝彦</p> <p>④ 就労移行支援事業所の就労支援 株式会社えん・所長・田坂祐樹</p> <p>テーマ:「高次脳機能障害の基本的知識」東京慈恵会医科大学附属第三病院・教授・渡邊 修</p>
高次脳機能障がい支援セミナー	福岡県障がい者リハビリテーションセンター	当事者・家族及び関係者	R2.12.9	130名	<p>「高次脳機能障がいについて」(基礎編)</p> <p>講師:永吉 美砂子 氏 (福岡県障がい者リハビリテーションセンター センター長)</p>
令和2年度第4回障がい者雇用セミナー	福岡市障がい者就労支援センター	一般企業及び特例子会社で障がい者雇用に携わる人	R3.3.15~22 (配信)	53名	<p>「脳の病気で後遺症のある方の就労について」</p> <p>福岡市立心身障がい福祉センター 和田 明美</p>
佐賀県					
第22回高次脳機能障害リハビリテーション講習会	佐賀県高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会(日本損害保険協会より助成)	医療・保健・福祉・介護従事者、一般、当事者、当事者家族等	R2.10.16	Web 162名	<p>講演テーマ:「高次脳機能障害の症状や診断、ならびに全国の高次脳機能障害者への支援の動き」</p> <p>講師:国立障害者リハビリテーションセンター 高次脳機能障害・情報支援センター長 深津 玲子 氏</p>
第23回高次脳機能障害リハビリテーション講習会	佐賀県高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会(日本損害保険協会より助成)	佐賀県高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会(日本損害保険協会より助成)	R3.1.9	Web 64名	<p>講演テーマ:「障害者職業センターにおける高次脳機能障害者への職業支援の実際」</p> <p>講師:佐賀障害者職業センター主任障害者職業カウンセラー 和田 耕治氏</p>
第9回 高次脳機能障害講演会	佐賀県高次脳機能障害者相談支援センターぷらむ	医療・保健・福祉・介護従事者、一般、当事者、当事者家族等	R2.11.29	25名	<p>講演 「コロナ禍の今、できること」</p> <p>講師 熊本保健科学大学 保健科学部講師 松尾 崇史 氏</p>
第2回 高次脳機能障害者の理解と支援のためのサタデーミーティング in SAGA	肥前精神医療センター	医療・保健・福祉・介護従事者、一般	R2.12.12	79名 (会場41名/ Web38名)	<p>講演① 「小児期と高次脳機能障害」</p> <p>講師 肥前精神医療センター 児童精神科医 石津 良子氏</p> <p>講演② 「老年期と高次脳機能障害」</p> <p>講師 肥前精神医療センター リハビリテーション科医長 橋本 学 氏</p> <p>特別講演 「記憶障害の理解と支援」</p> <p>講師 博愛会病院 副院長(リハビリテーション科) 岡崎 哲也 氏</p> <p>トーク・セッション</p> <p>パネリスト 岡崎 哲也 氏 石津 良子 氏 犬丸(ぷらむ佐賀 理事長)</p>

【九州沖縄ブロック】

研修会名	主催者	対象者	開催日	出席者数	講演内容(講演題目及び講演者)
長崎県					
長崎県高次脳機能障害支援研修会	長崎県高次脳機能障害支援センター	医療機関、相談支援事業所、保健所の従事者等	R2.10.25	参加端末台数 75台	①講話「社会的行動障害への対応と支援の実際 理解して対応しよう」 講師：上田敬太医師(京都大学大学院医学研究科脳病態生理学(精神医学 講師)) ②事例検討会
熊本県					
オンライン研修 高次脳機能障害支援センター：活動報告と課題	熊本県高次脳機能障害支援センター主催	県内医療機関 地域事業所	R2.5.23	12施設	「令和元年度高次脳機能支援センター活動報告」 コーディネーター竹下淳子 「アンケート調査の報告及び今後の課題について」 講師：熊本県高次脳機能支援センター長平田好文
オンライン研修 高次脳機能障害：事例検討会	熊本県高次脳機能障害支援センター主催	県内医療機関 事業所	R2.8.8	13施設 31名	「高次脳機能障害支援：事例検討会(2症例)」 講師：熊本県高次脳機能支援センター長 平田好文 ファシリテーター：竹下淳子、MSW1名
オンライン研修 高次脳機能障害の支援と連携	熊本県高次脳機能障害支援センター主催	地域包括支援センター他	R3.2.20	27事業所 55名	「高次脳機能障害の連携と支援」 講師：熊本県高次脳機能障害支援センター長 平田好文、コーディネーター竹下淳子
大分県					
高次脳機能障がい研修会	中津総合ケアセンターいずみの園	中津総合ケアセンターいずみの園職員	R2.11.25	30名	高次脳機能障がいの 基礎的理解について 社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター 高次脳機能障がい支援コーディネーター 安藤靖浩
第28回大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会	大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会	医療・福祉・行政職員、当事者、一般等	R3.1.24	56	「言語聴覚士が当事者となって気づいたこと」 三鷹高次脳機能障害研究所 所長 関 啓子先生
令和2年度大分県高次脳機能障害職種別研修会	大分県高次脳機能障害支援拠点機関	医療従事者	R3.2.13	35	「高次脳機能障害者の就労支援 ～就労準備性と機関連携～」 大分障害者職業センター 障害者職業カウンセラー 布施 順子氏
高次脳機能障がい啓発研修会	別府市自立支援者協議会	就労継続B型作業所サービス管理責任者・グループホーム管理者	R3.3.12	18	高次脳機能障がいの 基礎的理解について 社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター 高次脳機能障がい支援コーディネーター 安藤靖浩

【九州沖縄ブロック】

研修会名	主催者	対象者	開催日	出席者数	講演内容(講演題目及び講演者)
宮崎県					
高次脳機能障害特別講義	宮崎大学	医学部学生	R2.6.15	88名	脳卒中のリハビリテーション-急性期から回復期、生活期(維持期)-高次脳機能障害- 講師:鹿児島大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学・教授 下堂蘭恵先生
高次脳機能障害市民公開講座	宮崎大学医学部附属病院・宮崎県身体障害者相談センター/主催・共催	県民	R2.11.8	76名	1. 高次脳機能障害のある人への支援 講師:つくば児童発達支援センター 副理事長 森悦子先生 2. 高次脳機能障害のある人が働くために必要なこと 講師:横浜市総合リハビリテーションセンターリハビリテーション科・センター長 高岡徹先生
高次脳機能障がい研修会	宮崎県医師会/宮崎県身体障害者相談センター委託	医師、医療機関の職員等	R2.12.7	56名	社会的行動障害を中心に 講師:神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション部 部長 青木重陽先生
同上	宮崎県身体障害者相談センター	医療・福祉・保健・行政・教育機関の関係者、当事者・家族、一般の方等	R3.3.14	78名	高次脳機能障害 特に、社会的行動障害の対応 講師:東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科診療部長 教授 渡邊修先生
鹿児島県					
高次脳機能障害者支援のための専門家研修	高次脳機能障害者支援センター(精神保健福祉センター)	医療, 福祉, 介護, 行政関係者等	R2.12.8	63名	講話「高次脳機能障害の診断とリハビリテーション～社会復帰に向けて」 講師 鹿児島大学病院リハビリテーション科客員研究員 緒方敦子 先生
高次脳機能障害者理解のための講演会(一般研修)	小林春彦全国行脚講演会実行委員会	一般, 当事者, 家族, 医療, 福祉, 介護, 行政関係者等	R3.1.31(予定)	コロナ感染症対策で開催中止	講話「新型コロナが突きつける新しい障害様式, 見えない障害と令和時代のバリアフリー」 講師 小林春彦氏
沖縄県					
沖縄県失語症セミナー	沖縄リハビリテーションセンター病院	言語聴覚士			中止

3. 相談支援実績 (R2.4.1~R2.12.31)

都道府県	機関名	直接相談のべ件数					間接相談のべ件数					備考	
		電話	来 来	院 所	メール 書簡	その他 訪問 同行等	計	電話	来 来	院 所	メール 書簡		その他 訪問 同行等
福岡県	産業医科大学病院	140	238	0	0	0	378	131	17	4	0	152	
	福岡県障害者リハビリテーションセンター	108	432	2	0	0	542	51	0	4	0	55	
	久留米大学病院	132	102	1	0	0	235	150	11	34	0	195	
	福岡市立心身障がい福祉センター	338	134	89	23	23	584	416	16	57	23	512	
	小計	718	906	92	23	1,739	748	44	99	23	23	914	
佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	249	117	104	28	28	498	212	39	8	2	261	
	佐賀県高次脳機能障害者相談支援センター(ふらむ※)	121	52	11	24	24	208	123	10	1	23	157	
	小計	370	169	115	52	706	335	49	9	25	25	418	
長崎県	長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター*	109	17	0	9	135	199	3	2	1	1	205	
熊本県	熊本託麻台リハビリテーション病院	104	270	0	7	381	98	5	15	0	0	118	
	諏訪の杜病院	85	50	0	0	135	73	3	5	3	3	84	
大分県	社福) 農協共済 別府リハビリテーションセンター	71	42	4	75	192	56	14	3	6	6	79	
	小計	156	92	4	75	327	129	17	8	9	9	163	
宮崎県	宮崎県身体障害者相談センター*	71	41	1	0	113	68	9	50	0	0	127	
	宮崎大学医学部附属病院	11	2	0	0	13	20	7	0	0	0	27	
	小計	82	43	1	0	126	88	16	50	0	0	154	
鹿児島県	鹿児島県高次脳機能障害者支援センター*	301	63	9	4	377	161	9	2	3	3	175	
	平安病院	444	179	2	46	671	585	51	0	42	42	678	
沖縄県	沖縄リハビリテーションセンター病院	244	245	2	5	496	179	29	4	0	0	212	
	小計	688	424	4	51	1,167	764	80	4	42	42	890	
	合計: 15か所 (医療機関11、行政機関3*、NPO法人※1)	2,528	1,984	225	221	4,958	2,522	223	189	103	103	3,037	

【九州沖縄ブロック】

1 令和3年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業計画について

県名		福岡県		
支援拠点機関名	福岡県障がい者リハビリテーションセンター	産業医科大学病院	久留米大学病院	福岡市立心身障がい福祉センター
令和3年度の目標	①相談支援事業(継続) ②普及啓発事業(高次脳機能障害支援ガイド、リーフレットの配布) ③研修会及び講演会の実施、会議等への参加 ④利用者への就労支援の強化	・自動車運転再開に向けて医療機関での評価の統一、自動車教習所との連携の強化 ・失語症患者の自動車運転再開における高次脳機能評価 ・高次脳機能障害者の就労支援	・相談支援を中心とした事業の実施(再評価を含めた定期フォローアップ等) ・研修会及び講演会の講師派遣 ・社会的行動障害を呈する方への対応及び支援	①相談支援事業(継続) ②普及啓発事業(高次脳機能障害支援ガイド、リーフレットの配布) ③研修会及び講演会の実施、会議等への参加
普及啓発活動	ホームページにて情報発信 高次脳機能障害支援事業のリーフレット、支援ガイドを活用し関係機関へ訪問し広報・普及啓発 医療・福祉・行政従事者向け研修会 行政的高次脳機能障がいに関する広報啓発 当事者・家族など広く県民を対象とした研修会の開催 当機関主催の出前講座の開催	・高次脳機能障害支援事業のリーフレット・関係者向け支援ガイド(26,27年度作成)の増刷配布 ・福岡県リハビリテーション講習会 ・北九州市主催の講師派遣 ・脳卒中両立支援事業からの情報発信	・高次脳機能障害支援事業のリーフレット・関係者向け支援ガイドの配布 ・各種研修会への講師派遣	・ホームページによる情報発信 ・福岡コージネット研修会(年3回) ・出前講座、研修講師派遣(随時) ・子どもの高次脳機能障がいのリーフレットの配布
就労支援	利用者の企業での体験実習(随時) 障害者職業センターとの連携強化 障がい理解のための企業向け研修(随時)	・就労支援事業所等との連携(随時) ・北九州障害者就業・生活支援センター業務連絡会議(年1回) ・当院の両立支援科との連携	就労支援事業所等との連携(随時)	・就労者交流会(年2回)
家族支援	家族支援相談会(年12回) 県全体の家族会の懇談会	出張家族支援相談会(嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所、京築保健福祉環境事務所)	出張家族支援相談会(北筑後保健福祉環境事務所)	家族会主催行事等への協力(随時)
施設等支援		・施設からの高次脳機能障害者に関する相談に対応し連携を行う(随時)		地域活動支援センター「翼」との連絡会(年4回) 施設訪問支援(随時)
研究		・高次脳機能障がい者の自動車運転再開評価に関する研究	精神生理学的指標を用いた高次脳機能障がい者の検討(事象関連電位・NIRS・fMRI等)	
調査		・高次脳機能障がい者の就労に関する調査		福岡市公立学校への子どもの高次脳機能障がいに関する調査
会議	主催	高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会:委員数24名 年1回開催 ネットワーク会議:年4回		
	協力		・福岡県安全運転医療連絡協議会(年2回)	福岡コージネット支援連絡会(年2回)
その他	高次脳機能障がいに焦点を絞った訓練プログラムの実施 外部機関のアンケート調査等への協力	・高次脳機能障害専門外来(月曜午後) ・自動車運転再開評価の実施(水曜午後)	・精神神経科での外来診療 ・高次脳疾患研究所でのグループ訓練の実施(現在、休止中) ・精神科デイケアでのリハビリテーションの実施	・高次脳機能障がい者への通所による自立訓練 ・自動車運転評価の実施

1 令和3年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業計画について

県名		佐賀県		長崎県	熊本県
支援拠点機関名		佐賀大学医学部 附属病院	佐賀県高次脳機能障害者相談支 援センター ぶらむ	長崎県長崎こども・女性・障害者 支援センター	熊本託麻台リハビリテーション病 院
令和3年度の目標		①相談支援事業(継続) ②関係機関の連携による支援 ネットワーク体制の充実(特に地 域支援拠点機関との連携の推 進) ③高次脳機能障害者連携支援 ツールの活用	・相談支援の充実 ・多職種との連携強化 ・家族支援	①高次脳機能障害の普及啓発及 び支援者の資質向上 ②高次脳機能障害の医療機関と 地域の支援機関の連携強化	①熊本県における支援ネットワ ークの構築(支援協力病院の参加) ②県民への高次脳機能障害およ び支援の啓発促進 ③高次脳機能障害者・児の就労 就学支援の体制づくり
普及啓発活動		・高次脳機能障害リハビリテー ション講習会の開催 ・情報誌の発行	・高次脳機能障害講演会開催 ・相談窓口の周知 ・ホームページ・リーフレットの活 用	・各種リーフレット配布、ホーム ページ、広報誌への掲載、相談支 援における医療機関一覧の活用	・研修会等を通じた普及啓発活動 ・ホームページの充実 ・パンフレットや広報誌を活用した 普及啓発活動 ・地域ケア会議等での助言などを 通じた啓発活動
就労支援		障害者職業センターなど支援実 施事業所との連携強化	・就労支援事業所等との連携(随 時) ・障害者職業センター、ハロー ワークとの連携強化	・就労に係る関係者会議への参 加	・仕事と治療の両立支援の促進 ・在宅ワークを含めた多様な働き 方の促進 ・就労事業所との連携支援 ・就労支援パンフレットの作成
家族支援		各種手続きに関して関係機関と連 携をとり窓口を紹介	・何でも相談会開催 ・家族会開催	・家族教室(1回) ・小児家族懇談会(当所主催2 回、家族主催1回) ・小児学習会(2回) ・小児家族会の立ち上げ支援(1 回) ・ピアサポート支援(1回)	・会の定期開催 ・メンバーを対象とした勉強会
施設等支援		地域支援拠点機関向け研修会の 開催	・担当者会議参加(随時) ・高次脳機能障害者支援者研修 会開催	・医療、福祉、行政等を対象とした 研修会の開催及び障害事業所へ の個別支援等	支援協力病院向けの研修会や 支援会議の開催
研究		高次脳機能障害者支援ツールの 開発			
調査		医療機関における高次脳機能障 害に係る評価、検査及び診断実 施状況等調査			
会 議	主 催	高次脳機能障害者支援連絡会議		・高次脳機能障害支援連絡協議 会(年1回) ・保健所担当者会議(年1回)	熊本県高次脳機能障害相談支援 体制連絡調整委員会(仮)
	協 力	全国高次脳機能障害支援連絡協議会等(年2回) 佐賀県高次脳機能障害支援推進委員会(年2回) 高次脳機能支援普及事業九州ブロック会議(年1回)		・全国高次脳機能障害支援連絡 協議会等(年1回) ・高次脳機能障害支援普及事業 九州ブロック会議(年1回)	・高次脳機能障害支援普及全国 連絡協議会 ・高次脳機能障害支援普及事業 九州ブロック会議 ・熊本県精神障害者雇用支援連 絡協議会 ・熊本市障がい者自立支援協議 会 ・熊本県精神保健福祉業務説明 会
その他		①定例会・支援会議・ケース会議 の開催 ②医療機関・市町・就労関係機関 との連携強化 ③連携支援ノート「わたしのノ ート」利用	・困難事例への対応 ・高次脳機能障害単身者の生活 支援 ・成年後見制度の周知	・高次脳機能障害支援会議(2回) ・研修会協力(保健所、リハ専門 職団体)	

1 令和3年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業計画について

県名		宮崎県		大分県	
支援拠点機関名		宮崎県 身体障害者相談センター	宮崎大学医学部 附属病院	諏訪の杜病院	社会福祉法人 農業共済別府 リハビリテーションセンター
令和3年度の目標		①県内の高次脳機能障害支援に対する医療の実態把握 ②地域の支援者ネットワーク構築の推進 ③関係機関との連携に基づく広報活動の推進	①講演会の広報活動 ②高次脳機能障害に関わる研究の推進 ③地域の支援者ネットワーク構築 ④高次脳機能障害者の自動車運転再開支援体制の構築 ⑤支援実績の増加 ⑥診断評価のための専門外来の開設	①高次脳機能障がい発生状況把握 ②専門的な相談支援の充実 ③関係機関との支援ネットワークの推進 ④住民および関係機関への普及・啓発事業 ⑤公安委員会との連携	
普及啓発活動		①高次脳機能障害に関する研修会の開催(4回) ②他機関との関係構築・連携を基に情報紙への掲示や講座等を活用した広報の推進 ③可能な場合、関係機関等への訪問	①高次脳機能障害に関する講演会の開催(1回)	①市町村窓口、相談支援事業所等へ挨拶回り ②支援ハンドブック、ポスター、リーフレット等の配布 ③相談窓口の周知 ④研修会の実施	
就労支援		①ハローワークと事業協定のある精神科医療機関との関係構築 ②就労支援事業所との連携 ③当事者家族・支援者への就労上の相談・支援の実施と研修受講の勧め	①就労支援事業所との連携	・情報提供及び職場上司等との面談(情報提供) ・障害者職業センター等、関係機関との連携 就労支援マップの運用 就労支援ハンドブックの配布	
家族支援		①家族会活動の支援(定例会参加や講座開催への支援)	①家族会活動の支援	・家族会の紹介 ・高次脳機能障害友の会「おおい た」定例会への参加	家族会の紹介
施設等支援		①施設支援者等への相談・支援と研修受講の勧め ②可能な場、障害者支援施設への訪問		・情報提供及び担当者会議への参加 ・支援方法等の指導、助言	
研究			①自動車運転再開に関する研究	自賠責運用益拠出事業 「高次脳機能障害者のピアサポート活動支援に関する研究」	
調査		①県内の医療機関を対象に高次脳機能障害支援に対する調査	①宮崎県の高次脳機能障害支援に関する調査	「大分県内での高次脳機能障がいの発生状況把握のための調査研究」	
会議	主催	①市町村身体障害者関係業務担当者会(1回)	①宮崎高次脳機能障害支援者ネットワーク交流会(1回) ②宮崎県高次脳機能障害支援拠点会議	大分県高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会(年1回) 大分県高次脳機能障がい支援拠点機関会議(適宜) 大分ドライビングサポート会議(年2回) 大分ドライビング担当者会議(年2回)	
	協力	①宮崎高次脳機能障害支援者ネットワーク交流会 ②宮崎県高次脳機能障害支援拠点会議 ③高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 ④高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議 ⑤九州ブロック会議 ⑥みやざき就業・生活支援センター関係会議 ⑦宮崎職業センター関係会議	①高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 ②高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議 ③九州ブロック会議 ④宮崎県における高次脳機能障害者の自動車運転再開のための支援体制の構築に関する会議	精神障害者雇用支援連絡協議会 全国高次脳機能障害支援連絡協議会等(年2回) 高次脳機能支援普及事業九州ブロック会議(年1回)	
その他		①宮崎大学病院の支援コーディネーターとの情報交換会	①宮崎県身体障害者相談センターの支援コーディネーターとの情報交換会		

1 令和3年度高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業計画について

県名		鹿児島県	沖縄県	
支援拠点機関名		鹿児島県精神保健福祉センター	沖縄リハビリテーションセンター病院	平安病院
令和3年度の目標		①相談支援の充実 ②普及・啓発の推進 ③各圏域におけるネットワーク体制の充実 ④家族支援の充実 ⑤「高次脳機能障害支援の手引(改訂版)」の作成	①失語症に関する普及啓発活動 ②自動車運転再開支援の体制整備	①従来の医療福祉資源を活用した支援体制の推進 ②コロナ感染症対策を実施した普及啓発活動(本島、宮古、石垣) ③地域主催の研修会、カンファレンスへの協力による地域完結型支援体制の整備 ⑤精神科医療機関への普及啓発研修
普及啓発活動		・研修会の開催 ・支援ガイドやリーフレットの配布 ・「高次脳機能障害者支援センター便り」の作成及び配布	①ハンドブック「自動車運転再開編」改訂 ②ハンドブック「失語症編」作成	①Web開催 高次脳機能障害支援普及事業講演会(県民対象) ②Web開催 高次脳機能障害支援普及研修会(専門職対象)
就労支援		・就労支援機関主催の連絡会への参加 ・就労支援機関との連携強化	障害者雇用連絡会議等への参加	・ジョブサポーター養成研修への参加 ・就労支援事業所とのカンファレンス
家族支援		・家族交流会・勉強会の開催 ・家族会への支援の継続 ・相談業務や連絡会などでの家族会の案内	感染状況に応じた家族支援プログラムの実施	・コロナ感染症対策を行いながら個別での家族支援
施設等支援		・障害者支援施設「ゆすの里」通所介護事業所「リハステーションゆす」への随時支援 ※それぞれ高次脳機能障害に特化した施設	各専門領域の支援者とのケース検討会	・生活訓練施設とのカンファレンス
研究				
調査				
会議	主催	関係機関のネットワーク連絡会(年1回)	①拠点機関連絡会議(年9回) ②高次脳機能障害支援普及事業運営委員会(年9回)	
	協力	全国高次脳機能障害支援連絡協議会(年2回) 高次脳機能障害支援普及事業ブロック会議(年1回)	沖縄県作業療法士会 沖縄の移動を考える作業療法委員会および美ら島の移動を考える委員会定例会への参加	
その他			①沖縄県言語聴覚士会との連携会議の開催 ②精神保健福祉活動普及啓発イベントの運営協力	院内研修[新職員、実習・研修生、病棟、報告会]

V 令和2年度支援実績調査結果

1 令和2年度 高次脳機能障害者支援コーディネーター職種・人数

都道府県	機関名	職 種 等													延べ人数 (資格数)	実人数	備 考					
		社会福祉士	心理職	精神保健福祉士	相談支援専門員	作業療法士	言語聴覚士	生活支援員	保健師	医師	ケースワーカー	家族	介護支援専門員	行政				社会福祉主事	介護福祉士	施設長	理学療法士	その他
北海道	北海道大学病院	1		1																2	1	
	コロボックルさっぽろ													1		1				2	2	
	Re〜らぶ	1	1						1										1	4	3	A: 保健師、心理職
	こころのリカバリー 総合支援センター					2														2	2	
	渡島保健所							10												10	10	
	江差保健所							4	1											5	5	
	八雲保健所							4												4	4	
	江別保健所			3				12												15	12	3名 保健師と精神保健福祉士を併有
	千歳保健所							7												7	7	R2.10月から保健師職1名増
	倶知安保健所							9												9	9	
	岩内保健所							2												2	2	
	岩見沢保健所							10												10	10	
	滝川保健所							5												5	5	
	深川保健所							4												4	4	
	室蘭保健所							6												6	6	
	苫小牧保健所							7												7	7	
	浦河保健所							3												3	3	
	静内保健所							3												3	3	
	上川保健所			2		1		4												7	5	A: 精神保健福祉士と保健師 B: 精神保健福祉士と保健師
	名寄保健所							6												6	6	
	富良野保健所							3												3	3	
	留萌保健所			2				7				1								10	7	A, B 保健師と精神保健福祉士を併有 C 保健師と介護支援専門員を併有
	稚内保健所							6												6	6	
	北見保健所							6												6	6	
	網走保健所							3												3	3	
	紋別保健所			1				7												8	7	A: 精神保健福祉士、保健師
帯広保健所			2				18				1						1		22	18	A, B: 保健師、精神保健福祉士 C: 保健師、介護支援専門員 D: 保健師、助産師	
釧路保健所			2				15												17	15	A, B: 保健師、精神保健福祉	
根室保健所							3												3	3		
中標津保健所							3												3	3		
青森県	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	1		1			1					1			1				5	2	A: 社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員・介護福祉士を併有 B: 言語聴覚士	
	メディカルコート八戸西病院	1				1						1							3	2	A: 社会福祉士と精神保健福祉士を併有 B: 社会福祉士と相談支援専門員を併有	
岩手県	公益財団法人いわてリハビリテーションセンター	2	2																4	4		
宮城県	東北医科薬科大学病院		1				1												2	1	言語聴覚士と公認心理士併有	
	リハビリテーション支援センター					1	1												2	2		
	医療法人社団仁明会 齋藤病院	1													1				2	1	社会福祉士と介護福祉士併有	
気仙沼市立病院						1												1	1			
秋田県	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター	3		1		1													5	3	A: 社会福祉士 B: 社会福祉士と精神保健福祉士を併有 C: 社会福祉士と作業療法士を併有	
	山形県高次脳機能障がい者支援センター（国立病院機構山形病院内）	2		1															3	2	社会福祉士と精神保健福祉士を併有	
山形県庄内高次脳機能障がい者支援センター（鶴岡協立リハビリテーション病院内）	3																		3	3		
福島県	総合南東北病院	2										1							3	2	A: 社会福祉士と介護支援専門員を併有	
	あづま脳神経外科病院	2										1							3	2	A: 社会福祉士と介護支援専門員を併有	
	公益財団法人会田病院	2										1							3	2	A: 社会福祉士と介護支援専門員を併有	
	竹田総合病院	2		2															4	2	社会福祉士と精神保健福祉士を併有	
	南相馬市立総合病院	2															1		3	3	その他: 看護師	
公益財団法人ときわ会病院	1																	1	1			

都道府県	機 関 名	職 種 等														延べ人数 (資格数)	実人数	備 考					
		社会福祉士	心理職	精神保健福祉士	相談支援専門員	作業療法士	言語聴覚士	生活支援員	保健師	医師	ケースワーカー	家族	介護支援専門員	行政	社会福祉主事				介護福祉士	施設長	理学療法士	その他	
茨城県	茨城県高次脳機能障害支援センター		1					1	1						1				1	7	5	A:生活支援員と社会福祉主事を併有 1名 B:介護支援専門員、介護福祉士を併有 1名 C:その他(看護師)1名	
栃木県	足利赤十字病院	1		1																2	1	社会福祉士と精神保健福祉士を併有	
	国際医療福祉大学病院	1																	1	2	2	地域医療連携室室長代理医療連携士	
	栃木県医師会塩原温泉病院													1						1	1		
	真岡中央クリニック					1															1	1	
	リハビリテーション花の舎	1		1									1								3	1	
	栃木県立リハビリテーションセンター																		1	1	1	1	
	栃木県障害者総合相談所			1		1				1					1						4	3	精神保健福祉士と保健師を併有
群馬県	前橋赤十字病院	2		2																4	2	A・B共に社会福祉士と精神保健福祉士を併有	
埼玉県	埼玉県総合リハビリテーションセンター	4		3					1		4		1							13	9	A:社会福祉士と精神保健福祉士を併有する者3名 B:行政職でケースワーカー1名	
千葉県	千葉県千葉リハビリテーションセンター	4	2	4	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	15	7	A:社会福祉士と精神保健福祉士を併有 B:社会福祉士と精神保健福祉士と相談支援専門員と介護支援専門員と生活支援員を併有 C:心理職と精神保健福祉士を併有 D:社会福祉士と相談支援専門員を併有 E:社会福祉士と精神保健福祉士を併有	
	旭神経内科リハビリテーション病院	1	1			1	2													5	5	A:社会福祉士と精神保健福祉士を併有 B:社会福祉士と相談支援専門員を併有	
	亀田リハビリテーション病院 総合病院国保旭中央病院	2		1		1	1			1				2				2	6	16	16		
東京都	東京都心身障害者福祉センター	1	1	1		1	1						1						2	1	9	6	社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員・介護福祉士の資格を併有する者1名
神奈川県	神奈川県総合リハビリテーションセンター	2	1								3									6	3	A:社会福祉士・ケースワーカー B:社会福祉士・ケースワーカー C:心理職・ケースワーカー	
新潟県	高次脳機能障害相談支援センター			1																6	7	7	相談支援コーディネーターは1人(精神保健福祉士)。 ほか6人は、新潟県精神保健福祉センターの精神保健福祉相談員を兼務している。
富山県	富山県高次脳機能障害支援センター	4	2	2	1	3	1	1	0	6	0	0	0	0	2	1	0	0	0	23	16	A:社会福祉士と社会福祉主事を併有 B:社会福祉士と精神保健福祉士と社会福祉主事を併有 C:心理職と精神保健福祉士を併有 D:社会福祉士と介護福祉士と相談支援専門員と生活支援員を併有	
石川県	石川県高次脳機能障害相談・支援センター		1			7			3	1	1							1		14	14		
福井県	福井総合クリニック(福井県高次脳機能障害支援センター)		1			1														2	2		
山梨県	山梨県高次脳機能障害者支援センター(甲州リハビリテーション病院)	1	1	1	3	1							2							9	3	A:社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員、介護支援専門員を併有 B:作業療法士、相談支援専門員、介護支援専門員を併有 C:公認心理師、臨床心理士、相談支援専門員を併有	
長野県	総合リハビリテーションセンター	専任の職員は決めず、それぞれの部署で対応																					
	JA長野厚生連佐久総合病院	1																		1	1		
	健和会病院	2		1		2														5	4		
	桔梗ヶ原病院					2														2	2		

都道府県	機 関 名	職 種 等													延べ人数 (資格数)	実人数	備 考					
		社会福祉士	心理職	精神保健福祉士	相談支援専門員	作業療法士	言語聴覚士	生活支援員	保健師	医師	ケースワーカー	家族	介護支援専門員	行政				社会福祉主事	介護福祉士	施設長	理学療法士	その他
岐阜県	社会医療法人聖泉会 ホーリークロスセンター			1	1														2	1		
	木沢記念病院		1																1	1	他に6カ所の協力機関に各1名、圏域支援コーディネーターを計6名を配置	
静岡県	障害者生活支援センターなかいざりハ	1			1														2	1	社会福祉士と相談支援専門員を併有	
	地域生活支援センター セふりー	1			1														2	1	社会福祉士と相談支援専門員を併有	
	サポートセンターコンパス北斗	1			1														2	1	社会福祉士と相談支援専門員を併有	
	Mネット	1		2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	7	2	A:社会福祉士と精神保健福祉士、相談支援専門員、社会福祉主事を併有 B:精神保健福祉士と相談支援専門員、施設長を併有
	きずな	1		1	2								1			1				6	2	橋本:社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員、介護支援専門員、介護福祉士を併有
	オリブ	1		1	2								1			2				7	2	A:社会福祉士・精神保健福祉士・相談支援専門員・ケアマネ・介護福祉士併有 B:介護福祉士・相談支援専門員併有
愛知県	名古屋市総合リハビリテーションセンター	3		1	3														7	3	A:社会福祉士と精神保健福祉士を併有 B:社会福祉士と相談支援専門員を併有	
	高次脳機能障害愛知県東部支援センター笑い太鼓												1		1				2	1		
三重県	三重県身体障害者総合福祉センター	1			1														2	2		
滋賀県	滋賀県高次脳機能障害支援センター	1	1	1	3														6	4	A:精神保健福祉士と相談支援専門員を併有 B:臨床心理士(公認心理士)と相談支援専門員を併有	
京都府	京都府リハビリテーション支援センター(北部リハビリテーション支援センター)		2							1									3	3	心理職(公認心理師(臨床心理士)):常勤1 週28時間非常勤1 保健師:週20時間非常勤1	
	京都市高次脳機能障害者支援センター	1	1		1					1								2	6	5	その他:看護師2名(うち1名は精神保健福祉士を併有)	
大阪府	障がい者医療リハビリテーションセンター	3	1	3											1				8	4	C:社会福祉士と精神保健福祉士を併有 D:心理職 E:介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士を併有 F:社会福祉士、精神保健福祉士を併有	
	堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター	2		1															3	2	A:社会福祉士と精神保健福祉士を併有 B:社会福祉士	
兵庫県	兵庫県総合リハビリテーションセンター	1		1	1		1											2	6	4	A:社会福祉士と精神保健福祉士と相談支援専門員を併有	
奈良県	奈良県障害者総合支援センター内高次脳機能障害支援センター	1		2															3	2	A:社会福祉士と精神保健福祉士を併有	
和歌山県	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	1			1				1										3	2	A:社会福祉士と精神保健福祉士を併有	
鳥取県	野島病院 高次脳機能センター			1															1	1		
島根県	エスポアール出雲クリニック	1		1									1						4	1	これらに加え、県内7圏域に圏域支援コーディネーターを配置している。	
	松江青葉病院			1						1									1	1		
	松ヶ丘病院					1				1									2	2		
岡山県	川崎医科大学附属病院						1												1	1		
	旭川荘			1															1	1		
広島県	広島県立障害者リハビリテーションセンター	2		1	4							2			2				11	4	A:相談支援専門員と社会福祉士と精神保健福祉士と介護支援専門員を併有 B:相談支援専門員と介護福祉士と介護支援専門員を併有 C:相談支援専門員と介護福祉士を併有 D:相談支援専門員と社会福祉士を併有	
山口県	山口県立こころの医療センター		2	1															3	3		
徳島県	徳島大学病院	1						1											2	2		
香川県	かがわ総合リハビリテーションセンター	2		1	3										1				7	3	A:相談支援専門員 B:社会福祉士と相談支援専門員を併有 C:社会福祉士と精神保健福祉士、介護福祉士、相談支援専門員を併有	

都道府県	機 関 名	職 種 等															延べ人数 (資格数)	実人数	備 考				
		社会福祉士	心理職	精神保健福祉士	相談支援専門員	作業療法士	言語聴覚士	生活支援員	保健師	医師	ケースワーカー	家族	介護支援専門員	行政	社会福祉主事	介護福祉士				施設長	理学療法士	その他	
愛媛県	松山リハビリテーション病院	2								1										3			
高知県	高知県高次脳機能障害 支援拠点センター青い空	1	1		1	1											1			5	4	理学療法士と相談支援 専門員を併有	
福岡県	福岡県障がい者リハビリテ ーションセンター					1														1	1		
	福岡市立心身障がい福祉セン ター		1														1			2	2		
	久留米大学病院			1																1	1		
佐賀県	産業医科大学病院		1																	1	1		
	佐賀県高次脳機能障害者 相談支援センター ぶらむ				1							1								2	4	3	A：相談支援専門員は 家族でもある B：相談支援員が2名
	佐賀大学医学部附属病院					1											1			2	2		
長崎県	長崎こども・女性・障害者支 援センター					1	1										1			3	3		
熊本県	熊本託麻台リハビリテーショ ン病院					1														1	1		
大分県	諏訪の杜病院		1																	1	1		
	諏訪の杜病院	1	1			1	2			1									1	7	7	その他：看護師	
	農協共済別府リハビリテー ーションセンター	4		1	4															9	5	主：精神保健福祉士 サブ：社会福祉士4名は 相談支援専門員兼務	
宮崎県	宮崎県身体障害者相談セン ター											1						1		2	1	1	介護支援専門員と 看護師を併有
	宮崎大学医学部附属病院					1														1	1		
鹿児島県	鹿児島県高次脳機能障害者支 援センター			1						1										2	1	A：保健師と精神保健 福祉士を併有	
沖縄県	沖縄リハビリテーションセン ター病院	1		1		2														4	4		
	平安病院	1	2	2		1														6	4	A：社会福祉士と精神 保健福祉士、公認心理 師を併有	
合計		89	29	65	37	40	18	3	178	11	8	1	19	4	7	14	3	7	27	560	427		

2 令和2年度 高次脳機能障害支援拠点機関における相談支援実績 (R2年4月1日～R3年3月31日分)

都道府県	機 関 名	直接相談延べ件数				間接相談延べ件数				備 考
		電話	来院/ 来所	メール・ 書簡	その他 (訪問・ 出張・ 同行等)	電話	来院/ 来所	メール・ 書簡	その他 (訪問・ 出張・ 同行等)	
北海道	北海道大学病院	418	265	8	3	648	63	40	20	
	コロポックルさっぽろ	1,468	810	364	614	80	12	18	1	
	Re～らぶ	78	128	15	26	24	7	264	2	
	こころのリカバリー 総合支援センター	26	14	26	12	47	8	26	2	
	渡島保健所	2			1	1				
	江差保健所						1			
	八雲保健所									
	江別保健所	20				1				
	千歳保健所	4								
	倶知安保健所				2					
	岩内保健所					4				
	岩見沢保健所	2	2							
	滝川保健所	2	1							
	深川保健所	12	1		1	1				
	室蘭保健所	3			3	8			4	
	苫小牧保健所	9	3		3	11	1			
	浦河保健所				4					
	静内保健所	1				1	3			その他(本人宅を訪問)
	上川保健所				1					
	名寄保健所	2	2							
	富良野保健所					9		2		
	留萌保健所	3				2		1		
	稚内保健所									
	北見保健所			2	2	4				
	網走保健所	5			1					
	紋別保健所	8	2		1					
帯広保健所	8	7		5	2					
釧路保健所	10	2			11					
根室保健所										
中標津保健所										
青森県	弘前脳卒中・リハビリテーショ ンセンター	30	251	7	3	66	1	0	4	
	メディカルコート八戸西病院	3	265	2	0	5	1	1	3	
岩手県	公益財団法人いわてリハビリ テーションセンター	181	724	25	14	169	22	33	2	
宮城県	東北医科薬科大学病院	5	3	1	0	20	0	15	1	
	医療法人社団仁明会 齋藤病院	0	0	0	0	4	3	0	0	
	気仙沼市立病院	2	0	0	0	0	0	0	0	
	リハビリテーション支援セン ター	21	6	2	0	21	2	0	0	
	仙南保健福祉事務所	2	0	0	0	0	0	0	0	
	仙台保健福祉事務所	5	0	0	0	1	0	0	0	
	仙台保健福祉事務所岩沼支所	0	0	0	0	0	0	0	0	
	仙台保健福祉事務所黒川支所	0	0	0	0	0	0	0	0	
	北部保健福祉事務所	21	0	0	0	1	0	0	0	
	北部保健福祉事務所									
	栗原地域事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	
	東部保健福祉事務所	1	0	0	0	0	0	0	0	
東部保健福祉事務所 登米地域事務所	5	1	0	0	0	0	0	0		
気仙沼保健福祉事務所	8	5	0	0	13	0	0	0		
秋田県	秋田県立リハビリテーション・ 精神医療センター	32	8	1	0	156	1	136	0	
山形県	山形県高次脳機能障がい者支援 センター(国立病院機構山形病 院内)	163	75		3	118	7		2	
	山形県庄内高次脳機能障がい者 支援センター(鶴岡協立リハビ リテーション病院内)	94	70	35	1	86	5	9	1	
福島県	総合南東北病院	145	42	1	0	286	44	4	0	
	あづま脳神経外科病院	5	11	0	0	19	0	0	4	
	公益財団法人会田病院	6	7	0	0	8	1	0	0	
	竹田綜合病院	8	16			25	2			
	南相馬市立総合病院	16	18	0	0	3	5			
公益財団法人ときわ会 常磐病院	9	1		1	2					
茨城県	茨城県高次脳機能障害支援セン ター	433	89	8	187	412	16	28	34	
栃木県	足利赤十字病院	15	8			12				
	国際医療福祉大学病院	3	2			2				
	栃木県医師会塩原温泉		2							
	真岡中央クリニック					4				
	リハビリテーション花の舎病院					1				
栃木県立リハビリテーションセン ター								29		
栃木県障害者総合相談所	229	79		68	386	22		46		
群馬県	前橋赤十字病院	552	391	0	20	130	88	0	0	

都道府県	機 関 名	直接相談延べ件数				間接相談延べ件数				備 考
		電話	来院/ 来所	メール・ 書簡	その他 (訪問・ 出張・ 同行等)	電話	来院/ 来所	メール・ 書簡	その他 (訪問・ 出張・ 同行等)	
埼玉県	埼玉県総合リハビリテーションセンター	1,984	1,708	57	29	1,385	233	58	12	
	埼玉県総合リハビリテーションセンター	45	3	15	3	52	10	11	4	県内2病院に相談窓口を委託
千葉県	千葉県千葉リハビリテーションセンター	1,097	2,307	142	90	1,507	117	89	153	
	旭神経内科リハビリテーション病院	38	23	0	0	82	3	0	0	
	亀田リハビリテーション病院	7	477	0	0	23	2	0	2	
	総合病院国保旭中央病院	9	126	4	111	53	2	19	1	
東京都	東京都心身障害者福祉センター	533	9	0	1	370	1	0	4	
神奈川県	神奈川県総合リハビリテーションセンター	815	690	65	35	348	8	0	9	
新潟県	高次脳機能障害相談支援センター	484	126	30	28	369	11	71	14	
	村上地域振興局健康福祉部	6	4	0	3	11	0	0	0	
	新発田地域振興局健康福祉環境部	19	0	0	0	5	0	0	1	
	新潟地域振興局健康福祉部	14	1	0	1	20	0	0	0	
	三条地域振興局健康福祉環境部	2	2	0	0	4	0	0	0	
	長岡地域振興局健康福祉環境部	37	10	0	13	76	0	4	0	
	柏崎地域振興局健康福祉部	11	1	0	0	0	0	0	0	
	魚沼地域振興局健康福祉部	19	23	0	0	13	0	0	0	
	南魚沼地域振興局健康福祉環境部	22	2	0	7	3	0	0	0	
	十日町地域振興局健康福祉部	15	0	0	2	3	0	0	0	
	上越地域振興局健康福祉環境部	88	3	0	1	14	0	0	4	
	糸魚川地域振興局健康福祉部	71	5	0	2	57	0	0	0	
	佐渡地域振興局健康福祉環境部	40	18	0	12	23	0	0	0	
	新潟市こころの健康センター	11	1	0	0	2	0	0	0	
富山県	富山県高次脳機能障害支援センター	671	492	45	28	374	106	38	20	
石川県	石川県高次脳機能障害相談・支援センター	309	147	74	61	361	13	31	29	
福井県	福井総合クリニック（福井県高次脳機能障害支援センター）	615	761	95	67	1,196	144	178	13	県内、院内新型コロナウイルス感染対策に順じて相談支援実施。オンライン相談・ケース会議は「電話」でカウント。
山梨県	山梨県高次脳機能障害者支援センター（甲州リハビリテーション病院）	346	202	96	32	254	12	35	96	
長野県	総合リハビリテーションセンター	18	227	0	0	202	118	11	9	
	JA長野厚生連佐久総合病院	98	38	0	4	295	146	2	9	
	健和会病院	45	79	0	0	6	0	0	0	
	桔梗ヶ原病院	31	0	1	0	8	0	0	0	
岐阜県	社会医療法人聖泉会 ホーリークロスセンター	27	23	17	11	48	1	0	4	
	木沢記念病院	27	41	0	2	50	0	19	1	他に圏域別の支援協力機関6ヶ所の延べ相談件数844件
	岐阜県精神保健福祉センター	7	7	0	0	0	0	0	0	
静岡県	オリブ	224	52	1	57	49	0	0	0	
	障害者生活支援センターなかいざりハ	51	11	0	33	101	0	2	70	
	地域生活支援センター せふりー	129	18	36	80	264	12	7	11	
	サポートセンターコンパス北斗	41	13	0	116	46	1	0	8	
	Mネット	17	6	2	34	32	0	0	0	
きずな	81	4	1	19	81	1	7	3		
愛知県	名古屋市総合リハビリテーションセンター	922	1,137		34	2,118	257		140	
	高次脳機能障害愛知県東部支援センター笑い太鼓	330	28	13	398	618	17	64	121	
三重県	三重県身体障害者総合福祉センター	50	70	7	119	201	3	1	37	
滋賀県	滋賀県立リハビリテーションセンター 相談・支援係	10	46							
	滋賀県立リハビリテーションセンター 事業推進係					8		4	4	
	滋賀県高次脳機能障害支援センター	1,253	143	743	489	1,356	91	299	265	
京都府	京都府リハビリテーション支援センター	223	74	47	82	392	2	75	19	
	京都市高次脳機能障害者支援センター	1,021	540	113	105	1,114	48	216	9	
大阪府	障がい者医療リハビリテーションセンター	981	724	100	20	2,177	356	87	5	
	堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター	705	233	51	25	1,400	68	181	79	
兵庫県	兵庫県総合リハビリテーションセンター	685	391	263	22	1,337	693	176	30	
奈良県	奈良県障害者総合支援センター内高次脳機能障害支援センター	766	458	124	5	994	8	167	0	

都道府県	機 関 名	直接相談延べ件数				間接相談延べ件数				備 考
		電話	来院/ 来所	メール・ 書簡	その他 (訪問・ 出張・ 同行等)	電話	来院/ 来所	メール・ 書簡	その他 (訪問・ 出張・ 同行等)	
和歌山県	和歌山県子ども・女性・障害者 相談センター	443	41	1	300	319	4	5	31	
鳥取県	野島病院 高次脳機能センター	160	40	4	34	232	0	3	21	
島根県	障がい福祉課	476	1,472	237	224	729	166	100	166	※左記実績は、7圏域の 支援拠点の相談実績を合 計したもの
岡山県	川崎医科大学附属病院	140	424	0	1	76	2	35	11	
	旭川荘	37	49	3	10	6	0	24	0	
広島県	広島県立障害者リハビリテー ションセンター	841	574	51	4	837	38	10	3	
山口県	山口県立こころの医療センター	725	370	6	13	362	25	25	9	
徳島県	徳島大学病院	4	90	0	58	8	0	0	5	
	徳島県高次脳機能障がい協力医 療機関	13	369			85		1		
香川県	かがわ総合リハビリテーショ ンセンター	57	33		60	225	27		11	
愛媛県	松山リハビリテーション病院	873	1,277	1,840	115	1,666	1,577	712	105	
高知県	高知県高次脳機能障害 支援拠点センター青い空	93	42	2	5	87	2	1	5	
福岡県	福岡県障がい者リハビリテー ションセンター	108	432	2	0	51	0	4	0	
	福岡市立心身障がい福祉センター	338	134	89	23	416	16	57	23	
	久留米大学病院	132	102	1	0	150	11	34	0	
佐賀県	産業医科大学病院	65	8	1	0	207	247	3	0	
	佐賀県高次脳機能障害者 相談支援センター ぶらむ	121	52	11	24	123	10	1	23	
	佐賀大学医学部附属病院	249	117	104	28	212	39	8	2	
長崎県	長崎こども・女性・障害者支援 センター	109	17	0	9	199	3	2	1	
熊本県	熊本託麻台リハビリテーショ ン病院	104	270	0	7	98	5	15	0	
大分県	諏訪の杜病院	85	50	0	0	73	3	5	3	
	農協共済別府リハビリテーショ ンセンター	71	42	4	75	57	14	2	6	
宮崎県	宮崎県身体障害者相談センター	71	41	1	0	68	9	50	0	
	宮崎大学医学部附属病院	11	2	0	0	20	7	0	0	
鹿児島県	鹿児島県高次脳機能障害者支援 センター	301	63	9	4	161	9	2	3	
沖縄県	沖縄リハビリテーションセン ター病院	244	245	2	5	179	29	4	0	
	平安病院	444	179	2	46	585	51	0	42	
合計		25,440	21,350	5,009	4,203	29,539	5,090	3,532	1,811	95,974

3 令和2年度 主催した会合・対象者・参加人数 (R2年4月1日～R3年3月31日分)

都道府県	機 関 名	連絡会・協議会		研修会・講習会		ケース会議		勉強会・研究会		家族会・交流会		備 考
		開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	
北海道	北海道大学病院			2	594	19	111					
	コロポックルさっぽろ			4	106							
	Re〜らぶ					3	17	7	53			
	こころのリカバリー 総合支援センター					37	190					
	渡島保健所											
	江差保健所											
	八雲保健所											
	江別保健所											
	千歳保健所											
	倶知安保健所											
	岩内保健所											
	岩見沢保健所											
	滝川保健所									1	5	
	深川保健所											
	室蘭保健所											
	苫小牧保健所											
	浦河保健所											
	静内保健所											
	上川保健所											
	名寄保健所											
	富良野保健所											
留萌保健所									1	7		
稚内保健所												
北見保健所												
網走保健所												
紋別保健所												
帯広保健所												
釧路保健所												
根室保健所												
中標津保健所												
青森県	弘前脳卒中・リハビリテーショ ンセンター	14	135			12	125	2	13			講習会・交流会 は中止とした
	メディカルコート八戸西病院			1	47	12	78					
岩手県	公益財団法人いわてリハビリ テーションセンター	3	65	1	-	16	101					研修会は動画を作 成し配信すること で代替とした
宮城県	東北医科薬科大学病院	0	0	2	150	15	96	0	0	0	0	
	医療法人社団仁明会 齋藤病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	気仙沼市立病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	リハビリテーション支援セン ター	1	12	1	24	1	3	0	0	1	19	
	仙南保健福祉事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	仙台保健福祉事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	2	14	
	仙台保健福祉事務所岩沼支所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	仙台保健福祉事務所黒川支所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	北部保健福祉事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	
	北部保健福祉事務所 栗原地域事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	東部保健福祉事務所 登米地域事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	2	18	
気仙沼保健福祉事務所	2	5	0	0	0	0	0	0	2	9		
秋田県	秋田県立リハビリテーション・精神医療 センター	0		0		0		0		0		コロナウイルスの ため予定した研修 会等は中止した
山形県	山形県高次脳機能障がい者支援セ ンター (国立病院機構山形病院 内)			3	491					3	18	研修会・講習会 参加者数は Youtubeの動画再 生回数を含む。
	山形県庄内高次脳機能障がい者 支援センター (鶴岡協立リハビ リテーション病院内)			1	60	1	6	12	120	1	5	
福島県	福島県	1	9									支援拠点コーディネーター会 議 (書面開催)
	総合南東北病院					2	12			3	37	就労支援会議、地 域ケア会議、患 者・家族サロン
	あづま脳神経外科病院									2	14	患者・家族サロン
	公益財団法人会田病院									1	8	患者・家族サロン
	竹田総合病院									1	11	患者・家族サロン
	公益財団法人ときわ会 常磐 病院									3	27	患者・家族サロン
南相馬市立総合病院									3	16	患者・家族サロン	
茨城県	茨城県高次脳機能障害支援セン ター	2	20	2	242			12	152			
栃木県	足利赤十字病院											新型コロナウイルス の影響により開 催を延期した
	国際医療福祉大学病院											
	栃木県医師会塩原温泉											
	真岡中央クリニック					1	9					
	リハビリテーション花の舎病院											
	栃木県立リハビリテーションセ ンター			1	21							
栃木県障害者総合相談所	3	50	3	169	12	113						

都道府県	機 関 名	連絡会・協議会		研修会・講習会		ケース会議		勉強会・研究会		家族会・交流会		備 考
		開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	
群馬県	前橋赤十字病院	0	0	0	0	20	100 (延べ)	0	0	0	0	
	群馬県高次脳機能障害支援連絡協議会	1	13	0	0	0	0	0	0	0	0	
埼玉県	埼玉県総合リハビリテーションセンター	1	13	2	568	141	1,128	6	30	0	0	
千葉県	千葉県千葉リハビリテーションセンター	1	21	7	1,197	252	1,170	1	47	5	47	
	旭神経内科リハビリテーション病院	1	45	1	86			3	142	1	16	
	亀田リハビリテーション病院	0	0	0	0	1	4	0	0	5	50	
	総合病院国保旭中央病院	1	6	2	91	4	30					
東京都	東京都心身障害者福祉センター	3	159	1	450	22	106	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、連絡会、研修会は、資料配布、WEB開催、オンデマンド配信で行った。
神奈川県	神奈川県総合リハビリテーションセンター	4	47	3	83	8		5	123			協議会：支援機関ネットワーク連絡会11名・17名・政令市との情報交換会10名・9名 研修会：高次脳セミナー小児編・実務編・就労編・地域内研修 ケース会議：院内カンファレンスの集計 勉強会：事例検討会
新潟県	高次脳機能障害相談支援センター	2	32	3	368	0	0	0	0	17	123	連絡会は1回を書面、1回をオンラインにて実施。 研修会はZoomによるオンライン研修、講習会はYoutubeによるオンデマンド配信を実施。参加者数は、申込者数でカウントしている。
	村上地域振興局健康福祉部	0	0	1	23	0	0	0	0	3	36	
	新発田地域振興局健康福祉環境	0	0	1	23	0	0	0	0	3	36	
	新潟地域振興局健康福祉部	0	0	1	20	0	0	0	0	0	0	
	三条地域振興局健康福祉環境部	0	0	1	28	0	0	0	0	0	0	
	長岡地域振興局健康福祉環境部	0	0	1	83	0	0	0	0	4	22	
	柏崎地域振興局健康福祉部	0	0	1	83	0	0	0	0	0	0	
	魚沼地域振興局健康福祉部	0	0	1	17	0	0	0	0	1	5	
	南魚沼地域振興局健康福祉環境	0	0	1	17	0	0	0	0	1	5	
	十日町地域振興局健康福祉部	0	0	1	17	0	0	0	0	1	5	
	上越地域振興局健康福祉環境部	0	0	1	69	0	0	0	0	3	13	
	糸魚川地域振興局健康福祉部	0	0	1	69	2	10	0	0	3	13	
	佐渡地域振興局健康福祉環境部	0	0	1	38	1	8	0	0	3	10	
	新潟市こころの健康センター	0	0	1	20	0	0	0	0	4	43	
富山県	富山県高次脳機能障害支援センター	3	81	1	66	68	637	10	111	21	70	
石川県	石川県高次脳機能障害相談・支援センター	2	59	13	242	19	185			44	145	
福井県	福井総合クリニック（福井県高次脳機能障害支援センター）	12(*1)	91	2(*2)	103	49	287	18(*2)	294	*3	*3	*1:新型コロナウイルス感染症状況に応じて集合・メール閲覧・オンライン(ZOOM)にて実施。 *2:高次脳機能障害教室は新型コロナウイルス感染症対策のため中止。その他研修会・講習会・勉強会・研究会はオンライン(ZOOM)にて実施。 *3:家族会・交流会の主催は当事者・家族のため「協力」でかつ。
山梨県	山梨県高次脳機能障害者支援センター(甲州リハビリテーション病院)	1	25	1	40	12	136	0	0	0	0	講習会参加人数：オンライン当日アクセス件数
長野県	総合リハビリテーションセンター	1	書面開催			89	750	1	書面開催	9	1	
	JA長野厚生連佐久総合病院					265	265					
	健和会病院	8	52			68	204	9	226			
岐阜県	桔梗ヶ原病院							8	158			
	社会医療法人聖泉会 ホーリックロスセンター	0	0	0	0	2	6	0	0	0	0	
	木沢記念病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	岐阜県精神保健福祉センター	2	17	1	44	0	0	0	0	0	0	
静岡県	オリブ	1	31	1	31	3	20	0	0	0	0	
	障害者生活支援センターなかいざりハ	1	30	1	70	5	20	0	0	0	0	
	せふりー	0	0	0	0	3	14	0	0	0	0	
	サポートセンターコンパス北斗	1	19	0	0	8	47	0	0	0	0	
	Mネット	0	0	0	0	2	13	0	0	0	0	
	きずな	0	0	0	0	3	18	0	0	0	0	

都道府県	機 関 名	連絡会・協議会		研修会・講習会		ケース会議		勉強会・研究会		家族会・交流会		備 考
		開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	
愛知県	名古屋市総合リハビリテーションセンター	3	73	7	480	108	840	7	32			
	高次脳機能障害愛知県東部支援センター笑い太鼓					8	39					
三重県	三重県身体障害者総合福祉センター	1	19	1	65	0	0	0	0	0	0	
滋賀県	滋賀県高次脳機能障害支援センター	11	152	1	17	4	28	3	127	0	0	
	滋賀県立リハビリテーションセンター			4	81	67	324					○事業推進係、相談支援係合算 ○今年度より研修会はオンラインにて実施
京都府	京都府リハビリテーション支援センター	6	131	1	66	23	97					
	京都市高次脳機能障害者支援センター	1	17	8	200	9	52	0	0	6	66	
大阪府	障がい者医療リハビリテーションセンター	104	505	30	513	238	482	3	85	6	37	
	堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター	2	25	4	296	12	120	6	101	11	90	
兵庫県	兵庫県総合リハビリテーションセンター	1	11	1	25	10	62	3	21	0	0	
奈良県	奈良県障害者総合支援センター内高次脳機能障害支援センター	5	66	3	97					1	5	Web研修会はアンケート回収人数でカウント
和歌山県	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター			3	85	6	36					
鳥取県	野島病院 高次脳機能センター	1	36	1	88	0	0	0	0	0	0	・協議会はWeb開催。 ・研修会はWeb開催。参加者数はメールアドレスを基準に集計した。1つのアドレスで複数人が参加しているケースもあるが主催側で把握できないため、参加実人数は不明。
島根県	障がい福祉課	11	214	6	182	45	272	0	0	8	87	※左記実績は、7圏域の支援拠点の相談実績を合計したもの
岡山県	川崎医科大学附属病院病院	4	63	2	613	3	13			27	81	
	旭川荘			1	312							
広島県	広島県立障害者リハビリテーションセンター	0		0		63	315	6	10	0		
山口県	山口県立こころの医療センター	1	12	2	84	60	570	0	0	1	29	
徳島県	徳島大学病院	1	38	1	62	0	0	0	0	0	0	■高次脳機能障害ネットワーク会議（書面開催） ■徳島高次脳機能障害リハビリテーション講習会（web講演+集合）
	徳島県高次脳機能障がい協力医療機関					368	2,934	3	66	31	165	
香川県	かがわ総合リハビリテーションセンター	1	13	3	227			1	11			
愛媛県	松山リハビリテーション病院	1	16	2	104	34	39	0	0	1	15	
高知県	高知県高次脳機能障害支援拠点センター青い空			1	21					5	13	
福岡県	福岡県障がい者リハビリテーションセンター	7	55	2	150	222	1,510					
	福岡市立心身障がい福祉センター	12	86	1	130	1	5			2	26	
	久留米大学病院											
佐賀県	産業医科大学病院	3		1	121							Web開催のため人数把握できず。
	佐賀県高次脳機能障害者相談支援センター ぷらむ	0	0	1	25	7	32	3	12	2	20	
	佐賀大学医学部附属病院	1	22	2	190	47	141	1	10	0	0	
長崎県	長崎こども・女性・障害者支援センター	5	73	2	196	1	2	1	7	4	39	
熊本県	熊本託麻台リハビリテーション病院	0	0	3	95	19	117	0	0	1	5	
大分県	諏訪の杜病院	11	68	1	35	74	377	2	9	0	0	
	農協共済別府リハビリテーションセンター	7	51	1	35	52	104					
宮崎県	宮崎県身体障害者相談センター	0		3	210	0	0	0	0	0	0	
	宮崎大学医学部附属病院	2	8	1	76	5	15	12	60	1	25	
鹿児島県	鹿児島県高次脳機能障害者支援センター	1	53	1	63	2	12			1	19	
沖縄県	沖縄リハビリテーションセンター病院	24	150	0	-	36	51	-	-	0	-	
	平安病院	4	9	6	334	8	40					
合計		291	3,003	178	11,128	2,710	14,548	129	2,043	292	1,877	

4 令和2年度 協力した会合・対象者・参加人数 (R2年4月1日～R3年3月31日分)

都道府県	機 関 名	連絡会・協議会		研修会・講習会		ケース会議		勉強会・研究会		家族会・交流会		備 考
		開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	
北海道	北海道大学病院			2	41							
	コロボックルさっぽろ	3	6	15	67	3	12			3	6	
	Re～らぶ			1	1	4	5					
	こころのリカバリー											
	総合支援センター	7	87	2	226	3	13					
	渡島保健所											
	江差保健所											
	八雲保健所									1	3	相談会2回(参加0人)
	江別保健所											
	千歳保健所											
	倶知安保健所											
	岩内保健所						2	12				
	岩見沢保健所											
	滝川保健所											
	深川保健所											
	室蘭保健所									1	13	「脳損傷友の会コロボックル交流会 IN室蘭」
	苫小牧保健所											
	浦河保健所											なし
	静内保健所						3	22				
	上川保健所											
	名寄保健所											
	富良野保健所						2	7				
	留萌保健所											
	稚内保健所						1	17				
	北見保健所											
網走保健所												
紋別保健所												
帯広保健所												
釧路保健所				1	40							
根室保健所												
中標津保健所												
青森県	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	2	3	1	1							
岩手県	公益財団法人いわてリハビリテーションセンター	2	12	2	137	1	30			4	47	協議会の1回は書面開催
宮城県	東北医科薬科大学病院	4	6	1	20	0	0	0	0	0	0	0
	医療法人社団仁明会 齋藤病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	気仙沼市立病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リハビリテーション支援センター	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	仙南保健福祉事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	仙台保健福祉事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	仙台保健福祉事務所岩沼支所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	仙台保健福祉事務所黒川支所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	北部保健福祉事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	北部保健福祉事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	栗原地域事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	15	
	東部保健福祉事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東部保健福祉事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
登米地域事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
気仙沼保健福祉事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
秋田県	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター	1	6	0		87	696	0		0		高次脳機能障害雇用支援連絡協議会
山形県	山形県高次脳機能障がい者支援センター(国立病院機構山形病院内)	11		1		4	21					
	山形県庄内高次脳機能障がい者支援センター(鶴岡協立リハビリテーション病院内)			8	14	1	7					
福島県	総合南東北病院	2		1								全国連絡協議会・支援コーディネーター全国会議、出前講座
	あづま脳神経外科病院	2				1						全国連絡協議会・支援コーディネーター全国会議
	竹田総合病院	2										全国連絡協議会・支援コーディネーター全国会議
	南相馬市立総合病院	4										全国連絡協議会・支援コーディネーター全国会議
	公益財団法人ときわ会 常磐病院	8					3					全国連絡協議会・支援コーディネーター全国会議、就労支援部会、体制整備事業会議
茨城県	茨城県高次脳機能障害支援センター			17	226	25	144			17	158	

都道府県	機 関 名	連絡会・協議会		研修会・講習会		ケース会議		勉強会・研究会		家族会・交流会		備 考
		開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	
栃木県	足利赤十字病院	3	50									新型コロナウイルスの影響により開催を見合わせた
	国際医療福祉大学病院	3	50									
	栃木県医師会塩原温泉病院	2	29									
	真岡中央クリニック	3	50									
	リハビリテーション花の舎病院	3	50									
	栃木県立リハビリテーションセンター	3	50									
栃木県障害者総合相談所	2	40	2	59	26	191	1	6	2	28		
群馬県	前橋赤十字病院	0	0	1	105	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス蔓延等に伴い実施数は減少。研修会はweb開催。
埼玉県	埼玉県総合リハビリテーションセンター	2	79	3	750	1	4	1	10	2	21	研修会、家族会は一部オンライン開催 研修参加者は申込者数。 1か所は研修動画、資料を提供した。
千葉県	千葉県千葉リハビリテーションセンター	10	713	7	285	4	134	0	0	15	201	
	旭神経内科リハビリテーション病院	6	288	12	249	0	0	0	0	7	61	
	魚田リハビリテーション病院	4	4	1	2	1	4	0	0	5	50	
	総合病院国保旭中央病院	8	24	7	27							
東京都	東京都心身障害者福祉センター	49	54	9	22	3	4	0	0	2	2	参加者数は、協力・参加した拠点スタッフの延べ人数を記載
神奈川県	神奈川県総合リハビリテーションセンター	15		3		9				34	313	協議会：自立支援協議会9回、調整会議1回、相模原市ネットワーク会議2回 研修会：リハ講習会1回、地域講習会2回 (県立保健福祉大、障害者職業センター) ケース会議：カンファレンス(出張)9件 家族会・交流会：相模原15回、藤沢6回、小田原6回、伊勢原6回、家族会就労の会1回
新潟県	高次脳機能障害相談支援センター	0	0	7	144	7	54	0	0	3	20	
	村上地域振興局健康福祉部	2	32	0	0	0	0	0	0	0	0	
	新発田地域振興局健康福祉環境部	2	32	0	0	0	0	0	0	0	0	
	新潟地域振興局健康福祉部	2	32	0	0	0	0	0	0	0	0	
	三条地域振興局健康福祉環境部	2	32	0	0	0	0	0	0	0	0	
	長岡地域振興局健康福祉環境部	2	32	0	0	0	0	0	0	0	0	
	柏崎地域振興局健康福祉部	2	32	0	0	0	0	0	0	0	0	
	魚沼地域振興局健康福祉部	2	32	0	0	0	0	0	0	0	0	
	南魚沼地域振興局健康福祉環境部	2	32	0	0	0	0	0	0	0	0	
	十日町地域振興局健康福祉部	2	32	0	0	0	0	0	0	0	0	
	上越地域振興局健康福祉環境部	2	32	0	0	2	9	0	0	0	0	
	糸魚川地域振興局健康福祉部	2	32	0	0	2	8	0	0	0	0	
佐渡地域振興局健康福祉環境部	2	32	0	0	0	0	0	0	0	0		
新潟市こころの健康センター	3	45	0	0	0	0	0	0	0	0		
富山県	富山県高次脳機能障害支援センター	1	100	12	790	16	95	0	0	1	50	
石川県	石川県高次脳機能障害相談・支援センター	2	39			13	90					
福井県	福井総合クリニック(福井県高次脳機能障害支援センター)	1	-	1	97	46	273	1	-	-	-	新型コロナウイルス感染症状況に応じて不定期に開催
山梨県	山梨県高次脳機能障害者支援センター(甲州リハビリテーション病院)	14	21	3	32	13	19	3	3	0	0	研修会・講習会は参加者数。その他は協力した支援コーディネーター数を記載。
長野県	総合リハビリテーションセンター					1	8					
	JA長野厚生連佐久総合病院					3	9					
	健和会病院											
岐阜県	社会医療法人聖泉会ホーリックロスセンター	2	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	木沢記念病院	1	2	0	0	1	8	0	0	0	0	連絡会・協議会は「令和2年度高次脳機能障害東海ブロック連絡会議」
静岡県	岐阜県精神保健福祉センター	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オリブ	3	63	0	0	1	10	0	0	0	0	
	障害者生活支援センターなかいざりハ	4	109	2	134	4	23	0	0	0	0	
	せふりー	19	244	0	0	4	29	0	0	0	0	
	サポートセンターコンパス北斗	3	169	2	70	5	39	0	0	0	0	
	Mネット	0	0	0	0	2	13	0	0	0	0	
きずな	6	150	3	100	0	0	1	30	0	0		

都道府県	機 関 名	連絡会・協議会		研修会・講習会		ケース会議		勉強会・研究会		家族会・交流会		備 考
		開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	
愛知県	名古屋市総合リハビリテーションセンター	3	72	5	87	93	372	3	80			
	高次脳機能障害愛知県東支センター笑い太鼓	3	42	5	114	65	419			20	131	
三重県	三重県身体障害者総合福祉センター	3	0	2	0	18	0	0	0	0	0	
滋賀県	滋賀県立リハビリテーションセンター	10	434	4	157							
	滋賀県高次脳機能障害支援センター	10	434	5	211	99	693	1	15	1	10	
京都府	京都府リハビリテーション支援センター	1	13									
	京都市高次脳機能障害者支援センター	2	33	0	0	19	96	0	0	0	0	
大阪府	障がい者医療リハビリテーションセンター	6	54	35	169	126	471	7	15	0	0	
	堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター	42	42	3	7	53	265	10	41	0	0	
兵庫県	兵庫県総合リハビリテーションセンター	2	30	3	150	12	79	2	27	0	0	
奈良県	奈良県障害者総合支援センター内高次脳機能障害支援センター	5		6		5		1		1		
和歌山県	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター			1	98	27	148	2	17	1	13	
鳥取県	野島病院 高次脳機能センター	1	9	0	0	4	31	0	0	0	0	
島根県	障がい福祉課	-	-	4	106	94	-	-	-	-	-	※左記実績は、7圏域の支援拠点の相談実績を合計したもの
岡山県	川崎医科大学附属病院	0	0	2	350	2	12	0	0	9	59	
	旭川荘	2	52	1	301	2	14					
広島県	広島県立障害者リハビリテーションセンター	7	600	1	20	27	135	6	10	16	110	
山口県	山口県立こころの医療センター	12	180	1	20	0	0	0	0	0	0	
徳島県	徳島大学病院	1										■四国ブロック会議(書面開催)
	徳島大学病院	1										■徳島県高次脳機能障がい支援連絡協議会(書面開催)
	徳島大学病院							1	2			■瀬戸内ネットワークオンライン会議
	徳島大学病院	1	1									■第1回障害者雇用支援連絡協議会(集合開催)
香川県	かがわ総合リハビリテーションセンター									5	69	
愛媛県	松山リハビリテーション病院	3	55	6	128	99	195	0	0	1	20	愛媛県協議会未開催
高知県	高知県高次脳機能障害支援拠点センター青い空			1	49	4	22			7	101	
福岡県	福岡県障がい者リハビリテーションセンター	1	10									障害者雇用支援連絡協議会(高次脳機能障がい)障害者職業センター主催
	福岡市立心身障がい福祉センター	6		1	54	4	34			3		
	久留米大学病院	14		1	130							
	産業医科大学病院	12		2				2		2	4	九州ブロック会議:書面開催
佐賀県	佐賀県高次脳機能障害者相談支援センター ぶらむ	8	41	1	79	38	157	0	0	0	0	連絡会・協議会はほとんどリモート会議だった為参加人数は不明
	佐賀大学医学部附属病院	0		3		25		0		0		
長崎県	長崎子ども・女性・障害者支援センター	3	18	2	19	8	39			2	25	
熊本県	熊本託麻台リハビリテーション病院	4		15		56		48		1	5	
大分県	諏訪の杜病院	10	350	4	258	4	27	0	0	3	43	
	農協共済別府リハビリテーションセンター	10		3	43							
宮崎県	宮崎県身体障害者相談センター	10	15	1	1	0		0		8	9	
	宮崎大学医学部附属病院	2	3							6	6	
鹿児島県	鹿児島県高次脳機能障害者支援センター	5	202	1	19	2	25	1	35	1	12	
沖縄県	沖縄リハビリテーションセンター病院	5	10	-	-	-	-	-	-	-	-	
	平安病院	4	9	2	53							
合計		458	5,648	248	6,262	1,190	5,244	91	291	185	1,605	

5 令和2年度 活動内容 (R2年4月1日～R3年3月31日分)

都道府県	機 関 名	広報・啓発		情報収集・調査			診断評価・リハビリ		そ の 他
		冊子・リーフレット等	ウェブ・サイト	実態調査	機関マップ/施設調査	著述・報告	専門外来	入院/リハビリテーション	
北海道	北海道大学病院			○			○	○	
	コロポックルさっぽろ								
	Re〜らぶ	○	○						
	こころのリカバリー 総合支援センター		○				○	○	※入院設備無し
	渡島保健所	○	○						
	江差保健所	○							
	八雲保健所	○	○						
	江別保健所								
	千歳保健所								
	倶知安保健所	○	○						
	岩内保健所								
	岩見沢保健所	○	○						
	滝川保健所	○	○						
	深川保健所	○	○						
	室蘭保健所	○	○						
	苫小牧保健所	○	○						
	浦河保健所	○	○						
	静内保健所		○						保健所に送付される高次脳機能障がいに関する資料を、町や相談支援機関に情報提供した。
	上川保健所	○	○						
	名寄保健所	○							
	富良野保健所								
	留萌保健所	○	○						作成リーフレットの所内掲示及びHP掲載
	稚内保健所								
	北見保健所								
	網走保健所	○							
	紋別保健所	○	○						
	帯広保健所	○	○						
釧路保健所									
根室保健所	○							支援対象者や家族、関係機関等に必要に応じて配布した。	
中標津保健所									
青森県	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	○	○				○	○	
	メディカルコート八戸西病院	○					○	○	担当圏域障害福祉サービス視察
岩手県	公益財団法人いわてリハビリテーションセンター	○	○			○	○	○	メールニュース配信、動画配信、自主トレプログラム冊子作成、トートバッグ作成、カルタ作成、新聞掲載、研究報告 新聞社取材対 zoomでの研修会開催
宮城県	東北医科薬科大学病院	○	○				○	○	
	医療法人社団仁明会 齋藤病院								
	気仙沼市立病院								
	リハビリテーション支援センター								
	仙南保健福祉事務所								
	仙台保健福祉事務所								
	仙台保健福祉事務所岩沼支所								
	仙台保健福祉事務所黒川支所								
	北部保健福祉事務所								
	北部保健福祉事務所								
	栗原地域事務所								
東部保健福祉事務所									
東部保健福祉事務所									
登米地域事務所									
気仙沼保健福祉事務所									
秋田県	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター	○	○				○	○	
山形県	山形県高次脳機能障がい者支援センター（国立病院機構山形病院内）	○					○	○	
	山形県庄内高次脳機能障がい者支援センター（鶴岡協立リハビリテーション病院内）	○	○				○	○	
福島県	総合南東北病院	○					○	○	広報：啓発 県：チラシ、テレビ、HP 拠点：HP、冊子、チラシ
	あづま脳神経外科病院	○					○	○	
	公益財団法人会田病院	○							
	竹田総合病院	○							リーフレットは県庁作成
	南相馬市立総合病院	○							
公益財団法人ときわ会 常磐病院	○								
茨城県	茨城県高次脳機能障害支援センター	○	○	○	○				・Twitter、youtube ・実態調査：支援協力病院を対象とした高次脳機能障害対応状況調査。

都道府県	機 関 名	広報・啓発		情報収集・調査			診断評価・リハビリ		そ の 他
		冊子・リーフレット等	ウェブ・サイト	実態調査	機関マップ/施設調査	著述・報告	専門外来	入院/リハビリテーション	
栃木県	足利赤十字病院	○	○			○	○	○	
	国際医療福祉大学病院	○						○	
	栃木県医師会塩原温泉	○						○	
	真岡中央クリニック	○						○	冊子・リーフレットは県作成のもの
	リハビリテーション花の舎病院	○						○	
	栃木県立リハビリテーションセンター	○ ※1				○ ※2		○ ※3	○
栃木県障害者総合相談所	○	○		○※					※対応可能な医療機関一覧の更新
群馬県	前橋赤十字病院	○	○	×	×	×	△	×	高次脳機能障害専門外来の標榜はなし。 脳神経外科・精神神経科にて対応。
埼玉県	埼玉県総合リハビリテーションセンター	○	○			○	○	○	
千葉県	千葉県千葉リハビリテーションセンター	○	○	○		○	○	○	
	旭神経内科リハビリテーション病院						○	○	高次脳集団 さくらの会
	亀田リハビリテーション病院				計画のみ、実施できず。		○	○	
	総合病院国保旭中央病院	○	○			○		○	
東京都	東京都心身障害者福祉センター	○	○						「地域支援ハンドブック改訂第五版」作成
神奈川県	神奈川県総合リハビリテーションセンター	○	○	○	○		○	○	
新潟県	高次脳機能障害相談支援センター	○	○		○				リーフレットの配布、ホームページの活用、ガイドブックの更新、受診可能な医療機関一覧の公表
	村上地域振興局健康福祉部	○							
	新発田地域振興局健康福祉環境部								
	新潟地域振興局健康福祉部	○	○						リーフレット、チラシを所内開架書棚に設置。部ホームページで相談窓口の周知。
	三条地域振興局健康福祉環境部	○							
	長岡地域振興局健康福祉環境部	○							・県作成のリーフレットを入口に設置 ・部ホームページ上で家族のつどいを周知
	柏崎地域振興局健康福祉部								
	魚沼地域振興局健康福祉部	○							
	南魚沼地域振興局健康福祉環境部	○							
	十日町地域振興局健康福祉部								
	上越地域振興局健康福祉環境部	○							
	糸魚川地域振興局健康福祉部	○							
	佐渡地域振興局健康福祉環境部								
新潟市こころの健康センター	○								冊子：はたらくためのガイドブック ※1→専門外来は常設していないが、病院の外来にて診断評価を実施。 ※2→リハビリは外来で対応。 他：研修等への参加。
富山県	富山県高次脳機能障害支援センター	○	○	○			○ ※1	○ ※2	
石川県	石川県高次脳機能障害相談・支援センター	○	○						
福井県	福井総合クリニック（福井県高次脳機能障害支援センター）	○	○	○		○	○	○	高次脳機能障害患者数調査、書籍・DVDレンタル、神経心理学的検査用具レンタル
山梨県	山梨県高次脳機能障害者支援センター（甲州リハビリテーション病院）	○	○		○		○	○	支援マップ更新、支援ガイドブック作成、ホームページ更新、SNS配信等。 診断評価・リハビリは併設病院にて実施。
長野県	総合リハビリテーションセンター	○	○				○	○	リーフレットは県と共同作成
	JA長野厚生連佐久総合病院	○						○	リーフレットは県と共同作成
	健和会病院	○							リーフレットは県と共同作成
	桔梗ヶ原病院	○	○				○	○	リーフレットは県と共同作成
岐阜県	社会医療法人聖泉会 ホーリークロスセンター	○							
	木沢記念病院						○	○	入院での評価・リハビリは行っていない
	岐阜県精神保健福祉センター	○	○						
静岡県	オリブ	○	○						
	障害者生活支援センターなかいずりハ	○	○				○	○	
	地域生活支援センター せふりー	○	○						
	サポートセンターコンパス北斗	○	○	○	○	○			*リーフレットは県で作成 ・法人パンフレット、ホームページ、広報誌作成 ・中部保健所とともに、志太棲原圏域の支援フローチャートやリーフレットを作成
	Mネット きずな	○	○						
愛知県	名古屋市総合リハビリテーションセンター	○	○	○		○	○	○	頭部外傷後の高次脳機能障害者の実態調査2020、ポスター掲示、脳神経外傷学会シンポ、生活訓練・就労移行支援
	高次脳機能障害愛知県東支センター笑い太鼓	○				○			事業説明、連携と協力の依頼等

都道府県	機関名	広報・啓発		情報収集・調査			診断評価・リハビリ		その他
		冊子・リーフレット等	ウェブサイト	実態調査	機関マップ/施設調査	著述・報告	専門外来	入院/リハビリテーション	
三重県	三重県身体障害者総合福祉センター	○	○					○	入院設備なし
滋賀県	滋賀県高次脳機能障害支援センター	○	○	○		○			○高次脳機能障害支援専門員養成フォローアップ研修の実施、県より滋賀県高次脳機能障害専門相談支援員（現任者・実務者）として認証書の発行 ○滋賀県高次脳機能障害広域調整強化事業の実施（6圏域/7圏域）、実態調査 ○高次脳機能障害支援専門チームを設置しアウトリーチ事業実施 ○障害者総合福祉推進事業受託「高次脳機能障害者のグループホーム等を活用した住まいの支援の実態調査研究報告書」を取りまとめ全国の拠点機関に配送した。 ○厚労科研事業 班会議参画 ○高次脳機能障害グループホーム開設に向けた検討会および視察
	滋賀県立リハビリテーションセンター		○	○				○	○高次脳機能障害に関わるすべての支援者を対象に研修会を実施。 ○高次脳機能障害等に係る専門相談 ○県内の医療を対象にした医療実態調査の実施
京都府	京都府リハビリテーション支援センター		○		○		○	○	※1 京都府立医科大学附属病院の神経内科にて実施 ※2 高次脳機能障害者を対象としたグループワークを全20回実施
	京都市高次脳機能障害者支援センター	○	○		○		○	○※	ホームページ、Facebook、センターだより、市民新聞等での情報発信。市民も対象とした出張講座の実施。 ※就労に関する「作業体験プログラム」を毎週実施
大阪府	障がい者医療リハビリテーションセンター	○	○		○	○	○	○	「高次脳機能障がいのある方への支援ヒント集～府内事業所の実践例より～」の発行。ホームページの掲載情報更新。府内医療機関へのアンケート調査の実施。
	堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター	○	○			○		○	施設紹介DVD、施設だより・ハンドブック
兵庫県	兵庫県総合リハビリテーションセンター	○	○	○		○		○	
奈良県	奈良県障害者総合支援センター内高次脳機能障害支援センター	○	○				○（検査・診断のみ）		パンフレットの配布、ホームページの更新、ラジオ体操動画撮影（家族会HP掲載用）
和歌山県	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	○	○						
鳥取県	野島病院 高次脳機能センター	○	○					△	○ ・専門外来は設置しておらず通常の脳外科外来で対応。 ・現行のウェブサイトは県庁公式ホームページ内に設置。新たに病院ホームページ内への設置に向け、準備中。
島根県	障がい福祉課	○	○	○			○	○	・7圏域に相談支援拠点機関を設置し、圏域ごとにネットワーク会議を開催した。 ・研修会の開催（圏域単位） ・高次脳機能障がい支援普及啓発リーフレットを作成、配布
岡山県	川崎医科大学附属病院	○	○			○	○	○	①高次脳外来、グループワーク、家族支援の実施 ②ひらた旭川荘とともに、各ワーキンググループ活動の実施 ・医療WG ・地域連携WG ・福祉WG ・自動車運転WG ・小児WG ③家族会活動への協力
	旭川荘	○	○						失語症者に対する日中活動の実施（週1回）
広島県	広島県立障害者リハビリテーションセンター	○	○					○	
山口県	山口県立こころの医療センター	○	○	○				○	
徳島県	徳島大学病院	○	○	○		○	○	○	高次脳機能障害支援窓口案内リーフレット作成、ホームページ
香川県	かがわ総合リハビリテーションセンター	○	○				○	○	・東かがわ市立図書館にて普及啓発のパネル展示を実施（令和2年9月1日～9月22日） ・香川県立図書館にて普及啓発のパネル展示を実施（令和3年2月23日～3月14日） ・講習会（令和3年3月20日）はオンラインと県内の会場で同時開催
愛媛県	松山リハビリテーション病院	○	○				○	○	研修

都道府県	機 関 名	広報・啓発		情報収集・調査			診断評価・リハビリ		そ の 他
		冊子・リーフレット等	ウェブ・サイト	実態調査	機関マップ/施設調査	著述・報告	専門外来	入院/リハビリテーション	
高知県	高知県高次脳機能障害支援拠点センター青い空	○	○		○				
福岡県	福岡県障がい者リハビリテーションセンター	○	○	○		○	○	○	アンケート協力6件 インタビュー協力1件
	福岡市立心身障がい福祉センター	○	○					○	通所による自立訓練を実施
	久留米大学病院	○	○				○		
佐賀県	産業医科大学病院	○	○				○	○	
	佐賀県高次脳機能障害者相談支援センター ぶらむ	○	○		○	○			
佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	○	○				○		連携支援ノート「わたしのノート」増設、情報誌第5号発行
	長崎県	長崎子ども・女性・障害者支援センター	○	○	○	○	○	○	(入院設備なし)
熊本県	熊本託麻台リハビリテーション病院	○	○			○	○	○	テレビ出演、ガイドブック作成、オンライン講習会、事例検討会
大分県	諏訪の杜病院	○	○		○		○	○	
	農協共済別府リハビリテーションセンター	○	○				○	○	
宮崎県	宮崎県身体障害者相談センター	○	○						ラジオ放送・ニュースレター発行・施設訪問・リーフレット等郵送
	宮崎大学医学部附属病院			○			○	○	
鹿児島県	鹿児島県高次脳機能障害者支援センター	○	○			○			・県センターが作成したものを研修会等で配布（高次脳機能障害者支援センター案内リーフレット・センター日より） ・ホームページの掲載 ・令和2年度公衆衛生学会誌上発表「高次脳機能障害者支援センターにおける支援状況と今後の課題」
沖縄県	沖縄リハビリテーションセンター病院	○	○	-	○	-	○	○	
	平安病院	○	○					○	ラジオを通じて広報を行った。

6 令和2年度 高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会の設置状況

都道府県	機関名	委員構成	委員人数	開催状況	備考
北海道	北海道大学病院				
	コロボックルさつぽろ				
	Re〜らぶ				
	こころのリカバリー				
	総合支援センター				
	渡島保健所				
	江差保健所				
	八雲保健所				
	江別保健所				
	千歳保健所				
	倶知安保健所				
	岩内保健所				
	岩見沢保健所				
	滝川保健所				
	深川保健所				
	室蘭保健所				
	苫小牧保健所	医療機関(急性期、回復期、精神科)、市町、障がい福祉関係事業所、包括支援センター、ハローワーク、保健所	20機関	年1回	
	浦河保健所				
	静内保健所				
	上川保健所				
	名寄保健所				
	富良野保健所				
	留萌保健所				
稚内保健所					
北見保健所					
網走保健所					
紋別保健所					
帯広保健所					
釧路保健所					
根室保健所					
中標津保健所					
青森県	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	支援拠点機関、県、医療機関、保健所、教育関係者、障害者就労支援施設、当事者家族会	14	年1回	青森県高次脳機能障害及び関連障害に対する支援普及事業検討委員会(紙上会議にて実施)
岩手県	公益財団法人いわてリハビリテーションセンター	連絡協議会(支援拠点機関、県、医療機関、障害者支援施設、障害者就労支援施設、教育庁、当事者家族会、市町村、障害者職業センター、教育機関、医師会等)	21	年2回	岩手県高次脳機能障がい者支援普及事業連絡協議会
宮城県	東北医科薬科大学病院	宮城県高次脳機能障害者支援普及事業ネットワーク会議	12	年1回	
	リハビリテーション支援センター				
	医療法人社団仁明会 齋藤病院				
	気仙沼市立病院				
	仙南保健福祉事務所				
	仙台保健福祉事務所				
	仙台保健福祉事務所岩沼支所				
	仙台保健福祉事務所黒川支所				
	北部保健福祉事務所				
	北部保健福祉事務所				
	栗原地域事務所				
東部保健福祉事務所					
東部保健福祉事務所					
登米地域事務所					
気仙沼保健福祉事務所					
秋田県	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター	医師2名、障害者職業センター職員1名、指定相談事業所職員1名、精神保健福祉センター職員1名、拠点病院職員1名	6	年1回	高次脳機能障害支援普及事業相談支援ネットワーク委員会(県庁に設置)
山形県	山形県高次脳機能障がい者支援センター(国立病院機構山形病院内)	医師、事務部、看護部、医事課、作業療法士、言語聴覚士、コーディネーター通所教室スタッフ等	18	年6回	(院内)高次脳機能障がい者支援センター運営委員会
福島県	総合南東北病院	支援拠点機関、県、医師会、医療機関、介護支援専門員協会、地域包括・在宅介護支援センター協議会、相談支援専門員協会、自立支援協議会、作業療法士会、教育庁義務教育課、当事者家族会	19	年1回	福島県高次脳機能障がい者支援会議
茨城県	茨城県高次脳機能障害支援センター	精神科医、回復期リハ医、神経内科医、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、職業センター、障害者支援施設、家族会	10	年2回	茨城県高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会
	茨城県高次脳機能障害支援センター	モデル事業委託病院担当コーディネーター(理学療法士、ソーシャルワーカー)	2	年1回	高次脳機能障害支援協力病院モデル事業高次脳機能障害支援コーディネーター担当者会議
栃木県	栃木県障害者総合相談所	当事者家族会、学識経験者、医療機関、保健福祉機関、労働機関、支援拠点機関、県	18	年2回	栃木県高次脳機能障害支援連携協議会(うち1回は書面開催とした)
		支援拠点機関、県	11	年1回	栃木県高次脳機能障害支援コーディネーター連絡会(書面開催)

都道府県	機関名	委員構成	委員人数	開催状況	備考
群馬県	群馬県高次脳機能障害支援連絡協議会	家族会、支援拠点機関、県、医療ソーシャルワーカー職能団体、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、相談支援事業所、市町村、障害者支援施設	16	年1回	
埼玉県	埼玉県総合リハビリテーションセンター	医師、医療関係、障害者施設関係、就労支援関係、市町村代表、県（精神保健分野、拠点施設）	14	年1回	県障害者福祉推進課主催 R2年度は未実施
千葉県	千葉県	支援拠点機関、医療関係団体、福祉・就労支援団体、家族会、支援拠点機関、管轄市町村、行政関係機関	23	令和2年度は中止	千葉県高次脳機能障害支援ネットワーク連絡協議会
	千葉県千葉リハビリテーションセンター	千葉県、新規支援拠点機関	9	年1回	新規高次脳支援拠点機関打合せ
	千葉県千葉リハビリテーションセンター	千葉県、支援拠点機関	10	年1回	千葉県高次脳機能障害ネットワーク担当者会議
	亀田リハビリテーション病院	支援拠点機関、医療機関、保健所、障害者支援施設、障害者就労支援施設、教育庁、当事者家族会	16	年2回	企画会議
	旭神経内科リハビリテーション病院	設置無し			
東京都	東京都心身障害者福祉センター	学識経験者、医療機関、精神保健関係機関、障害者支援施設、障害者就労支援機関、教育関係機関、区市町村、当事者家族会	15	2回	1回目：書面開催 2回目：WEB開催
神奈川県	神奈川県総合リハビリテーションセンター	支援拠点機関、県、政令市、学識経験者、医療ソーシャルワーカー協会、更生相談所、職域団体、精神保健センター、障害者施設協会、当事者家族会など	17	年1回	R3年2月3日開催
新潟県	新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会	支援拠点機関、県、医療機関、保健所、作業療法士会、言語聴覚士会、医療ソーシャルワーカー協会、介護支援専門員協会、相談支援専門員協会、障害者職業センター、障害福祉サービス事業所、障害者就業・生活支援センター、大学、当事者家族	12	年1回	
富山県	富山県高次脳機能障害支援センター	支援拠点機関、県、医療機関、保健所、障害者支援施設、障害者就労支援施設、教育庁、当事者家族会	18	年1回	
石川県	石川県高次脳機能障害相談・支援センター	学識経験者、職能団体、当事者団体、就労支援機関、教育機関、市町	17	年1回	石川県地域リハビリテーション推進検討会議
福井県	福井総合クリニック（福井県高次脳機能障害支援センター）	支援拠点機関、県、医師会（医療）、圏域の中核医療機関2機関（医療）、福井県立大学（学識経験者）、障害者職業センター（就労支援）、精神障害者福祉サービス事業所連絡協議会（福祉）、福井県介護支援専門員協会（福祉・介護保険領域）、福井県障害者相談支援専門員協会（福祉・障害福祉領域）、特別支援教育センター（就学支援）、福井県脳外傷友の会（当事者団体）、福井市障がい福祉課（行政・地域生活支援）、健康福祉センター（行政・地域生活支援）	19	年1回	新型コロナウイルス感染対策のためオンライン（ZOOM）にて実施
山梨県	山梨県高次脳機能障害者支援センター（甲州リハビリテーション病院）	当事者・家族、支援拠点機関、県、県関係機関、市長会代表、町村会代表、医療機関、障害者支援関係者、介護支援関係者、学識経験者等	25	年1回	山梨県高次脳機能障害者支援ネットワーク連携協議会（書面開催）
長野県	総合リハビリテーションセンター	支援拠点病院、県	16	年1回	高次脳機能障害支援拠点病院連絡協議会
	JA長野厚生連佐久総合病院	支援拠点病院、県	16	年1回	高次脳機能障害支援拠点病院連絡協議会
	健和会病院	支援拠点病院、県	16	年1回	高次脳機能障害支援拠点病院連絡協議会
	桔梗ヶ原病院	支援拠点病院、県	16	年1回	高次脳機能障害支援拠点病院連絡協議会
岐阜県	社会医療法人聖泉会 ホーリックロスセンター	なし			
	岐阜県健康福祉部保健医療課	支援拠点病院等で医療に関わる代表者、社会復帰に関わる機関の代表者、当事者団体の代表、学識経験者	12	1回 (web開催)	名称「岐阜県高次脳機能障害対策支援推進会議」 会議事務局は拠点機関ではなく本庁担当課
静岡県	サポートセンターコンパス北斗	静岡市保健所精神保健福祉課、静岡市地域リハビリテーション推進センター、委託相談支援事業所、医療機関等	10	年4回	*地域リハビリテーション推進連絡会高次脳機能障害部会として活動している。
	きずな				なし
	地域生活支援センター せふりー	医師・作業療法士（2名）・看護師・保健所・サポートネットしずおか・せふりー	7	1回	
	Mネット				なし
	障害者生活支援センターなかいざりハオリブ				なし
愛知県	名古屋市総合リハビリテーションセンター	県（障害福祉・労政・精神保健福祉センター・教育センター）、名古屋市（障害福祉・精神保健福祉センター・教育センター）、障害者支援施設、障害者職業センター、医療ソーシャルワーカー協会、当事者家族会、学識経験者、支援拠点機関	21	年2回	
三重県	三重県身体障害者総合福祉センター	支援拠点機関、県、医療機関、障害者職業センター、医療ソーシャルワーカー協会、学識経験者（大学）、当事者家族会	19	年1回	Web会議

都道府県	機関名	委員構成	委員人数	開催状況	備考
滋賀県	高次脳機能障害支援センター	支援拠点機関、県、県立リハビリテーションセンター、医療機関、保健所、障害者支援施設、職業センター、障害者就労支援事業所、生活支援事業所、自立支援協議会、当事者家族会	23	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	滋賀県高次脳機能障害対策推進会議
		支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、市、相談支援事業所、障害者就労支援施設、障害者就業・生活支援センター、医療機関	10	2回	甲賀圏域高次脳機能障害支援機関連絡調整会議
		支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、医療機関、市、居宅介護支援事業所、相談支援事業所、障害者就業・生活支援センター	25	1回	東近江圏域高次脳機能障害医療福祉ネットワーク会議
		支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、市、障害者支援施設、相談支援事業所、当事者家族会、居宅介護支援事業所	14	2回	湖北圏域高次脳機能障害関係機関連絡調整会議
		支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、市、障害者支援施設、相談支援事業所、当事者家族会、居宅介護支援事業所、障害者就業・生活支援センター	15	新型コロナウイルス感染症拡大のため次年度に延期	湖西圏域高次脳機能障害関係機関連絡調整会議
		支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、医療機関、市、居宅介護支援事業所、相談支援事業所、障害者就業・生活支援センター、障害者支援施設	17	2回(うち1回は延期)	大津圏域高次脳機能障害関係機関連絡調整会議
		支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、医療機関、市、居宅介護支援事業所、相談支援事業所、障害者就業・生活支援センター、障害者支援施設	18	2回	湖東圏域高次脳機能障害関係機関連絡調整会議
	滋賀県立リハビリテーションセンター	支援拠点機関、県、県立リハビリテーションセンター、医療機関、保健所、障害者支援施設、職業センター、障害者就労支援事業所、生活支援事業所、自立支援協議会、当事者家族会	23	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	滋賀県高次脳機能障害対策推進会議
		支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、市、相談支援事業所、障害者就労支援施設、障害者就業・生活支援センター、医療機関	10	2回	甲賀圏域高次脳機能障害支援機関連絡調整会議
		支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、医療機関、市、居宅介護支援事業所、相談支援事業所、障害者就業・生活支援センター	25	1回	東近江圏域高次脳機能障害医療福祉ネットワーク会議
		支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、市、障害者支援施設、相談支援事業所、当事者家族会、居宅介護支援事業所	14	2回	湖北圏域高次脳機能障害関係機関連絡調整会議
		支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、市、障害者支援施設、相談支援事業所、当事者家族会、居宅介護支援事業所	15	新型コロナウイルス感染症拡大のため次年度に延期	湖西圏域高次脳機能障害関係機関連絡調整会議
		支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、医療機関、市、居宅介護支援事業所、相談支援事業所、障害者就業・生活支援センター、障害者支援施設	17	2回(うち1回は延期)	大津圏域高次脳機能障害関係機関連絡調整会議
		支援拠点機関、県立リハビリテーションセンター、保健所、医療機関、市、居宅介護支援事業所、相談支援事業所、障害者就業・生活支援センター、障害者支援施設	18	2回	湖東圏域高次脳機能障害関係機関連絡調整会議
京都府	京都市高次脳機能障害者支援センター	学識経験者(医師・大学教授)、医師会、市、医療、福祉関連職能団体	17	年1回	京都市地域リハビリテーション推進会議の中で高次脳機能障害の部門について報告、検討を行った(紙面開催)。
大阪府	障がい者医療リハビリテーションセンター	当事者家族会、市町村、障がい者支援施設、障害者職業センター、社会福祉協議会、医療機関、医師会	12	年2回	大阪府高次脳機能障がい相談支援体制連携調整部会
	堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター	医療機関、総合相談情報センター(障害者基幹相談支援センター)、障害者就業・生活支援センター、障害者就労移行支援施設、障害者就労継続支援施設、当事者家族会、行政(堺市)	9	年2回	生活リハビリテーションセンター運営委員会
兵庫県	兵庫県総合リハビリテーションセンター	支援拠点機関、県、医療機関、学識者、障害者支援事業所、障害者支援施設、当事者家族会代表	8	年1回	
	兵庫県総合リハビリテーションセンター	医療機関(医師、看護師、心理士、OT、ST)訓練施設(生活訓練、就労支援)、研修センター、支援コーディネーター	18	年1回	
奈良県	奈良県障害者総合支援センター内高次脳機能障害支援センター	支援拠点機関、県、医師会、医療機関、当事者家族会、障害者就労支援機関	17	年1回	高次脳機能障害支援体制検討委員会
和歌山県	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	支援拠点機関、県、医療機関、保健所、障害者支援施設、障害者就労支援施設	9	年1回	
鳥取県	野島病院 高次脳機能センター	—	—	—	設置無し
島根県	地域支援拠点(中部、エスポアール出雲クリニック)	地域支援拠点、圏域相談支援拠点(出雲、大田、隠岐)	3	年1回	「地域連絡会議」という名称で連絡調整・連携を目的とした会議を開催
	地域支援拠点(東部、松江青葉病院)	地域支援拠点、圏域相談支援拠点(松江、雲南)	3	年3回	「地域連絡会議」という名称で連絡調整・連携を目的とした会議を開催
	地域支援拠点(西部、松ヶ丘病院)	地域支援拠点、圏域相談支援拠点(浜田、益田)	5	年1回	「地域連絡会議」という名称で連絡調整・連携を目的とした会議を開催
	障がい福祉課	県、地域支援拠点(エスポアール出雲クリニック、松江青葉病院、松ヶ丘病院)	6	年1回	「県高次脳機能障がい者支援連絡会議」という名称で連絡調整・連携を目的とした会議を開催
岡山県	川崎医科大学附属病院病院	支援拠点機関、県、医療機関、福祉機関、就労支援機関、教育庁、当事者家族会	48名	年1回	例年2回開催しているが、今年度はコロナ感染症拡大防止のため、オンラインにて1回のみ開催
	旭川荘				連携調整委員会は川崎医科大学附属病院で実施

都道府県	機関名	委員構成	委員人数	開催状況	備考
広島県	広島県立障害者リハビリテーションセンター	支援拠点機関、医療機関、当事者家族会、市障害福祉課、障害者施設協議会、大学、精神保健福祉センター、職業センター、職業能力開発校	20	年2回	県は、事務局となっており、委員ではない。「広島県高次脳機能障害連絡協議会」
山口県	山口県立こころの医療センター	支援拠点機関、県、医療機関、障害者相談支援施設、障害者就労支援施設、弁護士、当事者家族会	12	年1回	
徳島県	徳島大学病院	支援拠点病院、家族会	12	年3回	
香川県	かがわ総合リハビリテーションセンター	支援拠点機関、県（障害福祉課、精神保健福祉センター、教育委員会）、医療機関、障害者職業センター、職能団体（言語聴覚士会、作業療法士会、医療社会事業団体）、相談支援事業所、当事者家族会	13	1回	
愛媛県	松山リハビリテーション病院	支援拠点機関、医療機関、保健所、大学法人、医師会、理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会、臨床心理士会、障害者職業センター、日本看護財団、家族会	22	なし	
高知県	高知県高次脳機能障害支援拠点センター青い空	支援拠点機関、県、職能団体、障害者職業センター、高知弁護士会、大学教授、教育委員会	11	年1回	令和2年度高次脳機能障害支援委員会
福岡県	福岡県障がい者リハビリテーションセンター	支援拠点機関、県、政令指定都市、医療機関、保健所、障害者支援施設、障害者就労支援施設、教育庁、理学療法士会、作業療法士会、MSW協会、ヘルパー連絡会、法律事務所、当事者家族会	23	年1回	感染予防のため書面による開催
	久留米大学病院				
	産業医科大学病院				
	福岡市立心身障がい福祉センター				
佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	支援拠点機関、県障害福祉課、同就労支援室、同教育庁、同労働局、医療機関（医師会・精神科病院協会等）、保健所、PT・OT・ST・MSW団体、障害者支援施設（障害者職業センター・精神保健福祉センター、県立地域生活リハビリセンター）、当事者家族会	23	年2回	名称「佐賀県高次脳機能障害支援推進委員会」
	佐賀県高次脳機能障害者相談支援センター ぷらむ	支援拠点機関、県、医療機関、保健所、障害者支援施設、障害者就労支援施設、当事者家族会			拠点機関とは定期的に開催し、他の機関とは必要に応じての開催
長崎県	長崎こども・女性・障害者支援センター	支援拠点機関、県、市、医師会、県立保健所、作業療法士会、理学療法士会、言語聴覚士会、臨床心理士会、弁護士会、教育機関、障害者職業センター、当事者、家族の会、長崎県リハビリテーション支援センター、長崎県回復期リハビリテーション連絡協議会、相談支援専門員協会、小児科医会、医療機関	17	年1回	長崎県高次脳機能障害者支援連絡協議会
熊本県	熊本託麻台リハビリテーション病院				
大分県	諏訪の杜病院	大分県医師会 大分県精神科病院協会 大分県リハビリテーション支援センター 大分県理学療法士協会 大分県作業療法協会 大分県言語聴覚士協会 大分県看護協会 大分県医療ソーシャルワーカー協会 大分県障害者相談支援事業推進協議会 大分県介護支援専門員協会 大分障害者職掌センター 大分市保健所 大分県保健所長会 高次脳機能障害者の会「おおいた」 大分県教育委員会特別支援教育課 大分県こころとからだの相談支援センター 支援拠点機関（別府リハビリテーションセンター・諏訪の杜病院）	18	年1回	
	農協共済別府リハビリテーションセンター	大分県医師会 委員 大分県精神科病院協会 副会長 大分県リハビリテーション支援センター 脳外傷友の会「おおいた」 会長 大分県理学療法士協会 理事 大分県作業療法協会 会長 大分県言語聴覚士会 理事 大分県障害者相談支援事業推進協議会 委員 大分障害者職業センター 所長 大分県医療ソーシャルワーカー協会 会長 大分県教育庁特別支援教育課 課長 大分県看護協会 副会長 大分県介護支援専門員協会 理事長 大分県こころとからだの支援センター 所長 諏訪の杜病院 院長 別府リハビリテーションセンター センター長 大分県庁障害福祉課	19人	年1回	
宮崎県	宮崎県身体障害者相談センター	支援拠点機関、県、支援協力医療機関、医療福祉関係各専門職会、障害者支援機関、就労支援機関、教育機関、家族会	44機関	年1回	開催なし
	宮崎大学医学部附属病院	支援拠点機関、県、医療機関、障害者支援団体、障害者就労支援団体、教育委員会、専門職団体、家族会	30	なし	開催なし
鹿児島県	鹿児島県高次脳機能障害者支援センター	県精神科病院協会理事、鹿児島大学医学部保健学科教授、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長、同リハビリテーション医学教授、同脳神経内科、老年病学教授、県医師会常務理事、県精神保健福祉センター長、県くらし保健福祉部次長	8	随時	鹿児島県高次脳機能障害者支援協力病院指定に関する検討会
沖縄県	沖縄リハビリテーションセンター病院	-	-	-	
	平安病院	支援拠点機関、県	7	年8回	コロナ感染症流行により、途中からWEB開催に切り替えて開催